

---

**第8期介護保険事業計画策定の基礎資料のための調査  
高齢者の生活に関する調査**

**報告書**

---

**《 概 要 版 》**

**令和2年3月**

**目黒区**





5 地域での活動について	36
6 たすけあいについて	37
7 健康について	39
8 介護予防事業への参加について	41
9 介護保険制度について	42
10 今後の暮らし方などについて	43
11 災害時の対策について	44
12 リスク項目該当者の判定結果	45

## 第6部 サービス提供事業所調査

1 事業所の概要について	48
2 人材確保や雇用管理について	49
3 サービス供給の今後の見込みについて	52
4 事業所運営における課題等について	53
5 介護サービス以外のことについて	55
6 災害対策について	55
7 区に対する要望について	57

## 第7部 高齢者の生活に関する調査

1 本人や家族の状況について	58
2 近隣や知人・友人との付き合いについて	60
3 日常生活で困っていることや将来の不安について	60
4 物忘れについて	61
5 健康状態や在宅での療養などについて	61
6 権利擁護について	62
7 要介護認定（要支援認定）や介護保険料について	63
8 生きがい、社会参加について	63
9 就労意向について	64
10 地域での見守りや支え合いについて	65
11 目黒区の高齢者への生活支援サービスなどについて	65
12 災害時の対策について	66
13 高齢者施策全般について	67
14 家族介護について	68
15 目黒区の介護保険・高齢福祉行政に関する自由意見	68

## 第1部 調査の概要

### 1 調査の目的

この調査は、以下の目的で実施した。

#### (1) 第8期介護保険事業計画策定の基礎資料のための調査

介護保険被保険者及び介護サービス事業者に対して実態調査を行い、介護保険制度や介護保険料に対する区民の意向及び地域の実情等を把握し、第8期介護保険事業計画策定のための資料とする。

#### (2) 高齢者の生活に関する調査

高齢者の生活の実情や意向を把握し、保健医療福祉計画改定、第8期介護保険事業計画策定及び高齢者施策充実のための基礎資料とする。

### 2 調査の種類と対象者

調査は、以下の6種類で実施した。

調査種別	調査対象	抽出方法	標本数
①介護保険居宅サービス利用者調査	介護保険居宅サービスを利用している、要介護1～5の被保険者	層化無作為抽出	2,000人
②介護保険サービス未利用者調査	認定を受けているが、介護サービスを利用していない要介護1～5の第1号被保険者	層化無作為抽出	500人
③在宅介護実態調査	調査種別①、②の配布対象者を介護している家族等	調査①・②に同封	2,500人
④介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	区内在住の要支援2以下の第1号被保険者（要介護認定を受けていない被保険者を含む）	層化無作為抽出	3,500人
⑤サービス提供事業所調査	目黒区被保険者5人以上に介護サービスを提供している区内及び区外の事業所（みなし指定事業所を除く）	区内は全事業所、区外は目黒区被保険者が24人以上利用している隣接区の事業所	300事業所
⑥高齢者の生活に関する調査	区内在住の65歳以上の高齢者（調査種別①、②、④の配布対象者を除く）	層化無作為抽出	3,000人

### 3 調査の方法等

#### (1) 調査の方法

郵送による調査票配布、郵送または電子申請による回収（無記名式）

#### (2) 調査期間

令和元年11月22日（金）から12月23日（月）まで

### 4 回収状況

調査種別	対象者数	配布数	有効回収数	有効回収率
①介護保険居宅サービス利用者調査	6,216	2,000	845 (うち電子申請20)	42.3%
②介護保険サービス未利用者調査	1,284	500	207 (うち電子申請7)	41.4%
③在宅介護実態調査	2,500	2,500	822 (うち電子申請31)	32.9%
④介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	46,844	3,500	2,119 (うち電子申請61)	60.5%
⑤サービス提供事業所調査	300	300	172 (うち電子申請32)	57.3%
⑥高齢者の生活に関する調査	54,703	3,000	1,799 (うち電子申請45)	60.0%

※③在宅介護実態調査は、家族介護者の有無にかかわらず配布している。

### 5 報告書の見方

- ①集計は、小数点以下第2位を四捨五入している。従って、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、足し合わせて100.0%にならない場合がある。
- ②基数になる実数は設問に対する回答者数である。よって、設問によって異なる場合があり、同じ調査であっても実数が同じでない場合がある。
- ③回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出している。従って、複数回答の設問は全ての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- ④クロス集計による分析では、母数が20未満のものについては、原則として分析の対象とはしない。
- ⑤本文や図表中の選択肢表記は、場合によって語句を短縮・簡略化している場合がある。
- ⑥図表中では、「—」を用いていることがある。それは回答者がいないことを表している。

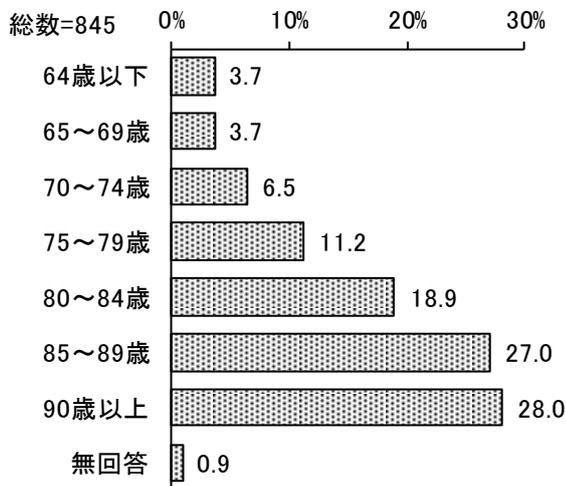
## 第2部 介護保険居宅サービス利用者調査

### 1 本人や家族の状況について

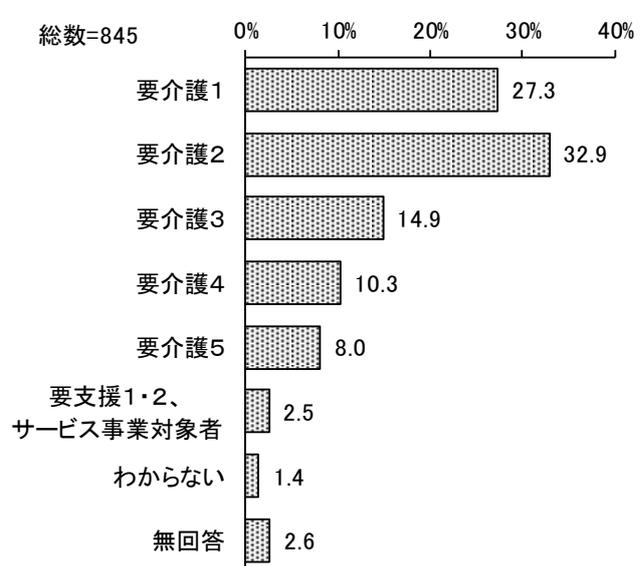
#### ◆年齢、性別、要介護度

○年齢は、「90歳以上」28.0%、「85～89歳」27.0%、「80～84歳」18.9%。  
 全体では、前期高齢者（65歳以上74歳以下）10.2%、後期高齢者（75歳以上）85.1%  
 ○性別は、「女性」65.3%、「男性」33.4%  
 ○要介護度は、「要介護2」32.9%、「要介護1」27.3%、「要介護3」14.9%、「要介護4」10.3%、「要介護5」8.0%

図表2-1 年齢



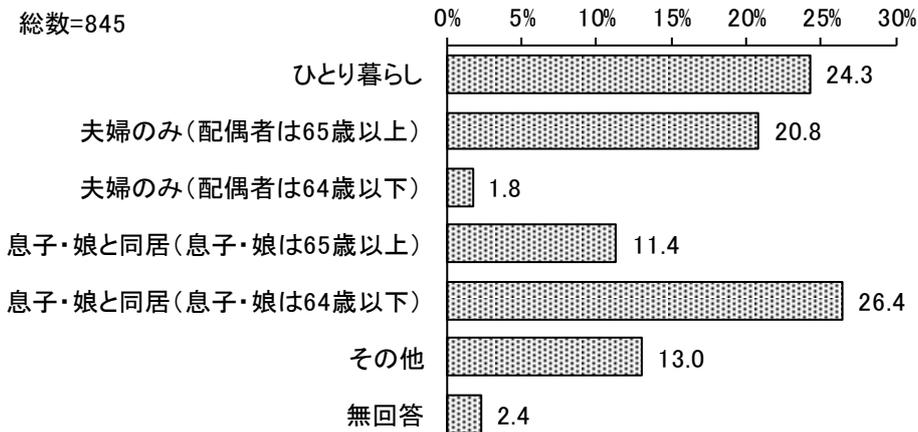
図表2-2 要介護度



#### ◆家族構成

○家族構成は、「息子・娘と同居（息子・娘は64歳以下）」26.4%、「ひとり暮らし」24.3%、「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」20.8%となっている。

図表2-3 家族構成



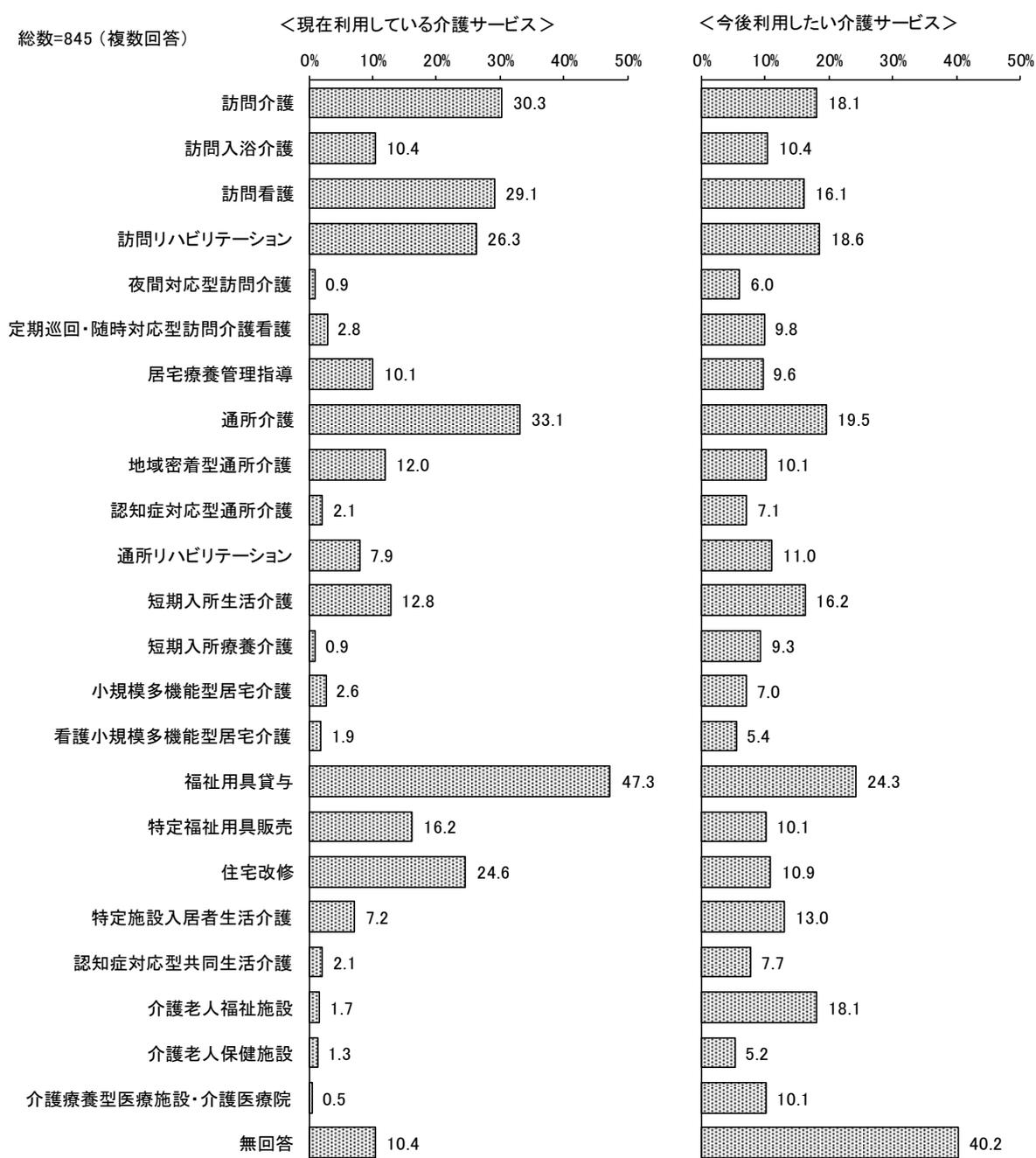
## 2 介護サービスの利用状況および今後の利用意向について

### ◆介護サービスの利用状況および今後の利用意向

○現在利用している介護サービスは、「福祉用具貸与」47.3%、「通所介護」33.1%、「訪問介護」30.3%となっている。

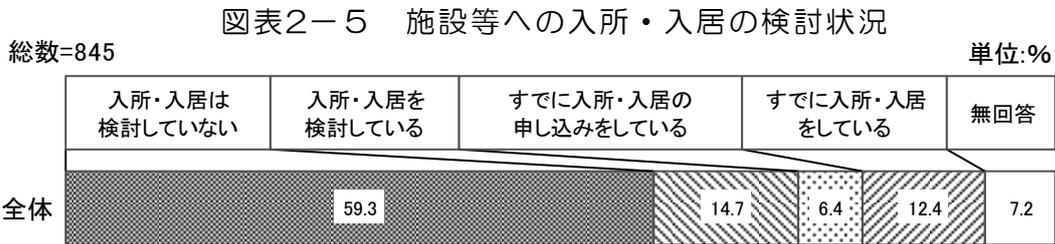
○今後利用したい介護サービスは、「福祉用具貸与」24.3%、「通所介護」19.5%、「訪問リハビリテーション」18.6%となっている。

図表2-4 介護サービスの現在の利用状況と今後の利用意向



◆施設等への入所・入居の検討状況

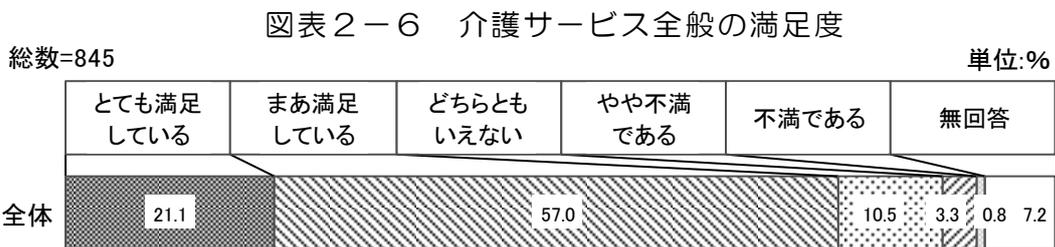
○施設等への入所・入居の検討状況は、「入所・入居は検討していない」59.3%、「入所・入居を検討している」14.7%、「すでに入所・入居をしている」12.4%となっている。



◆介護サービス全般の満足度、不満の理由

○利用している介護サービス全般について、「まあ満足している」と「とても満足している」を合わせた「満足している」は78.1%、「やや不満である」と「不満である」を合わせた「不満である」は4.1%となっている。

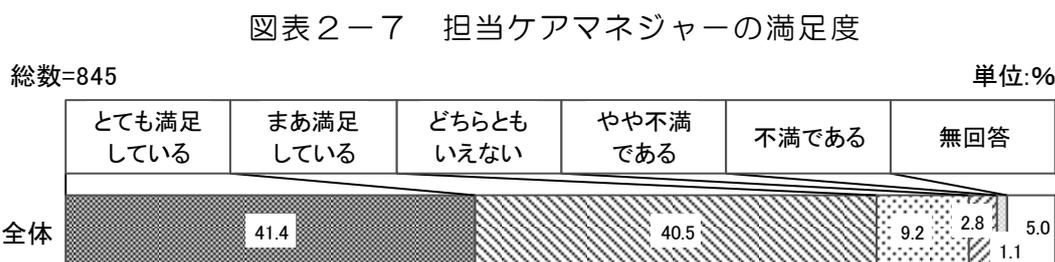
○不満と回答した人の不満理由（上位3件）は、「サービスの質（技術など）が低い」45.7%、「サービス内容が希望に沿っていない」40.0%、「サービスの利用回数・時間などが希望に沿っていない」31.4%となっている。



◆担当ケアマネジャーの満足度、不満の理由

○ケアマネジャーの対応については、「とても満足している」と「まあ満足している」を合わせた「満足している」は81.9%、「やや不満である」と「不満である」を合わせた「不満である」は3.9%となっている。

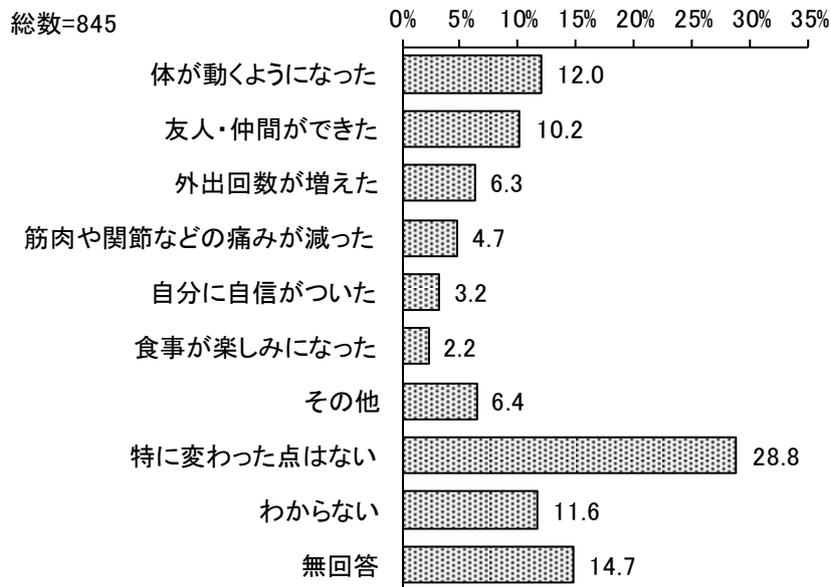
○不満と回答した人の不満理由（上位3件）は、「説明がわかりにくい、きちんと説明してもらえない」36.4%、「話を聞いてくれない、一方的に話される」24.2%、「対応がよくない（言動が乱暴など）」21.2%となっている。



## ◆介護サービスの効果

○介護サービスを利用するようになって変わったことは、「特に変わった点はない」28.8%、「体が動くようになった」12.0%、「友人・仲間ができた」10.2%、「外出回数が増えた」6.3%となっている。

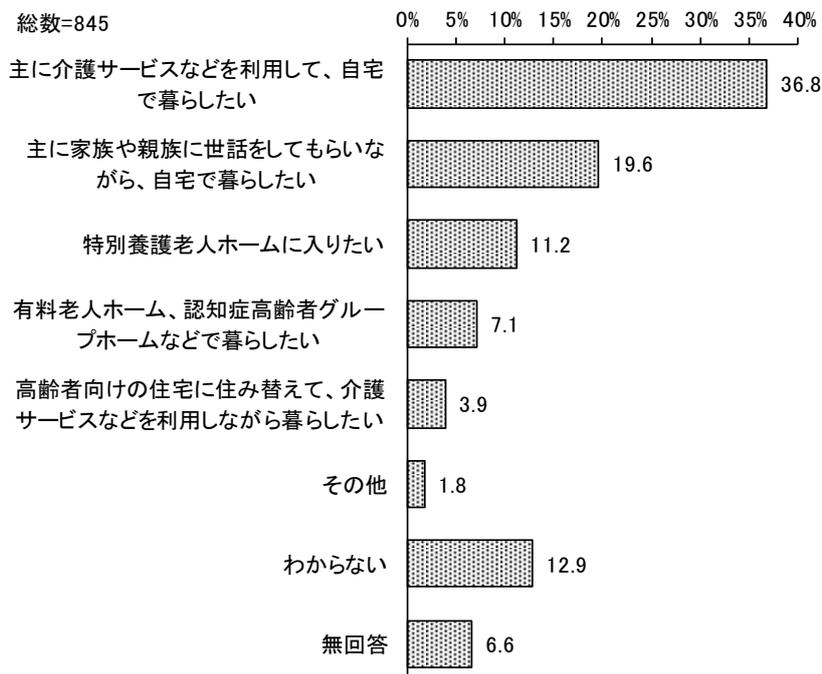
図表2-8 介護サービスの効果



## ◆今後の暮らし方

○要介護度が重くなった場合に希望する暮らし方は、「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」36.8%、「主に家族や親族に世話をしてもらいながら、自宅で暮らしたい」19.6%、「わからない」12.9%となっている。

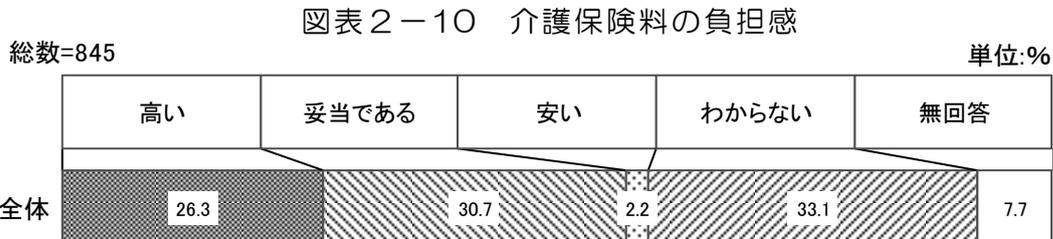
図表2-9 要介護度が重くなった場合に希望する暮らし方



### 3 介護保険制度や保険料、利用料について

#### ◆介護保険料の負担感

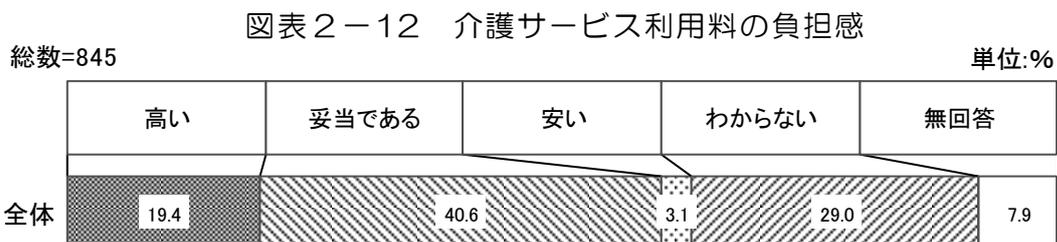
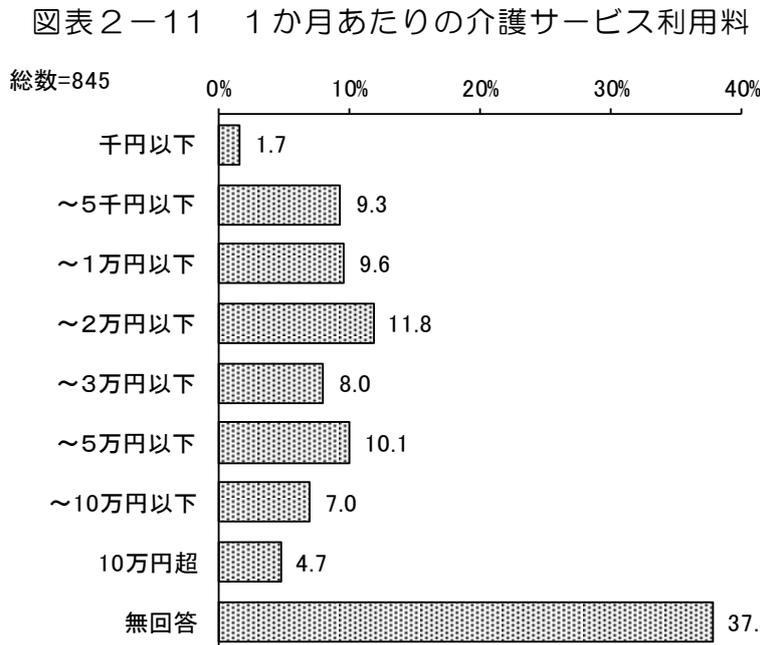
○介護保険料についての考えは、「わからない」33.1%、「妥当である」30.7%、「高い」26.3%となっている。



#### ◆介護サービス利用料、利用料の負担感

○1か月あたりの介護サービス利用料は、「2万円以下」11.8%、「5万円以下」10.1%、「1万円以下」9.6%、「5千円以下」9.3%となっている。

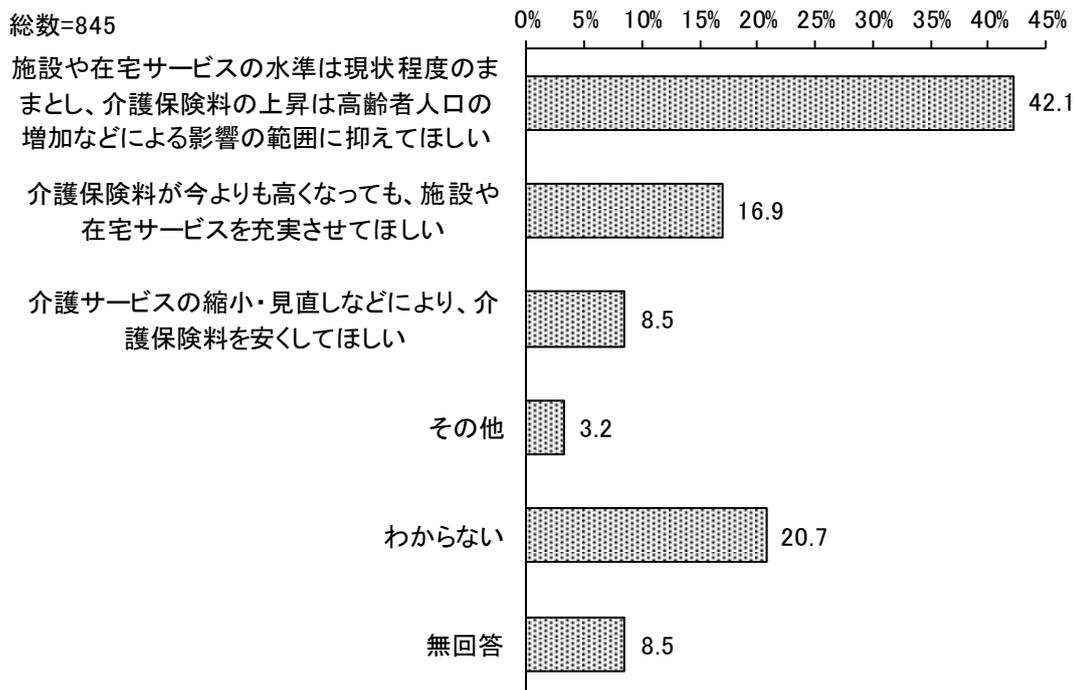
○介護サービス利用料についての考えは、「妥当である」40.6%、「わからない」29.0%、「高い」19.4%となっている。



### ◆介護サービスと介護保険料の関係についての考え

○介護サービスと介護保険料の関係については、「施設や在宅サービスの水準は現状程度のままとし、介護保険料の上昇は高齢者人口の増加などによる影響の範囲に抑えてほしい」42.1%、「介護保険料が今よりも高くなっても、施設や在宅サービスを充実させてほしい」16.9%、「介護サービスの縮小・見直しなどにより、介護保険料を安くしてほしい」8.5%となっている。

図表2-13 介護サービスと介護保険料の関係についての考え

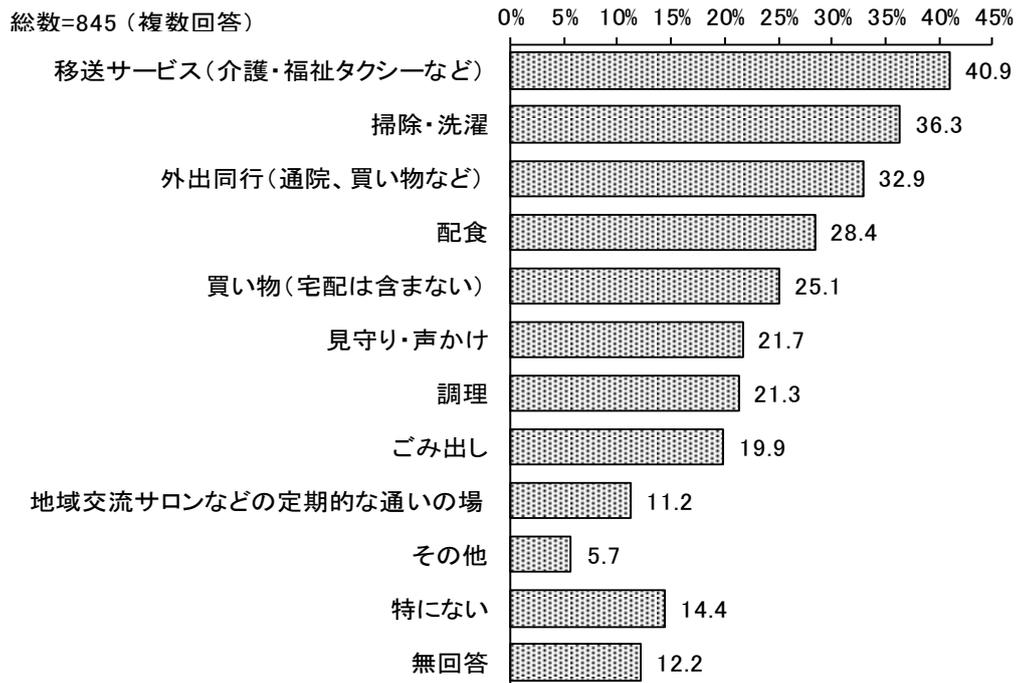


## 4 介護保険以外の高齢者在宅サービスなどについて

### ◆自宅での生活を続けるために必要な支援・サービス

○自宅での生活を続けるために必要な支援・サービスは、「移送サービス（介護・福祉タクシーなど）」40.9%、「掃除・洗濯」36.3%、「外出同行（通院、買い物など）」32.9%となっている。

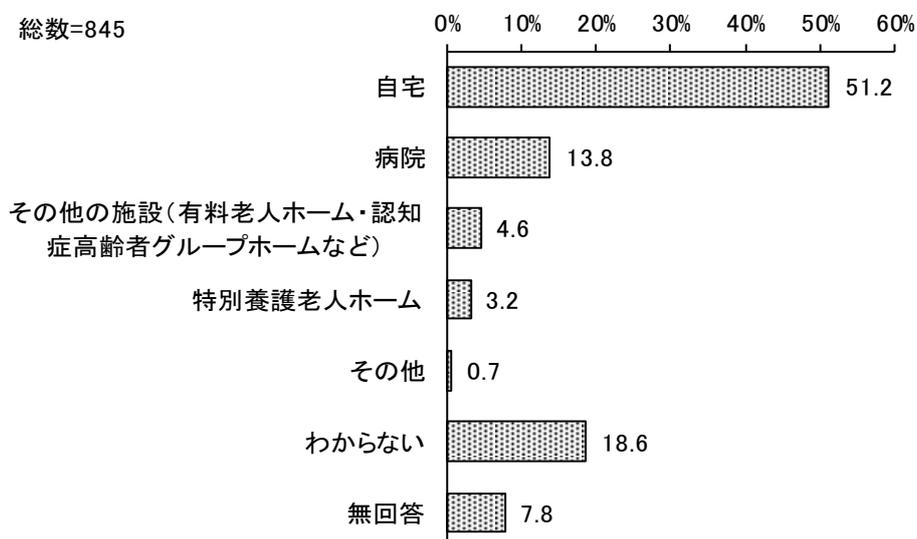
図表2-14 自宅での生活を続けるために必要な支援・サービス



### ◆人生の最期を迎えたい場所

○人生の最期を迎えたい場所は、「自宅」51.2%、「わからない」18.6%、「病院」13.8%となっている。

図表2-15 人生の最期を迎えたい場所

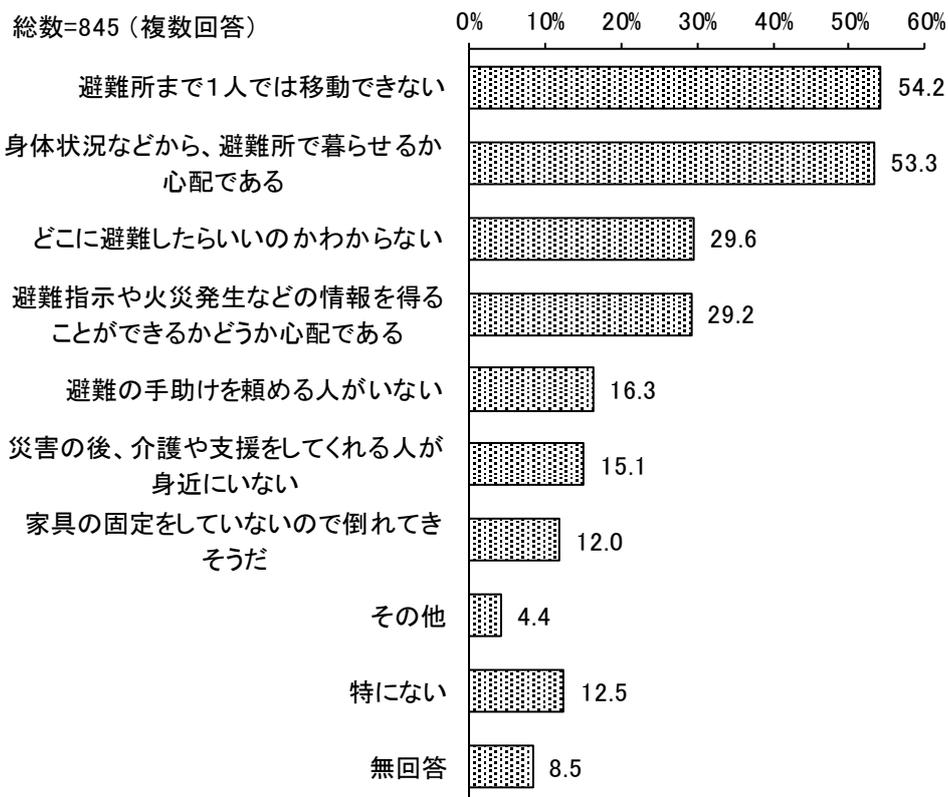


## 5 災害時の対策について

### ◆災害時や火災などの緊急時の対応で不安なこと

○災害時（地震や風水害等）や火災などの緊急時に対応について不安なことは、「避難所まで1人では移動できない」54.2%、「身体状況などから、避難所で暮らせるか心配である」53.3%、「どこに避難したらいいのかわからない」29.6%、「避難指示や火災発生などの情報を得ることができるかどうか心配である」29.2%となっている。

図表2-16 災害時や火災などの緊急時の対応で不安なこと

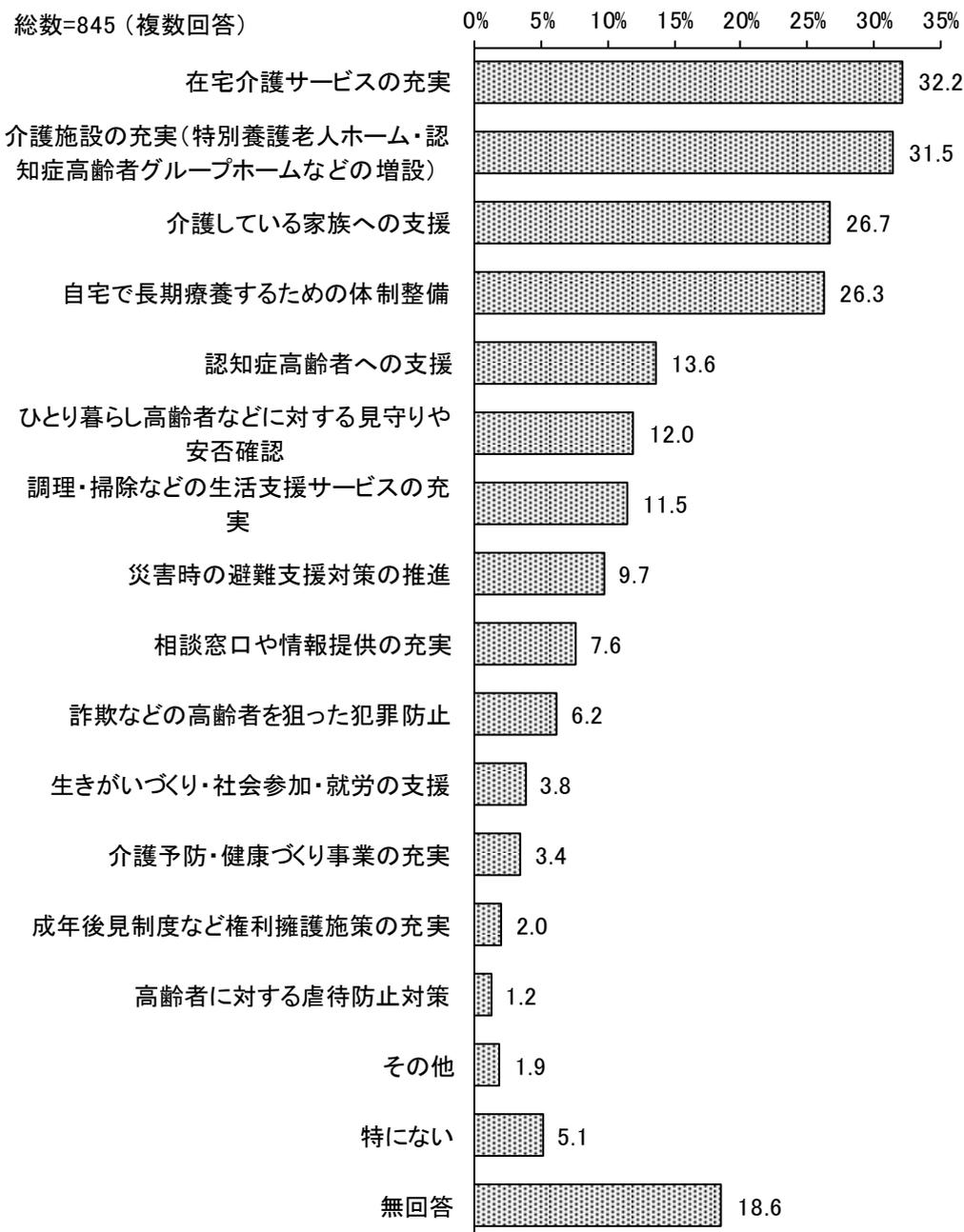


## 6 高齢者施策全般について

### ◆区で優先的に取り組む必要があると思う高齢者施策

○区で優先して取り組む必要があると思う高齢者施策は、「在宅介護サービスの充実」32.2%、「介護施設の充実（特別養護老人ホーム・認知症高齢者グループホームなどの増設）」31.5%、「介護している家族への支援」26.7%となっている。

図表2-17 区で優先的に取り組む必要があると思う高齢者施策



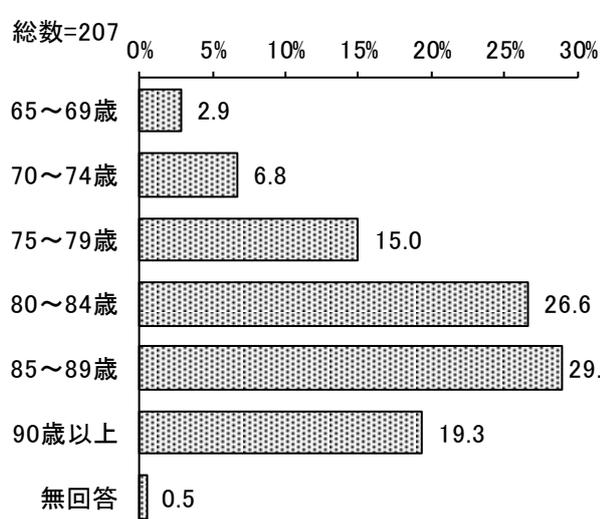
## 第3部 介護保険サービス未利用者調査

### 1 本人や家族の状況について

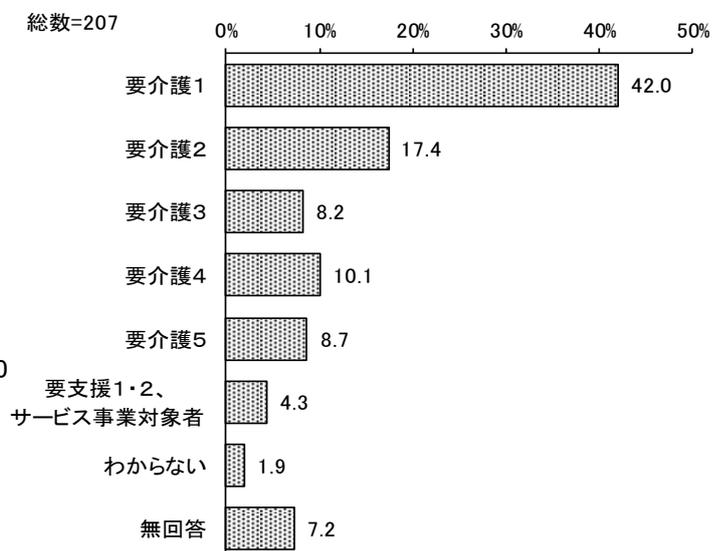
#### ◆年齢、性別、要介護度

○年齢は、「85～89歳」29.0%、「80～84歳」26.6%、「90歳以上」19.3%  
 全体では、前期高齢者（74歳以下）9.7%、後期高齢者（75歳以上）89.9%  
 ○性別は、「女性」58.9%、「男性」39.1%  
 ○要介護度は、「要介護1」42.0%、「要介護2」17.4%、「要介護4」10.1%、「要介護5」8.7%、「要介護3」8.2%

図表3-1 年齢



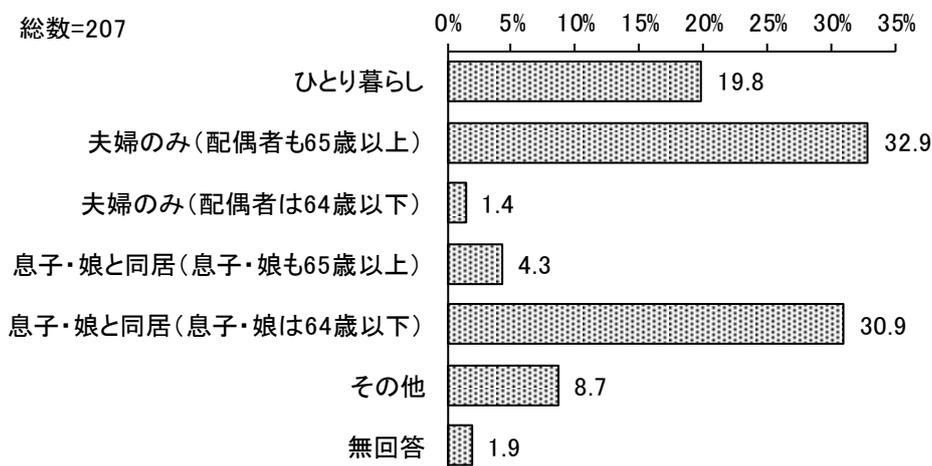
図表3-2 要介護度



#### ◆家族構成

○家族構成は、「夫婦のみ（配偶者も65歳以上）」32.9%、「息子・娘と同居（息子・娘は64歳以下）」30.9%、「ひとり暮らし」19.8%となっている。

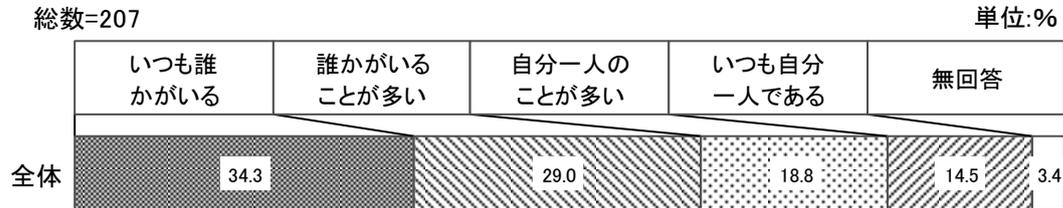
図表3-3 家族構成



◆日中の家族の状況

○日中の家族の状況は、「いつも誰かがいる」34.3%、「誰かがいることが多い」29.0%、「自分一人のことが多い」18.8%となっている。

図表3-4 日中の家族の状況



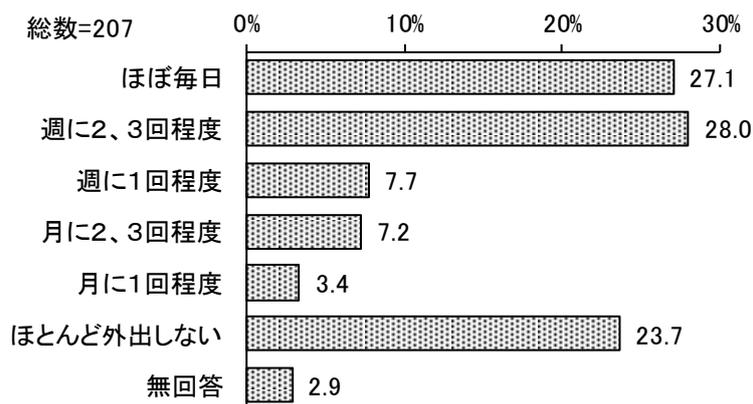
2 日常生活の状況などについて

◆外出の状況、外出をためらう理由

○外出の状況は、「週に2、3回程度」28.0%、「ほぼ毎日」27.1%、「ほとんど外出しない」23.7%となっている。

○外出をためらう理由（上位5件）は、「体の具合が悪い」36.8%、「電車やバスに乗ることが難しい」34.5%、「歩く速度が遅くなったため、外を歩くのが不安（道で人とぶつかる、横断歩道を渡り切れないなど）」32.2%、「段差や坂道の上り下りがつらい」28.7%、「外に出る気力がない」19.5%となっている。

図表3-5 外出の状況



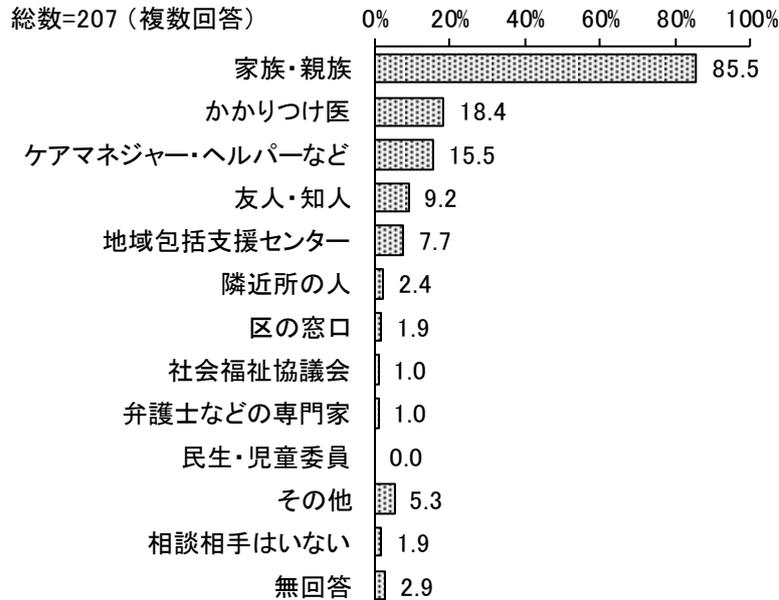
◆普段の生活での介護の状況

○普段の生活での介護の状況は、「介護は受けていない」33.3%、「家族・親族からの介護を受けている」29.0%、「家族・親族とヘルパーなどの専門職の介護を受けている」15.9%、「ヘルパーなどの専門職の介護を受けている」8.2%となっている。

### ◆相談相手

○日常生活の中で困ったり将来に不安を感じたときの相談相手は、「家族・親族」85.5%、「かかりつけ医」18.4%、「ケアマネジャー・ヘルパーなど」15.5%となっている。

図表3-6 相談相手

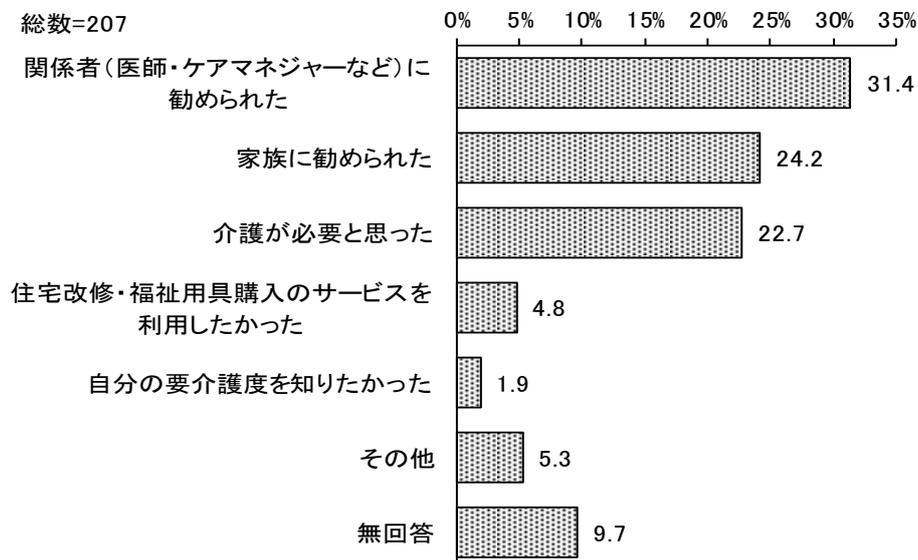


## 3 介護保険の認定状況・利用について

### ◆要介護認定の申請理由

○要介護認定の申請理由は、「関係者(医師・ケアマネジャーなど)に勧められた」31.4%、「家族に勧められた」24.2%、「介護が必要と思った」22.7%となっている。

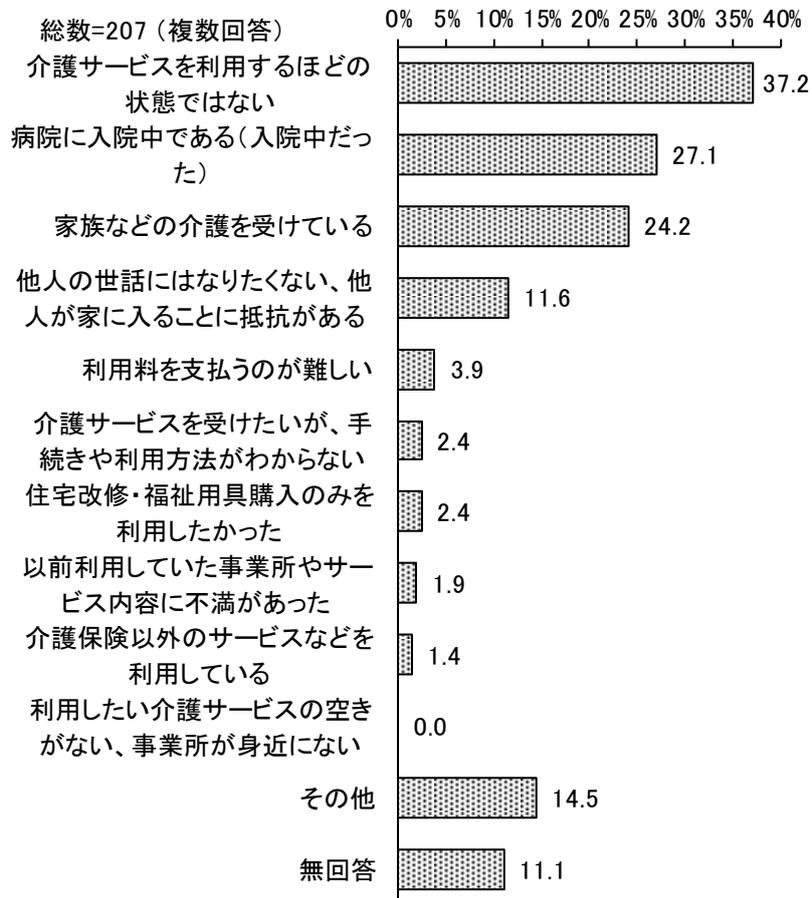
図表3-7 要介護認定の申請理由



◆介護サービスを利用していない理由

○介護サービスを利用していない理由は、「介護サービスを利用するほどの状態ではない」37.2%、「病院に入院中である（入院中だった）」27.1%、「家族などの介護を受けている」24.2%となっている。

図表3-8 介護サービスを利用していない理由



◆介護サービスの利用意向、施設等への入所・入居の検討状況

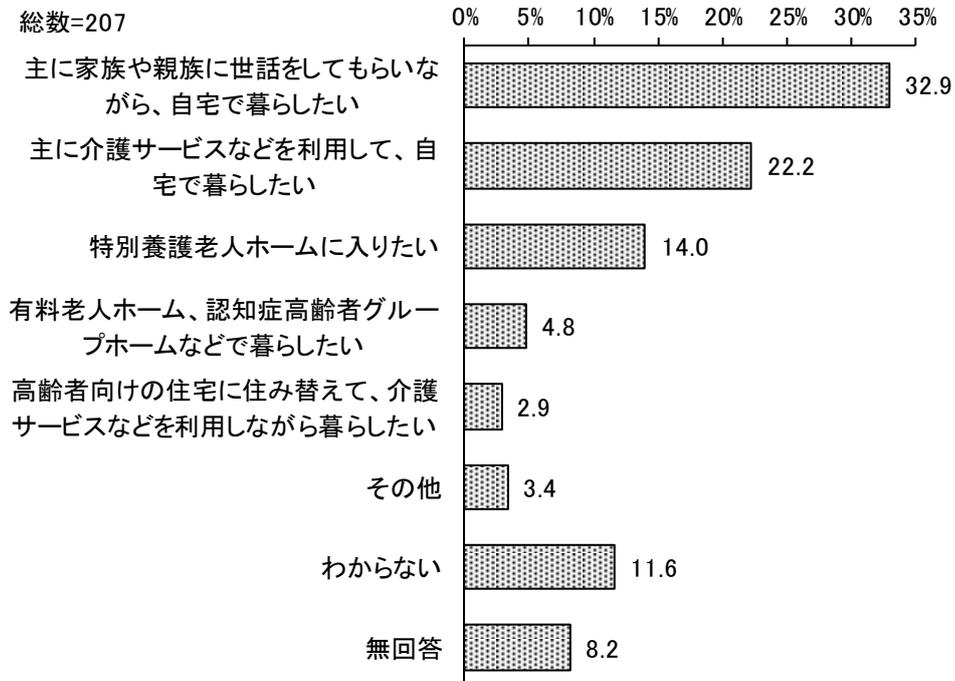
○今後の介護サービス利用意向（上位5件）は、「訪問介護」21.3%、「福祉用具貸与」21.3%、「訪問看護」18.4%、「訪問リハビリテーション」17.9%、「通所介護」16.9%となっている。

○施設等への入所・入居の検討状況は、「入所・入居は検討していない」64.3%、「入所・入居を検討している」15.0%、「すでに入所・入居をしている」5.8%、「すでに入所・入居の申し込みをしている」4.8%となっている。

## ◆今後の暮らし方

○今後要介護度が重くなった場合に希望する暮らし方は、「主に家族や親族に世話をしてもらいながら、自宅で暮らしたい」32.9%、「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」22.2%、「特別養護老人ホームに入りたい」14.0%となっている。

図表3-9 要介護度が重くなった場合に希望する暮らし方

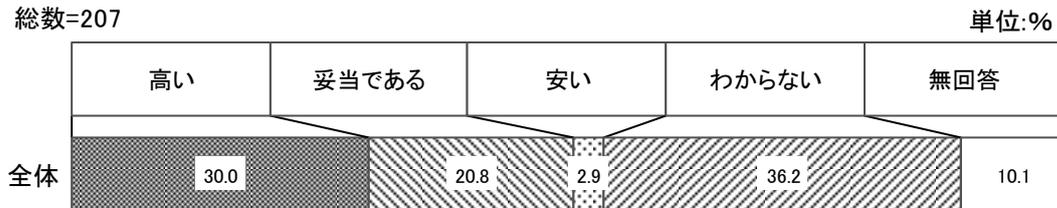


## 4 介護保険制度や保険料、利用料について

### ◆介護保険料の負担感

○介護保険料についての考えは、「わからない」36.2%、「高い」30.0%、「妥当である」20.8%となっている。

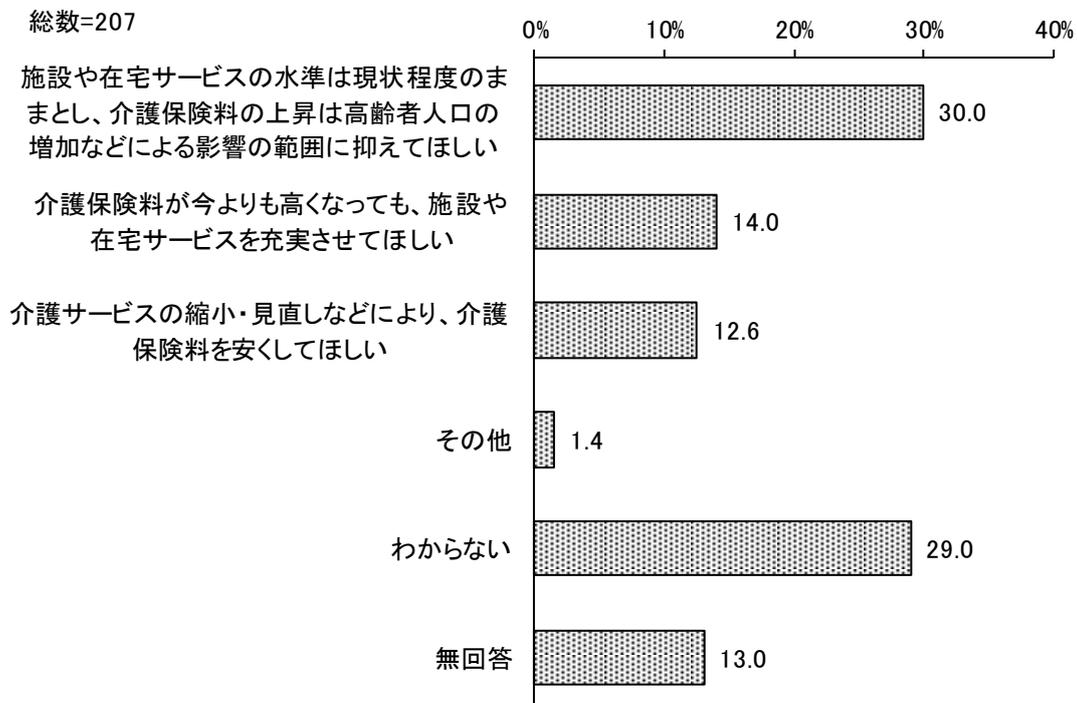
図表3-10 介護保険料の負担感



### ◆介護サービスと介護保険料の関係についての考え

○介護サービスと介護保険料の関係については、「施設や在宅サービスの水準は現状程度のままとし、介護保険料の上昇は高齢者人口の増加などによる影響の範囲に抑えてほしい」30.0%、「わからない」29.0%、「介護保険料が今よりも高くなっても、施設や在宅サービスを充実させてほしい」14.0%となっている。

図表3-11 介護サービスと介護保険料の関係についての考え

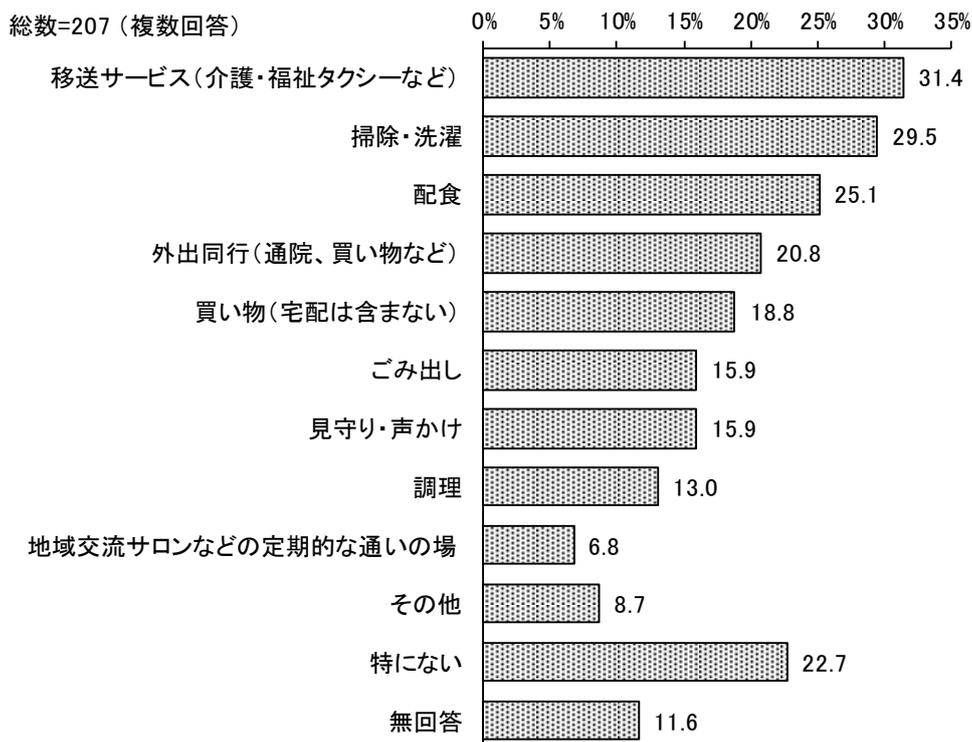


## 5 介護保険以外の高齢者在宅サービスなどについて

### ◆自宅での生活を続けるために必要な支援・サービス

○自宅での生活を続けるために必要な支援・サービスは、「移送サービス（介護・福祉タクシーなど）」31.4%、「掃除・洗濯」29.5%、「配食」25.1%となっている。

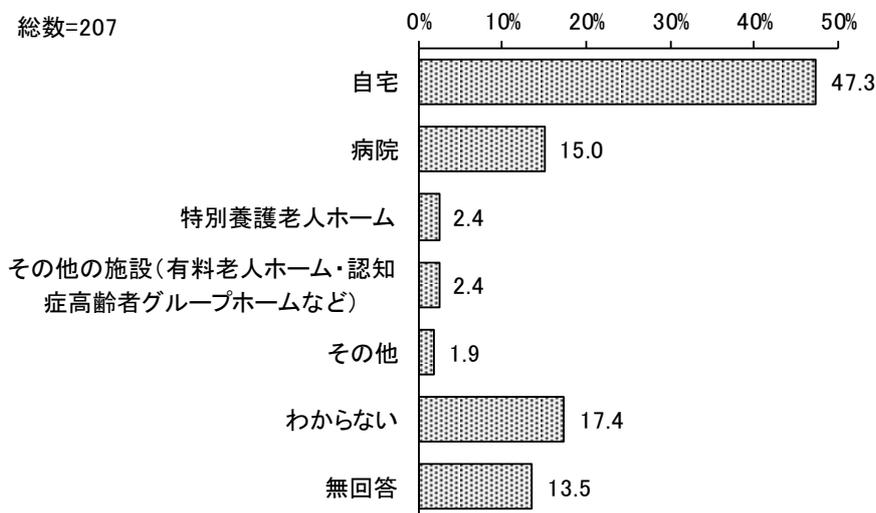
図表3-12 自宅での生活を続けるために必要な支援・サービス



### ◆人生の最期を迎えたい場所

○人生の最期を迎えたい場所は、「自宅」47.3%、「わからない」17.4%、「病院」15.0%となっている。

図表3-13 人生の最期を迎えたい場所

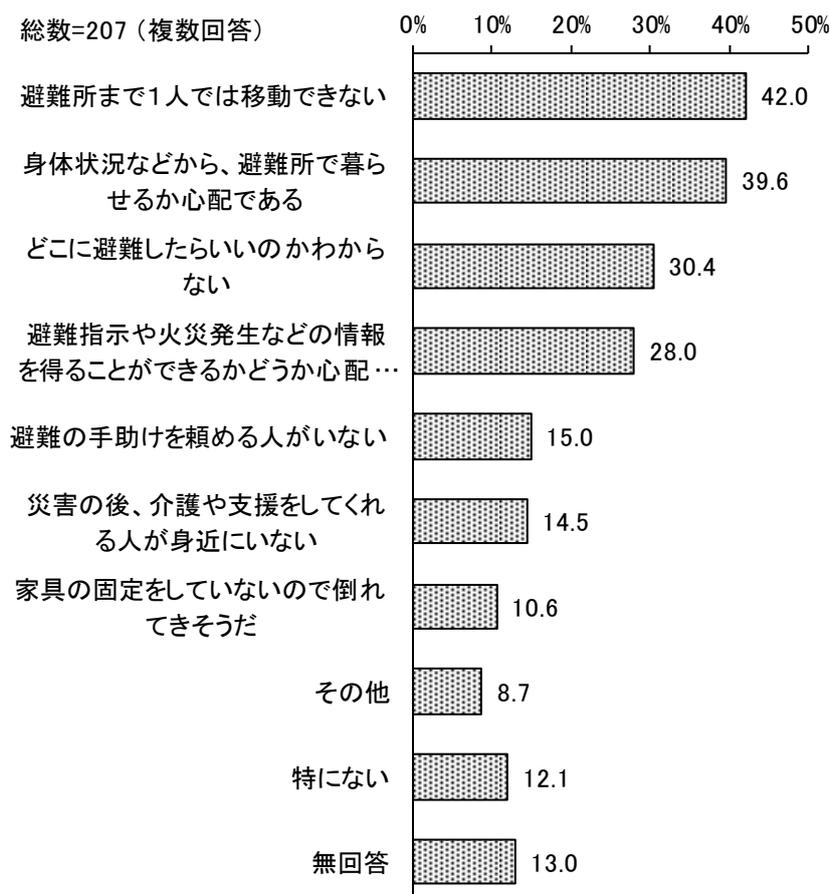


## 6 災害時の対策について

### ◆災害時や火災などの緊急時の対応で不安なこと

○災害時（地震や風水害等）や火災などの緊急時に対応について不安なことは、「避難所まで1人では移動できない」42.0%、「身体状況などから、避難所で暮らせるか心配である」39.6%、「どこに避難したらいいのかわからない」30.4%となっている。

図表3-14 災害時や火災などの緊急時の対応で不安なこと

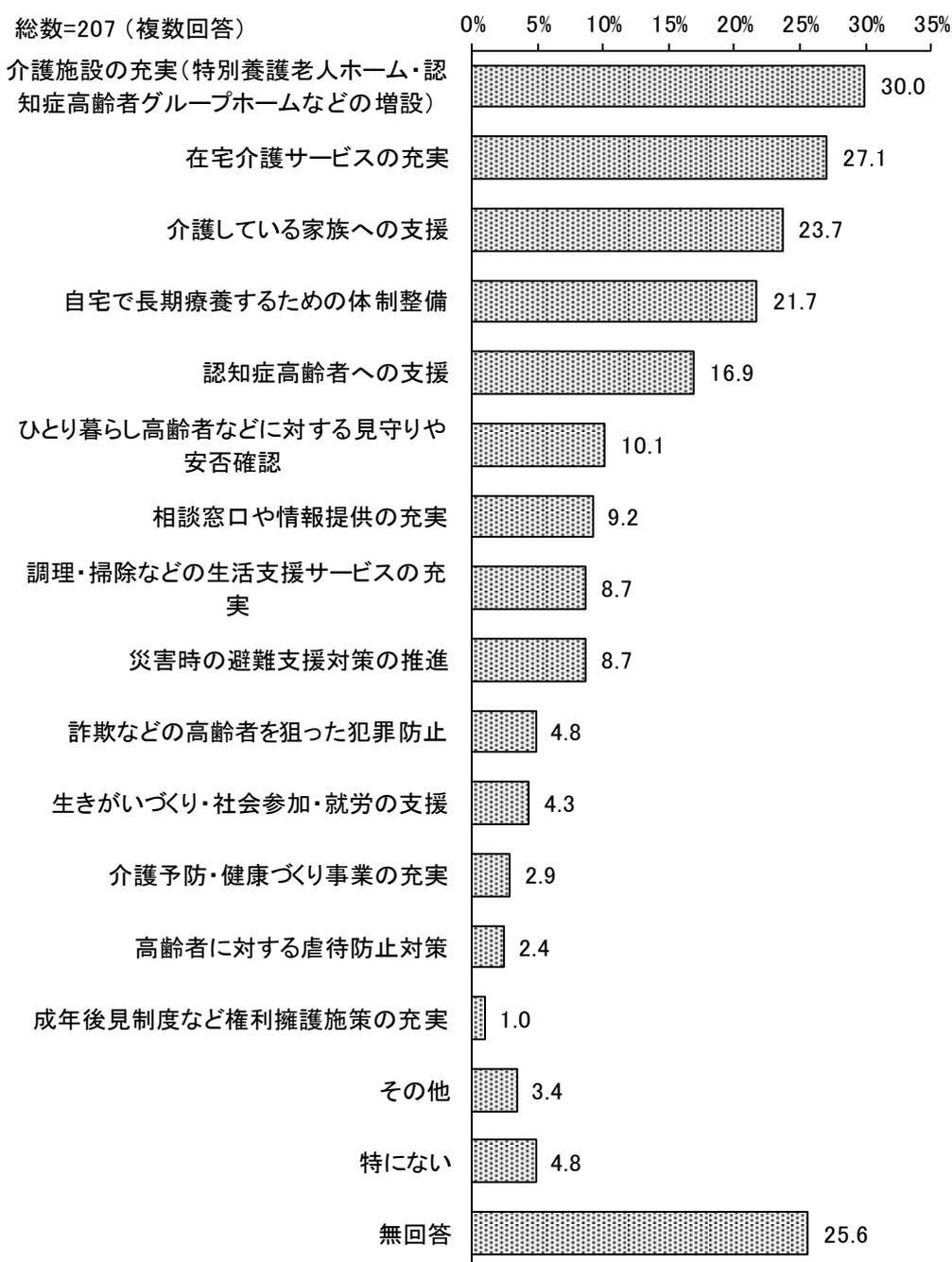


## 7 高齢者施策全般について

### ◆区で優先的に取り組む必要があると思う高齢者施策

○区で優先して取り組む必要があると思う高齢者施策は、「介護施設の充実（特別養護老人ホーム・認知症高齢者グループホームなどの増設）」30.0%、「在宅介護サービスの充実」27.1%、「介護している家族への支援」23.7%となっている。

図表3-15 区で優先的に取り組む必要があると思う高齢者施策



## 第4部 在宅介護実態調査

### 1 主な介護者の状況について

#### ◆主な介護者と被介護者との関係

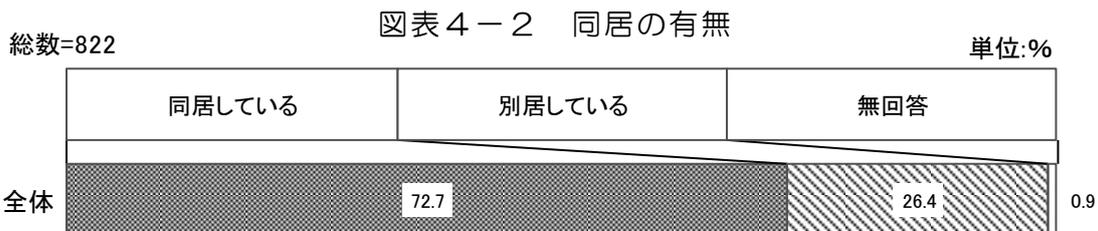
○調査①、調査②の対象者を主に介護している方（主な介護者）は、「子」48.3%、「配偶者」34.8%、「子の配偶者」4.7%、「兄弟・姉妹」3.8%となっている。



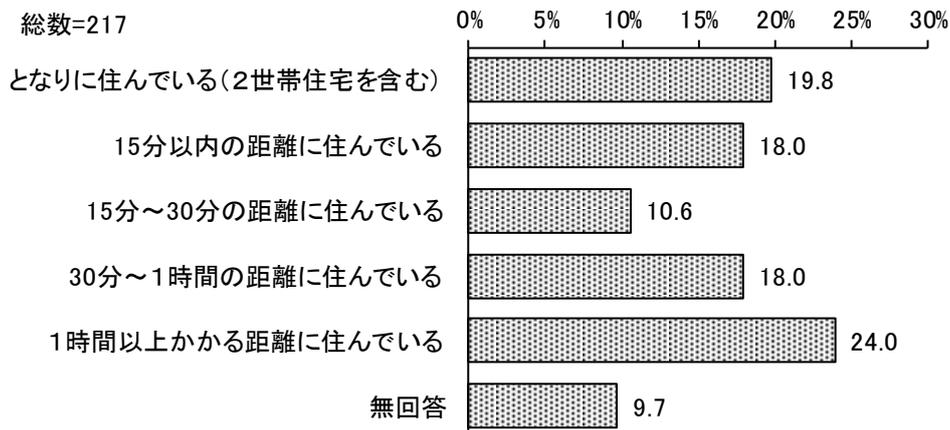
#### ◆被介護者との同居の有無、別居している場合の距離

○主な介護者と被介護者は「同居している」72.7%、「別居している」26.4%となっている。

○別居している場合の主な介護者と被介護者との距離は、「1時間以上かかる距離に住んでいる」24.0%、「となりに住んでいる（2世帯住宅を含む）」19.8%、「15分以内の距離に住んでいる」18.0%、「30分～1時間の距離に住んでいる」18.0%となっている。



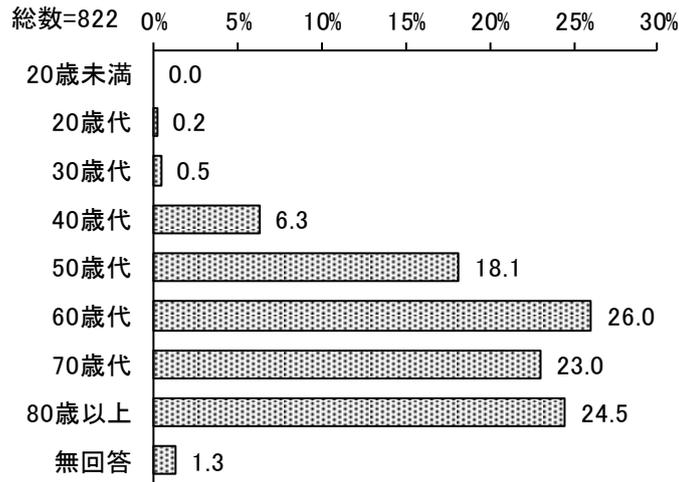
図表4-3 主な介護者と被介護者との距離



◆主な介護者の年齢、性別、被介護者の年齢階級

- 主な介護者の年齢は、「60歳代」26.0%、「80歳以上」24.5%、「70歳代」23.0%
- 主な介護者の性別は、「女性」66.9%、「男性」31.5%
- 主な介護者が介護している被介護者の年齢階級で最も多いのは、50歳代の介護者では「85～89歳」が40.3%、60歳代では「90歳以上」が47.7%、70歳代では「75～79歳」が27.0%、80歳以上では「85～89歳」が32.8%となっている。

図表4-4 主な介護者の年齢



図表4-5 被介護者の年齢階級（主な介護者の年代別）

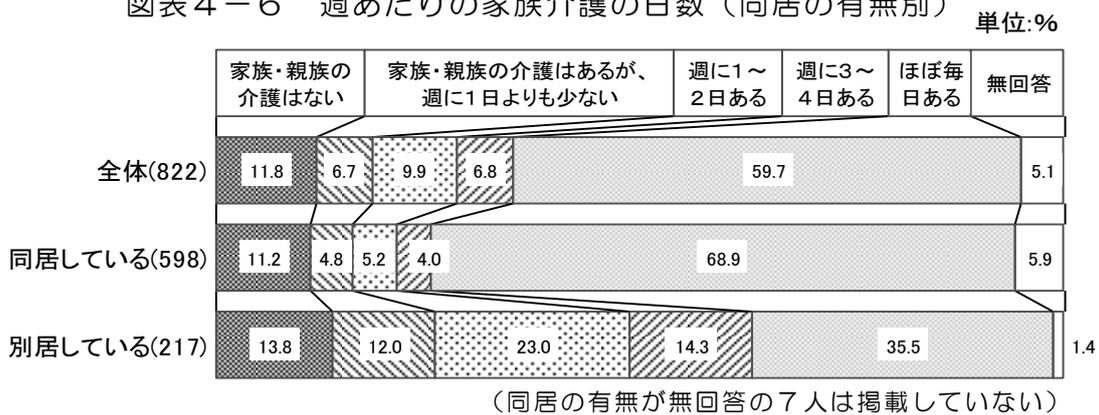
（上段：回答数、下段：構成比）

	全体	被介護者の年齢階級							
		64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	無回答
全体	822	28	22	40	89	153	209	214	67
	100.0	3.4	2.7	4.9	10.8	18.6	25.4	26.0	8.2
主な介護者の年代	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	2	1	-	-	-	-	1	-
	100.0	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-
	30歳代	4	1	1	1	-	1	-	-
	100.0	25.0	25.0	25.0	-	25.0	-	-	-
	40歳代	52	3	-	3	17	12	6	4
	100.0	5.8	-	5.8	32.7	23.1	11.5	7.7	13.5
	50歳代	149	6	1	-	5	43	60	21
100.0	4.0	0.7	-	3.4	28.9	40.3	14.1	8.7	
60歳代	214	10	10	9	5	10	57	102	
100.0	4.7	4.7	4.2	2.3	4.7	26.6	47.7	5.1	
70歳代	189	2	7	25	51	37	17	39	
100.0	1.1	3.7	13.2	27.0	19.6	9.0	20.6	5.8	
80歳以上	201	5	3	2	8	49	66	46	
100.0	2.5	1.5	1.0	4.0	24.4	32.8	22.9	10.9	
無回答	11	-	-	-	3	1	2	2	
100.0	-	-	-	27.3	9.1	18.2	18.2	27.3	

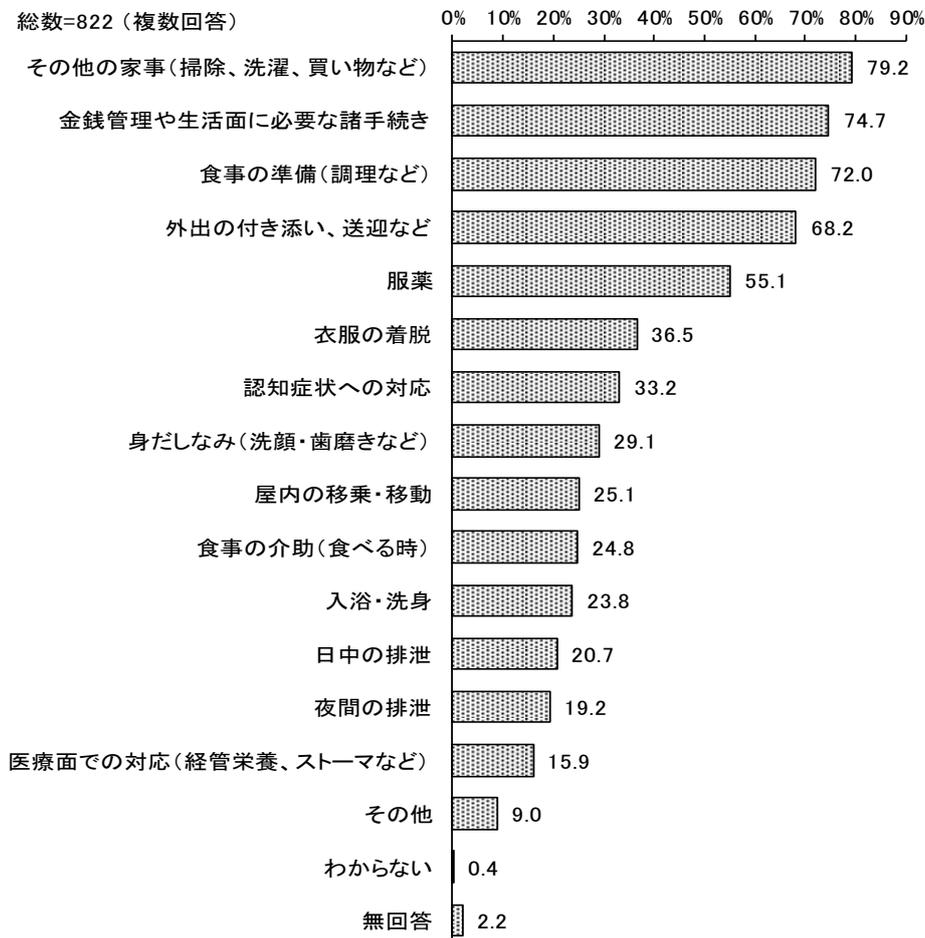
## 2 家族介護の状況について

○週あたりの介護の日数は、「ほぼ毎日ある」59.7%、「家族・親族の介護はない」11.8%、「週に1～2日ある」9.9%となっている。  
 ○主な介護者が行っている介護の内容は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）」79.2%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」74.7%、「食事の準備（調理など）」72.0%となっている。

図表4-6 週あたりの家族介護の日数（同居の有無別）



図表4-7 主な介護者が行っている介護の内容



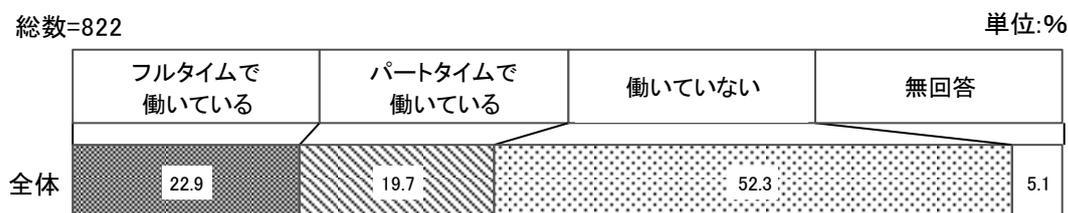
### 3 主な介護者の就労などについて

#### ◆主な介護者の就労の状況、働き方の調整の有無

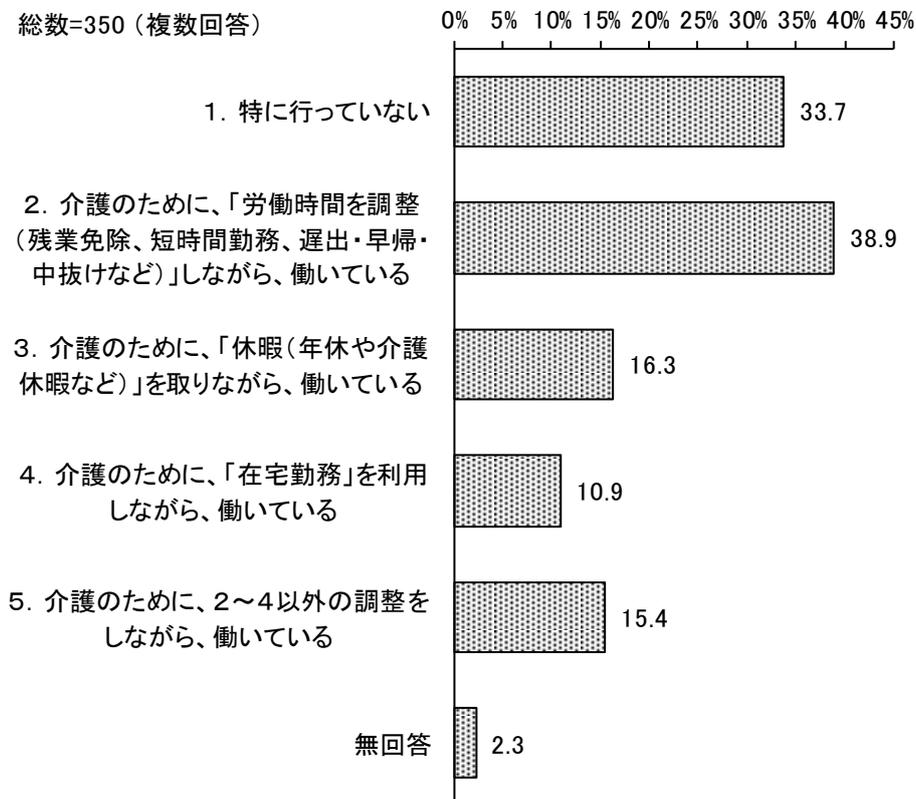
○主な介護者の勤務形態は、「働いていない」52.3%、「フルタイムで働いている」22.9%、「パートタイムで働いている」19.7%となっている。

○主な介護者が働いている場合の働き方の調整は、「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜けなど）』しながら、働いている」38.9%、「特に行っていない」33.7%、「介護のために、『休暇（年休や介護休暇など）』を取りながら働いている」16.3%となっている。

図表4-8 主な介護者の勤務形態



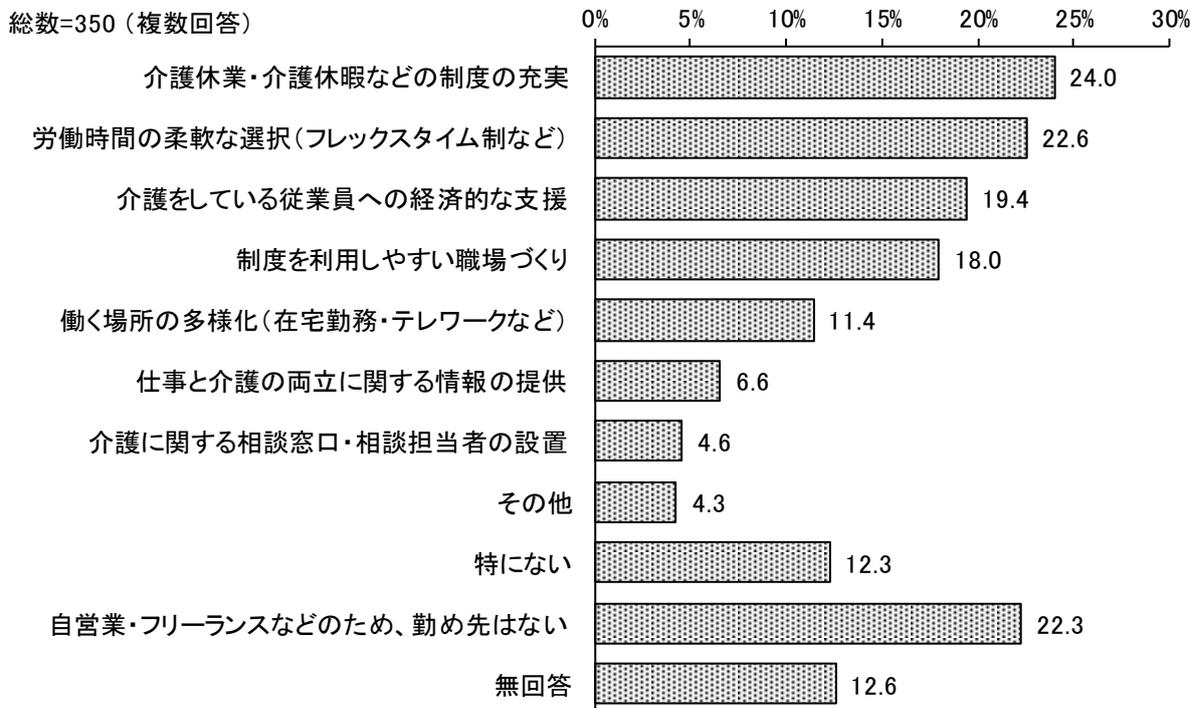
図表4-9 主な介護者の働き方の調整の有無



◆仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援

○仕事と介護の両立に効果があると思われる勤め先からの支援は、「介護休業・介護休暇などの制度の充実」24.0%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」22.6%、「介護をしている従業員への経済的な支援」19.4%となっている。

図表4-10 仕事と介護の両立に効果があると思われる勤め先からの支援



◆主な介護者が働きながら介護を続けていける見込み

○主な介護者が今後も働きながら介護を続けていける見込みは、「問題はあるが、何とか続けていける」と「問題なく続けていける」を合わせた「続けていける」64.9%、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を合わせた「続けていくのは難しい」16.3%となっている。

図表4-11 主な介護者が働きながら介護を続けていける見込み（勤務形態別）

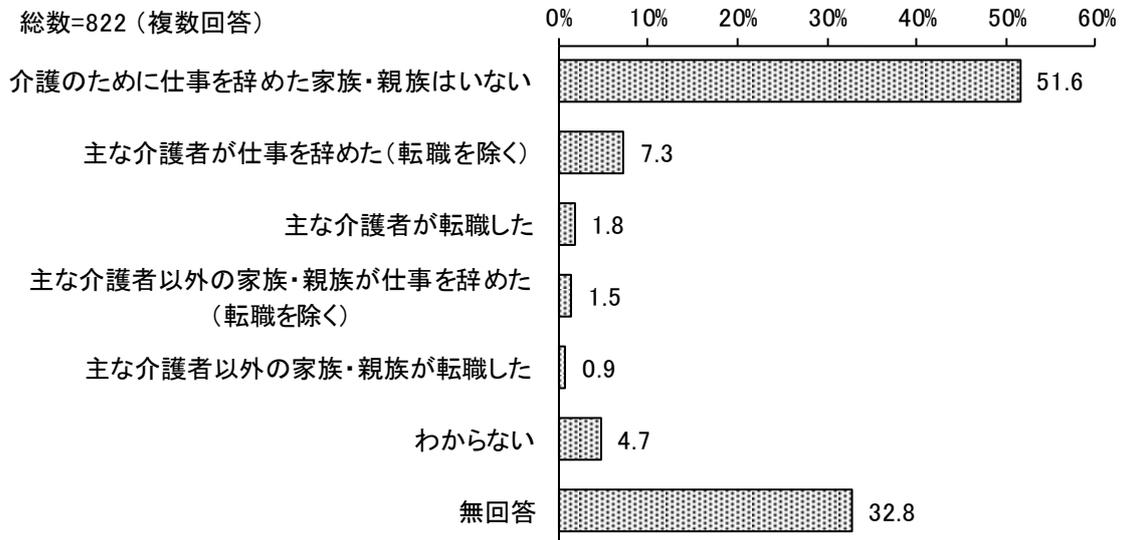
（上段：回答数、下段：構成比）

		全体	問題なく、 続けて いける	何と 問題 はあ るが、 続け てい ける	続 け て い く の は、 や や 難 し い	続 け て い く の は、 か な り 難 し い	無 回 答
全体		350 100.0	59 16.9	168 48.0	33 9.4	24 6.9	66 18.9
勤務 形 態	フルタイムで働いている	188 100.0	37 19.7	89 47.3	21 11.2	14 7.4	27 14.4
	パートタイムで働いている	162 100.0	22 13.6	79 48.8	12 7.4	10 6.2	39 24.1

### ◆介護離職の状況

○介護を理由とした離職・転職の状況は、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」51.6%、「主な介護者が仕事を辞めた（転職を除く）」7.3%、「主な介護者が転職した」1.8%となっている。

図表4-12 介護を理由とした離職・転職の状況

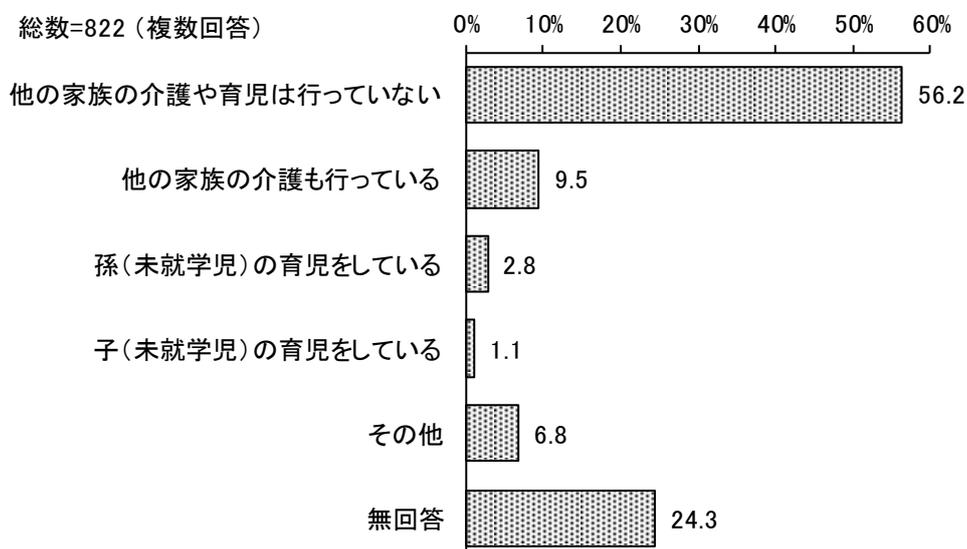


## 4 育児や他の家族の介護の状況について

### ◆育児や他の家族の介護の状況

○主な介護者の育児や他の家族の介護の状況は、「他の家族の介護や育児は行っていない」56.2%、「他の家族の介護も行っている」9.5%、「孫（未就学児）の育児をしている」2.8%となっている。

図表4-13 育児や他の家族の介護の状況

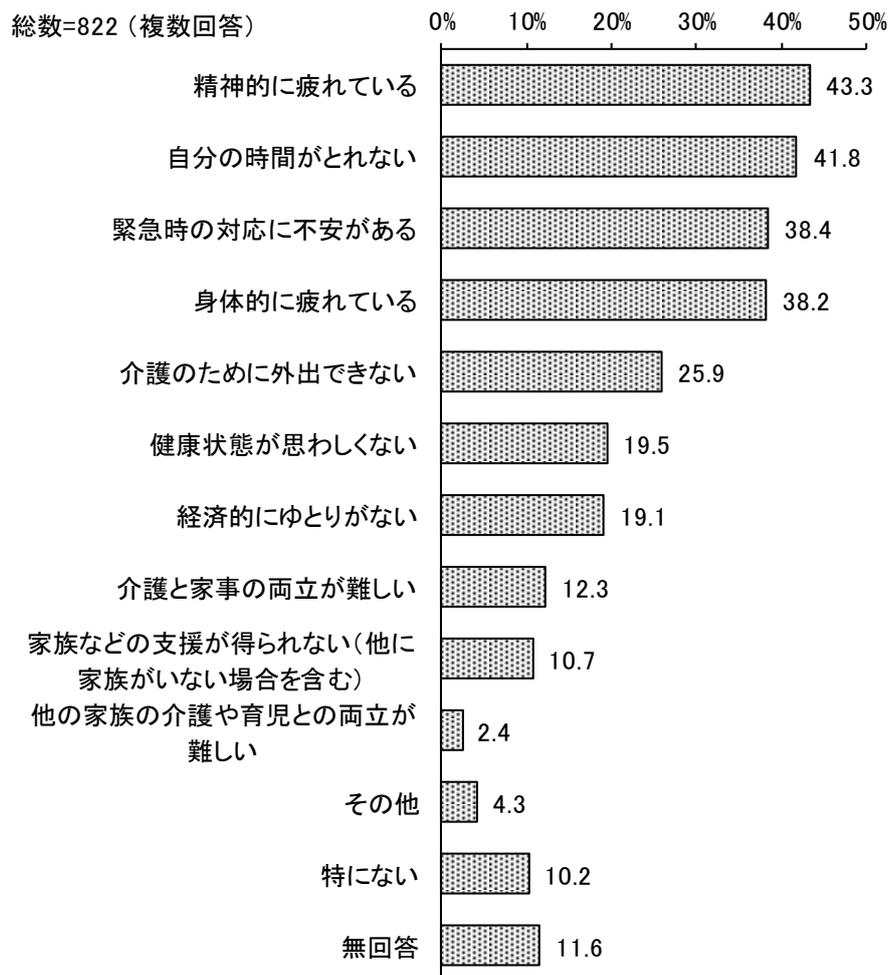


## 5 主な介護者の困りごとなどについて

### ◆主な介護者の介護と仕事の両立以外の困りごと

○主な介護者の介護と仕事の両立以外の困りごとは、「精神的に疲れている」43.3%、「自分の時間がとれない」41.8%、「緊急時の対応に不安がある」38.4%、「身体的に疲れている」38.2%となっている。

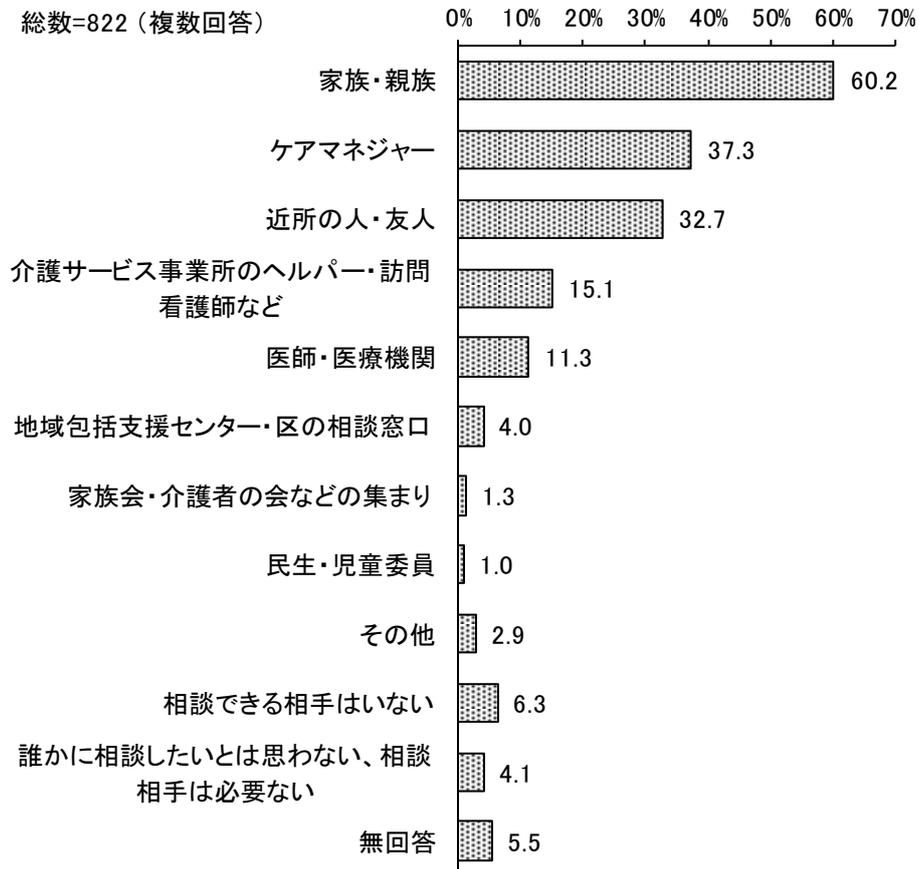
図表4-14 介護と仕事の両立以外の困りごと



## ◆主な介護者の相談相手

○主な介護者が介護をしていてつらいとき、愚痴をこぼしたり相談する相手は、「家族・親族」60.2%、「ケアマネジャー」37.3%、「近所の人・友人」32.7%となっている。

図表4-15 主な介護者の相談相手



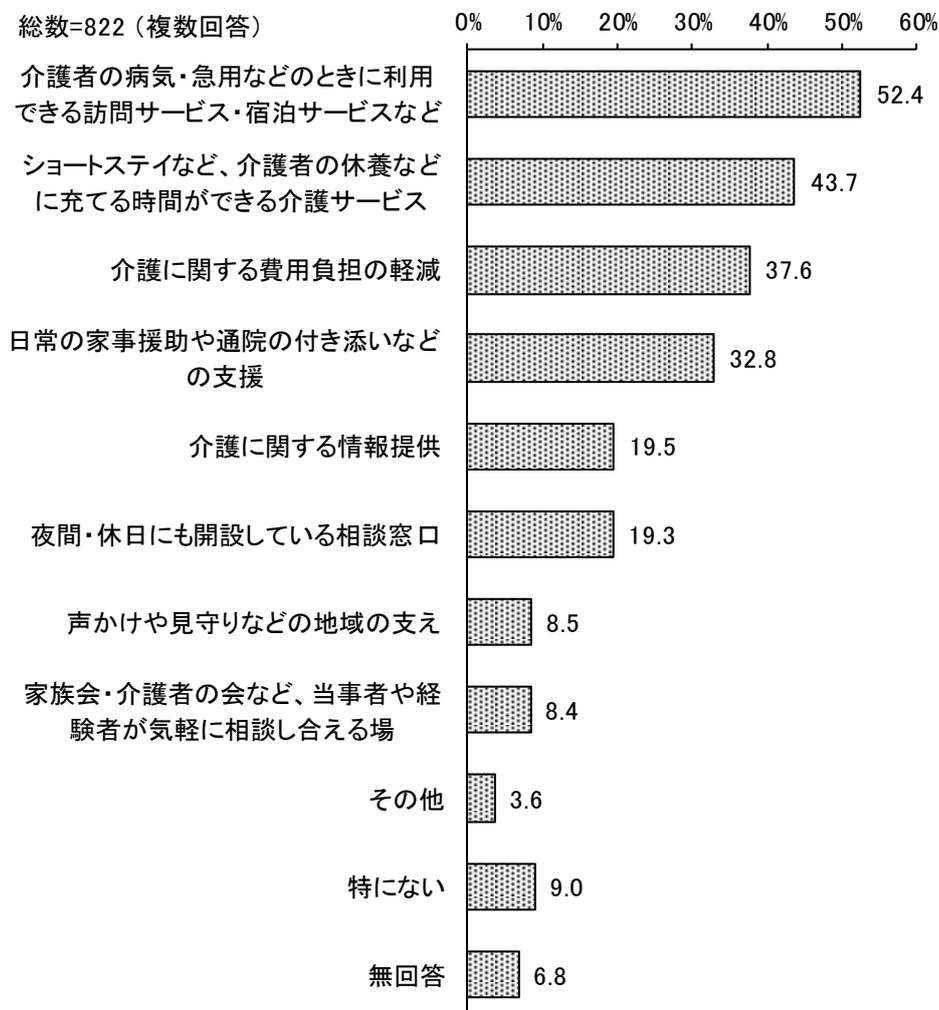
## 6 主な介護者の負担軽減・支援について

### ◆主な介護者が求める支援

○主な介護者が安心して介護をするために必要と考えている支援は、「介護者の病気・急用などのときに利用できる訪問サービス・宿泊サービスなど」52.4%、「ショートステイなど、介護者の休養などに充てる時間ができる介護サービス」43.7%、「介護に関する費用負担の軽減」37.6%となっている。

○介護する人の負担軽減につながっていると思う介護サービスは、「通所サービス（デイサービスなど）」29.8%、「訪問サービス（訪問介護、訪問看護、訪問入浴など）」19.3%、「短期入所サービス（ショートステイなど）」12.8%となっている。

図表4-16 主な介護者が求める支援



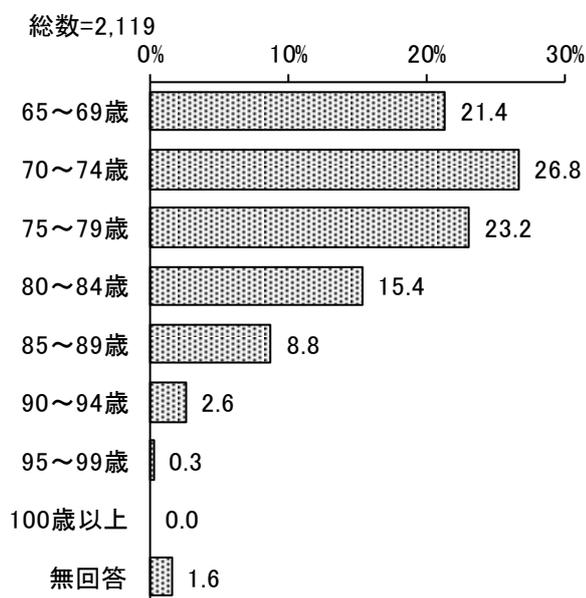
## 第5部 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### 1 本人や家族の状況について

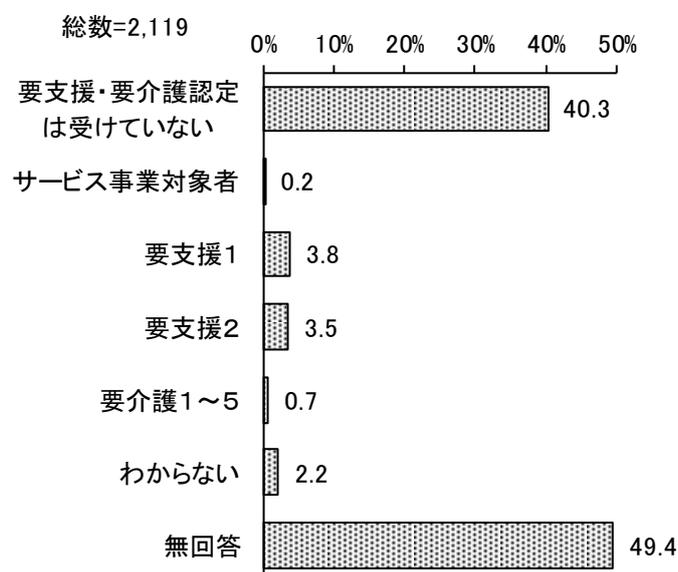
#### ◆年齢、性別、要介護度

- 年齢は、「70～74歳」26.8%、「75～79歳」23.2%、「65～69歳」21.4%  
 全体では、前期高齢者48.2%、後期高齢者50.3%
- 性別は、「女性」58.0%、「男性」40.5%
- 要介護度は、「要支援・要介護認定は受けていない」40.3%、「要支援1」3.8%、「要支援2」3.5%

図表5-1 年齢



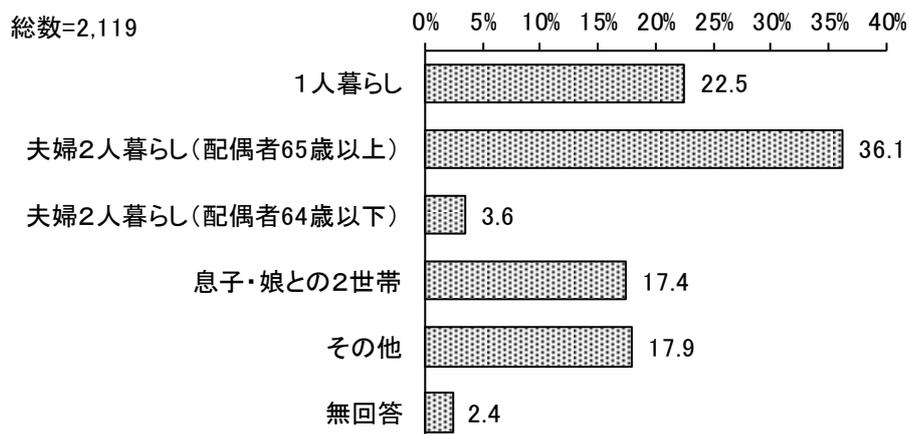
図表5-2 要介護度



#### ◆家族構成

- 家族構成は、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」36.1%、「1人暮らし」22.5%、「その他」17.9%、「息子・娘との2世帯」17.4%となっている。

図表5-3 家族構成

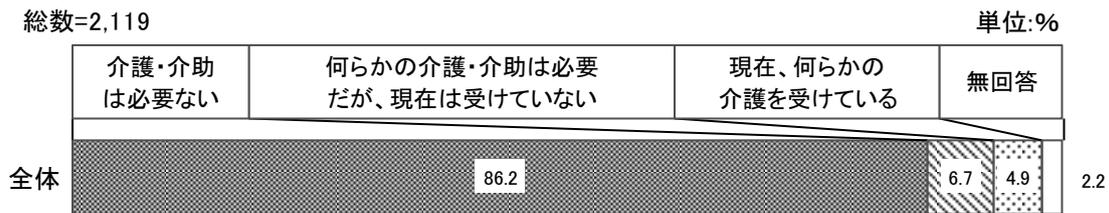


◆介護・介助の状況

○普段の生活での介護・介助の必要性は、「介護・介助は必要ない」86.2%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」6.7%、「現在、何らかの介護を受けている」4.9%となっている。

○介護・介助が必要になった主な原因（上位5件）は、「高齢による衰弱」20.7%、「骨折・転倒」17.9%、「心臓病」12.2%、「関節の病気（リウマチ等）」11.0%、「がん（悪性新生物）」10.2%となっている。

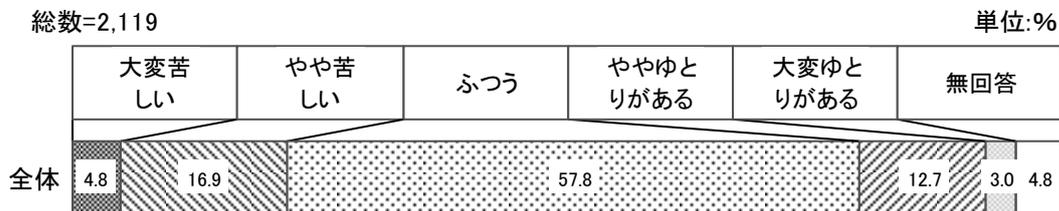
図表5-4 介護・介助の状況



◆経済状況

○経済的に見た暮らしの状況は、「ふつう」57.8%、「やや苦しい」16.9%、「ややゆとりがある」12.7%となっている。

図表5-5 経済的に見た暮らしの状況



## 2 からだを動かすことについて

### ◆外出の状況

- 週あたりの外出の状況は、「週5回以上」49.6%、「週2～4回」40.2%、「週1回」6.4%、「ほとんど外出しない」3.2%となっている。
- 外出する際の移動手段（上位5件）は、「徒歩」85.6%、「電車」62.5%、「路線バス」59.5%、「自転車」30.9%、「タクシー」21.7%となっている。

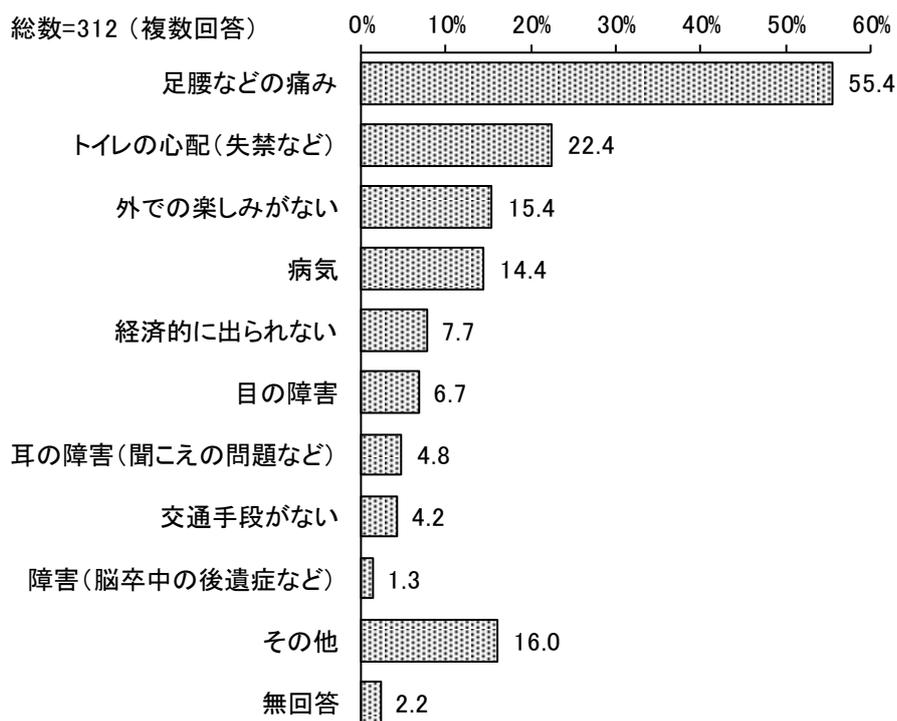
図表5-6 週あたりの外出回数



### ◆外出を控えているか

- 外出を控えているかについては、「はい（控えている）」14.7%、「いいえ（外出を控えていない）」83.6%となっている。
- 外出を控える理由は、「足腰などの痛み」55.4%、「トイレの心配(失禁など)」22.4%、「外での楽しみがない」15.4%となっている。

図表5-7 外出を控えている理由

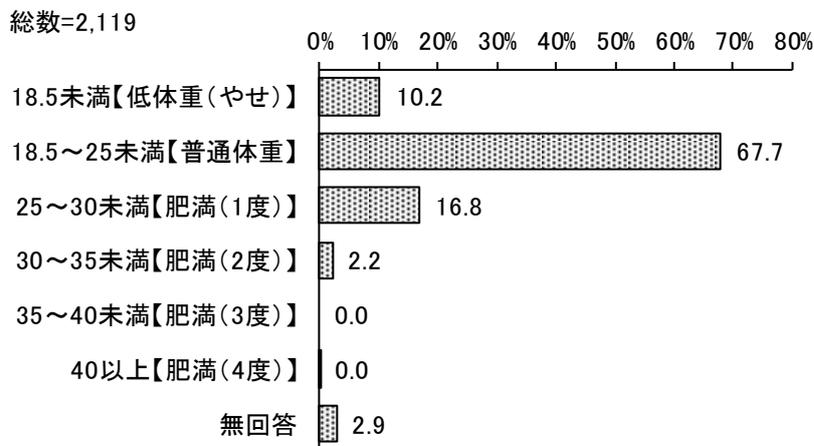


### 3 食べることについて

#### ◆やせ・肥満の状況

○BMIは、「18.5～25未満【普通体重】」67.7%、「25～30未満【肥満（1度）】」16.8%、「18.5未満【低体重】」10.2%となっている。  
 ※BMI = [体重 (kg)] ÷ [身長 (m) の2乗]  
 ○6か月間で2～3kg以上の体重減少の有無は、「いいえ（なし）」83.3%、「はい（あり）」12.5%となっている。

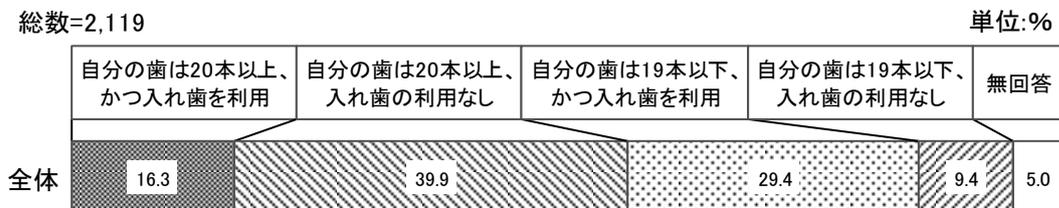
図表5-8 BMI値



#### ◆歯・口腔の状況

○毎日の歯磨き（人にやってもらう場合も含む）は、「はい（している）」91.1%、「いいえ（していない）」6.7%となっている。  
 ○歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」39.9%、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」29.4%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」16.3%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」9.4%となっている。

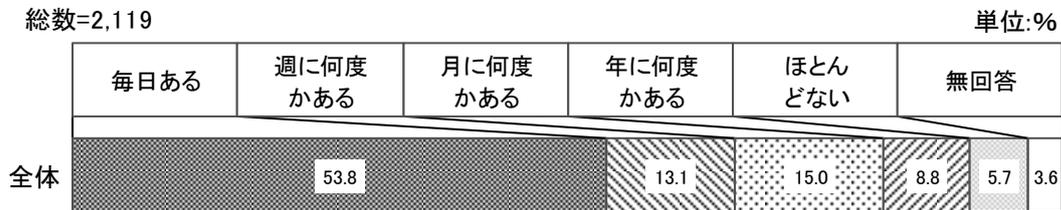
図表5-9 歯の数と入れ歯の利用状況



### ◆食事の状況

○誰かと食事をとる機会を、「毎日ある」53.8%、「月に何度かある」15.0%、「週に何度かある」13.1%となっている。

図表5-10 誰かと食事をとる機会

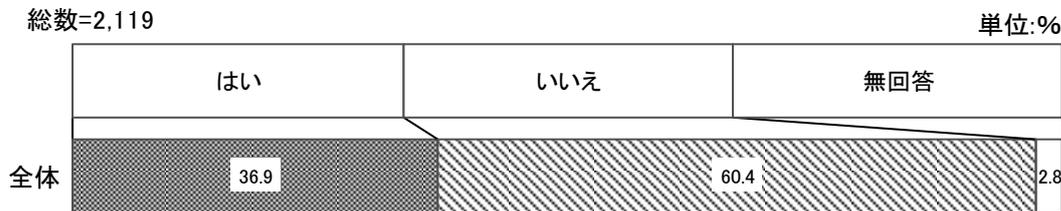


## 4 毎日の生活について

### ◆物忘れの状況

○物忘れの多さは、「いいえ（物忘れが多いと感じない）」60.4%、「はい（物忘れが多いと感じる）」36.9%となっている。

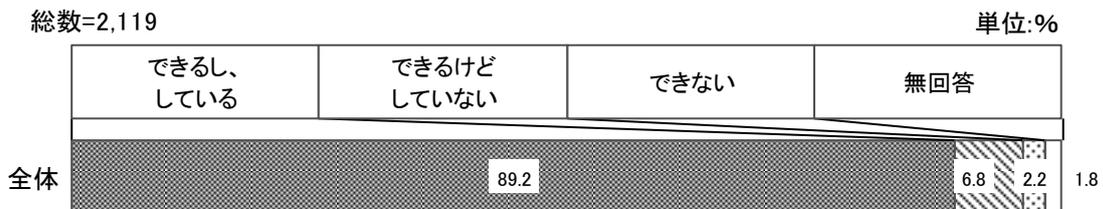
図表5-11 物忘れが多いと感じるか



### ◆日常生活の状況

○自分で食品・日用品の買い物を、「できるし、している」89.2%、「できるけどしていない」6.8%、「できない」2.2%となっている。

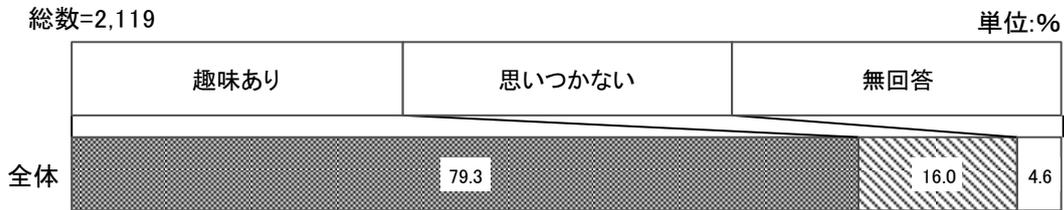
図表5-12 自分で食品・日用品の買い物をしているか



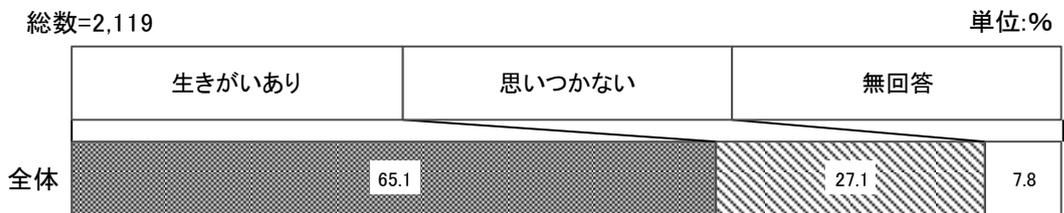
◆趣味・生きがい

○趣味の有無は、「趣味あり」79.3%、「思いつかない」16.0%となっている。  
 ○生きがいの有無は、「生きがいあり」65.1%、「思いつかない」27.1%となっている。

図表5-13 趣味はあるか



図表5-14 生きがいはあるか



## 5 地域での活動について

### ◆地域活動への参加意向

地域住民の有志による健康づくり活動や趣味等のグループ活動に、  
 ○参加者として参加する意向のある人は、「参加してもよい」45.3%、「参加したくない」38.6%、「是非参加したい」5.5%となっている。  
 ○企画・運営役として参加する意向のある人は、「参加したくない」57.7%、「参加してもよい」30.2%、「ぜひ参加したい」2.5%となっている。

図表5-15 地域活動に参加者として参加したいか



図表5-16 地域活動に企画・運営役として参加したいか

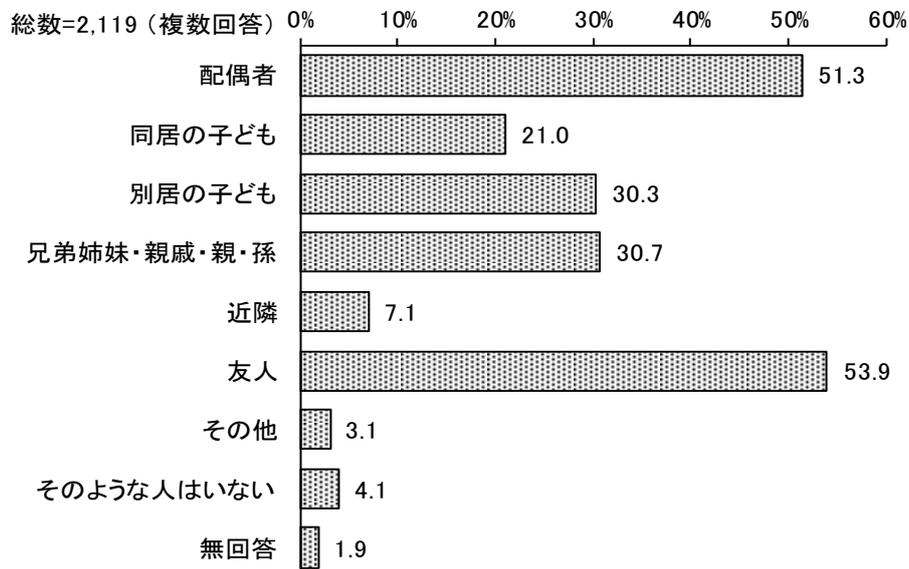


## 6 たすけあいについて

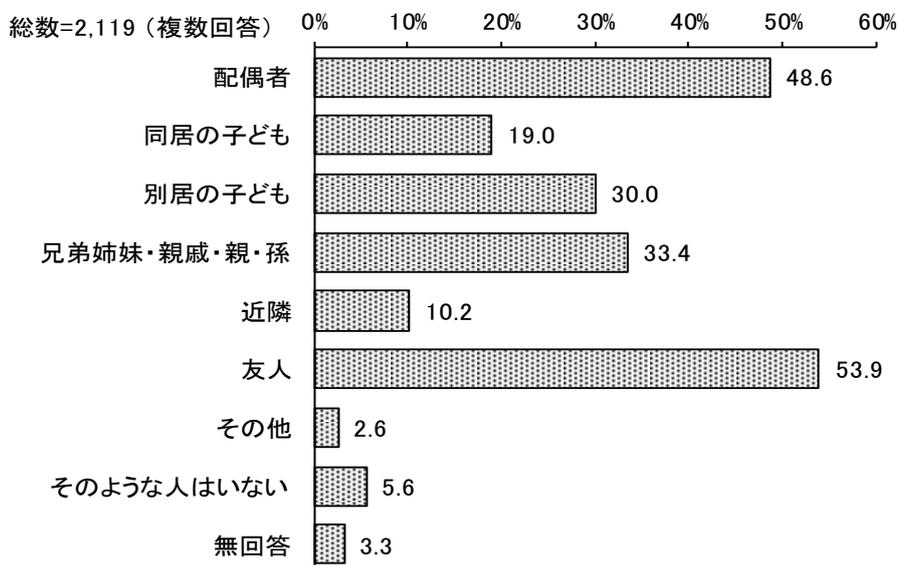
### ◆困ったときに頼る相手または頼られる相手

- 心配事や愚痴を聞いてくれる人は、「友人」53.9%、「配偶者」51.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」30.7%となっている。
- 心配事や愚痴を聞いてあげる人は、「友人」53.9%、「配偶者」48.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」33.4%となっている。
- 家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手は、「そのような人はいない」37.1%、「医師・歯科医師・看護師」35.1%、「地域包括支援センター・役所」12.0%となっている。

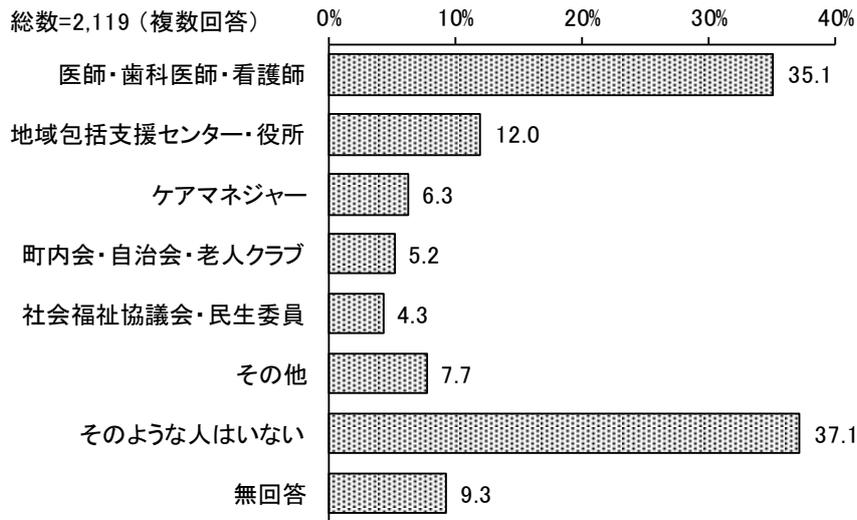
図表5-17 心配事や愚痴を聞いてくれる人



図表5-18 心配事や愚痴を聞いてあげる人



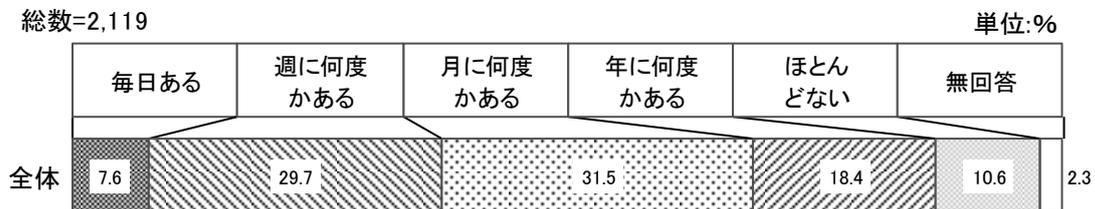
図表5-19 家族や友人・知人以外の相談相手



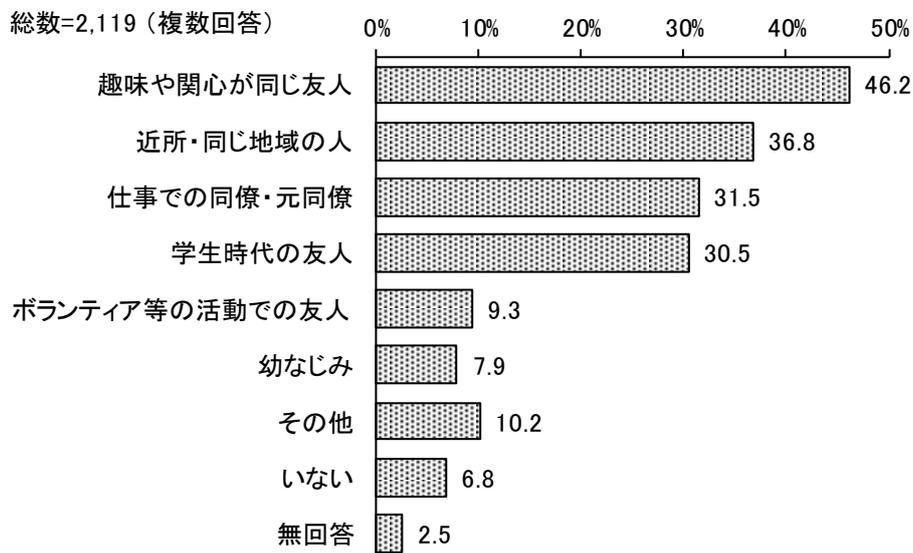
◆友人・知人との交流

○友人・知人と会う頻度は、「月に何度かある」31.5%、「週に何度かある」29.7%、「年に何度かある」18.4%となっている。  
 ○よく合う友人・知人との関係は、「趣味や関心が同じ友人」46.2%、「近所・同じ地域の人」36.8%、「仕事での同僚・元同僚」31.5%となっている。

図表5-20 友人・知人と会う頻度



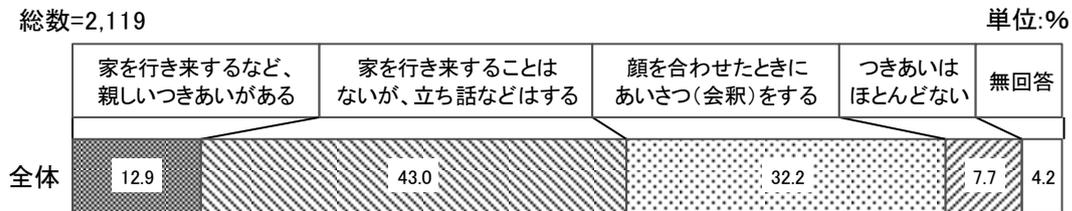
図表5-21 よく会う友人・知人との関係



◆近隣の人との交流

○近隣の人との交流は、「家を行き来することはないが、立ち話などはする」43.0%、「顔を合わせたときにあいさつ（会釈）をする」32.2%、「家を行き来するなど、親しいつきあいがある」12.9%となっている。

図表5-22 近隣の人との交流の有無

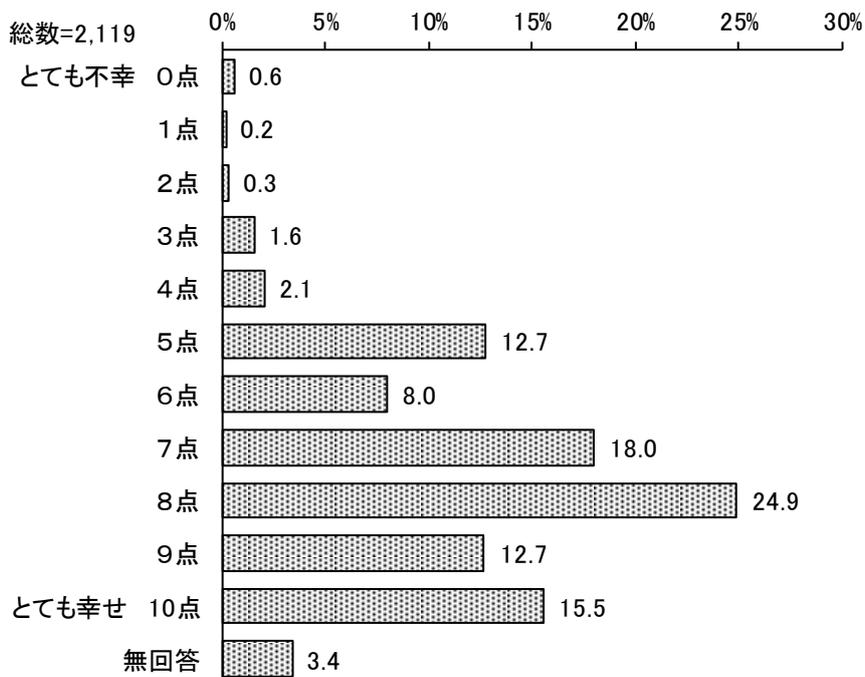


7 健康について

◆健康状態、幸せの程度

○現在の健康状態は、「まあよい」69.0%、「とてもよい」16.4%、「あまりよくない」10.5%、「よくない」2.1%となっている。  
 ○現在の幸せの程度を「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点とした場合、「8点」24.9%、「7点」18.0%、「10点」15.5%となっている。

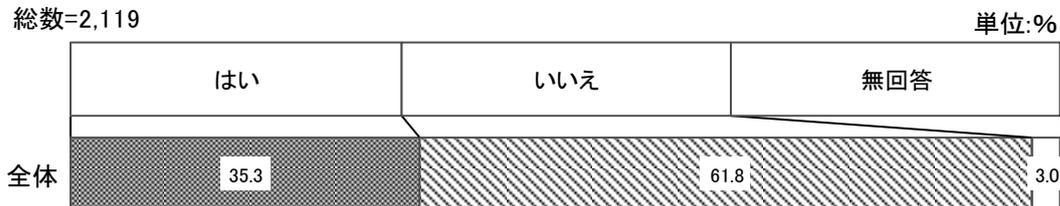
図表5-23 現在の幸せの程度



## ◆こころの健康状態

○最近1か月に気分が沈んだりゆううつな気持ちになったことの有無は、「いいえ(ない)」61.8%、「はい(ある)」35.3%となっている。

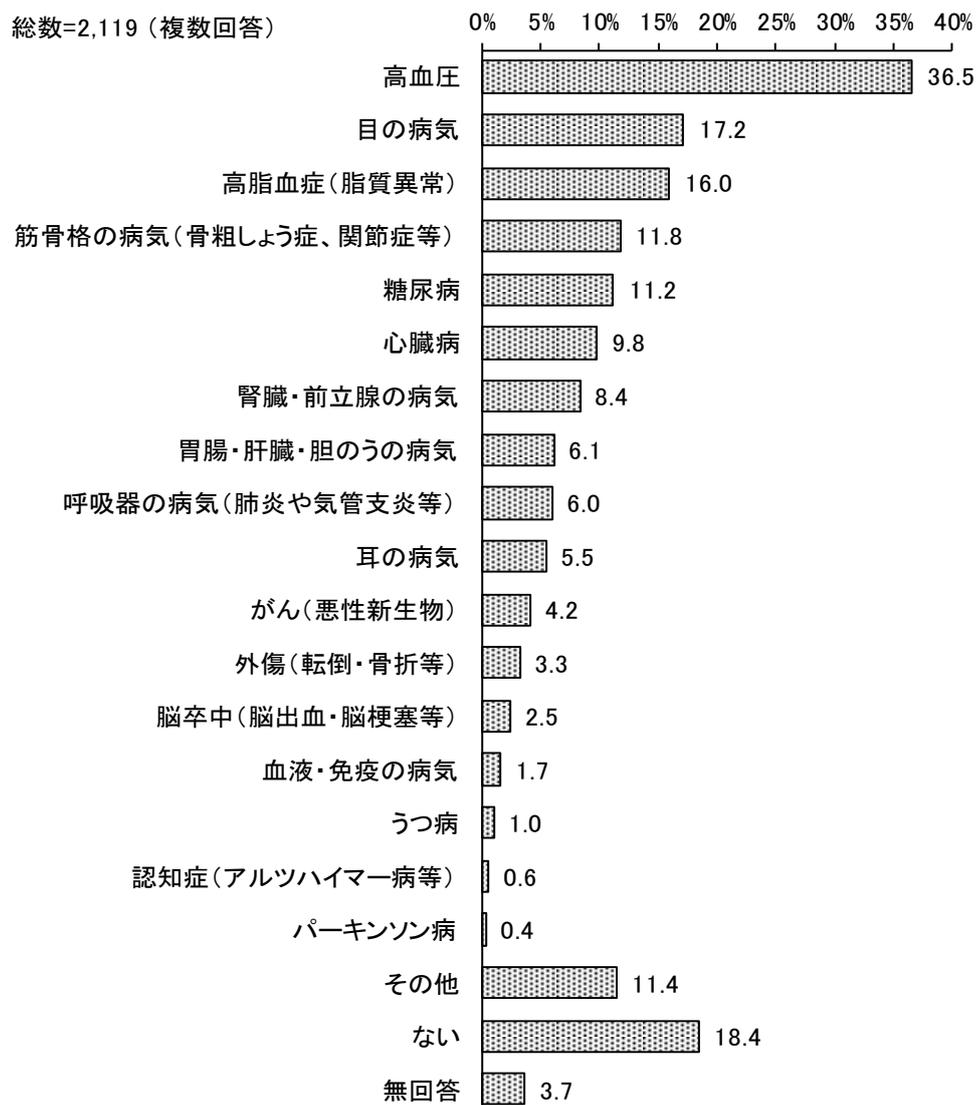
図表5-24 最近1か月に気分が沈むことがあったか



## ◆疾病の状況

○現在治療中、または後遺症のある病気は、「高血圧」36.5%、「目の病気」17.2%、「高脂血症(脂質異常)」16.0%、「ない」18.4%となっている。

図表5-25 治療中又は後遺症のある病気の有無

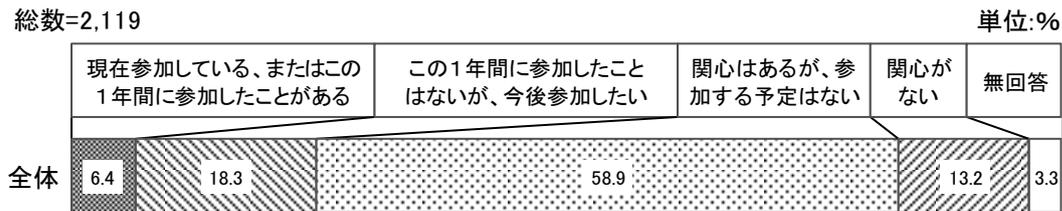


## 8 介護予防事業への参加について

### ◆介護予防教室への関心の有無、参加意向

○目黒区が実施している介護予防教室への参加意向は、「関心はあるが、参加する予定はない」58.9%、「この1年間に参加したことはないが、今後参加したい」18.3%、「関心がない」13.2%となっている。

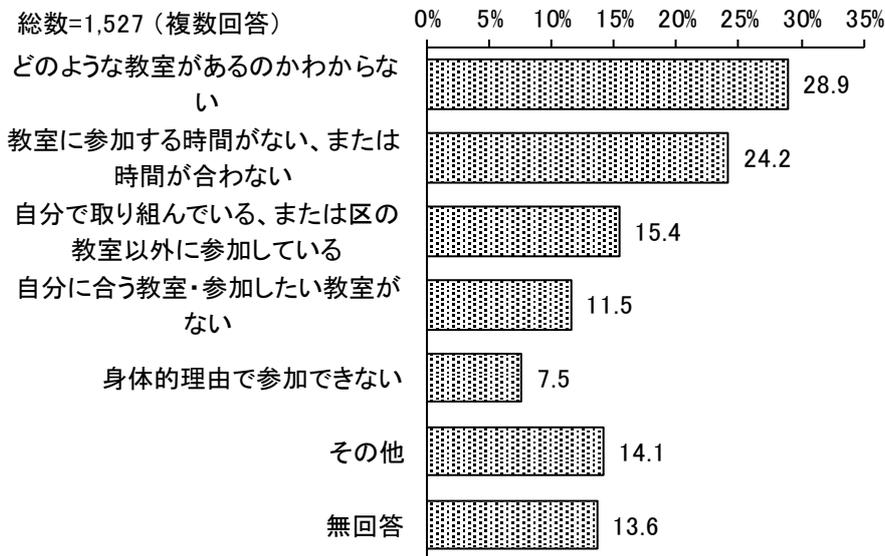
図表5-26 介護予防教室への関心の有無、参加意向



### ◆介護予防教室に参加しない、関心がない理由

○介護予防教室に参加しない理由または関心がない理由は、「どのような教室があるのかわからない」28.9%、「教室に参加する時間がない、または時間が合わない」24.2%、「自分で取り組んでいる、または区の教室以外に参加している」15.4%となっている。

図表5-27 介護予防教室に参加しない、関心がない理由

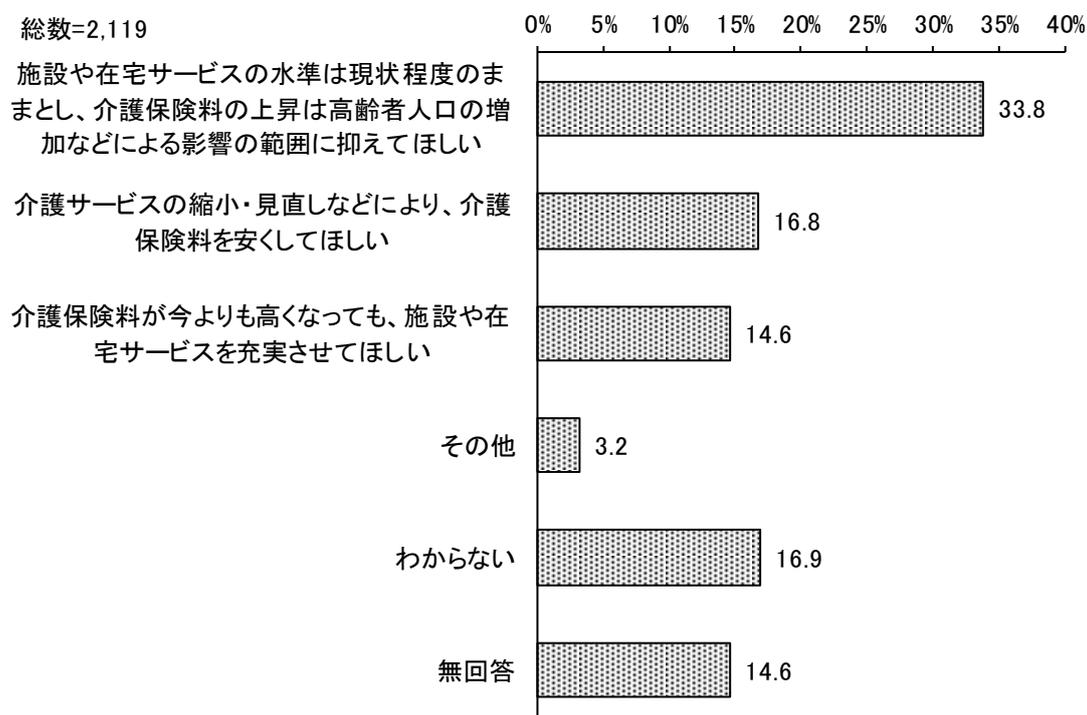


## 9 介護保険制度について

### ◆介護サービスと介護保険料の関係についての考え

○介護サービスと介護保険料の関係については、「施設や在宅サービスの水準は現状程度のままとし、介護保険料の上昇は高齢者人口の増加などによる影響の範囲に抑えてほしい」33.8%、「わからない」16.9%、「介護サービスの縮小・見直しなどにより、介護保険料を安くしてほしい」16.8%となっている。

図表5-28 介護サービスと介護保険料の関係についての考え

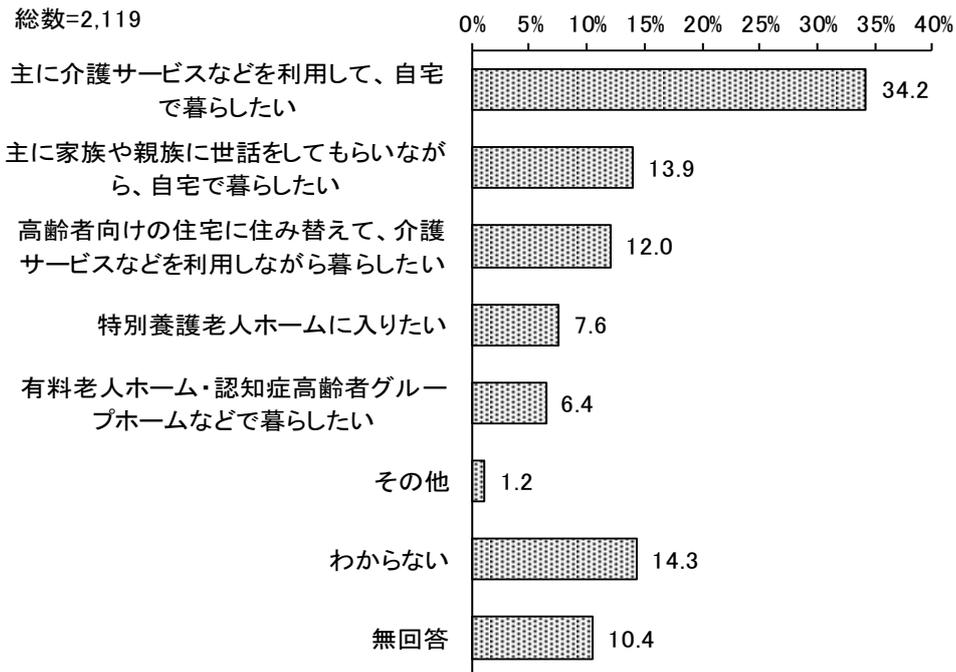


## 10 今後の暮らし方などについて

### ◆今後の暮らし方

○介護が必要となった場合に希望する暮らし方は、「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」34.2%、「わからない」14.3%、「主に家族や親族に世話をしてもらいながら、自宅で暮らしたい」13.9%となっている。

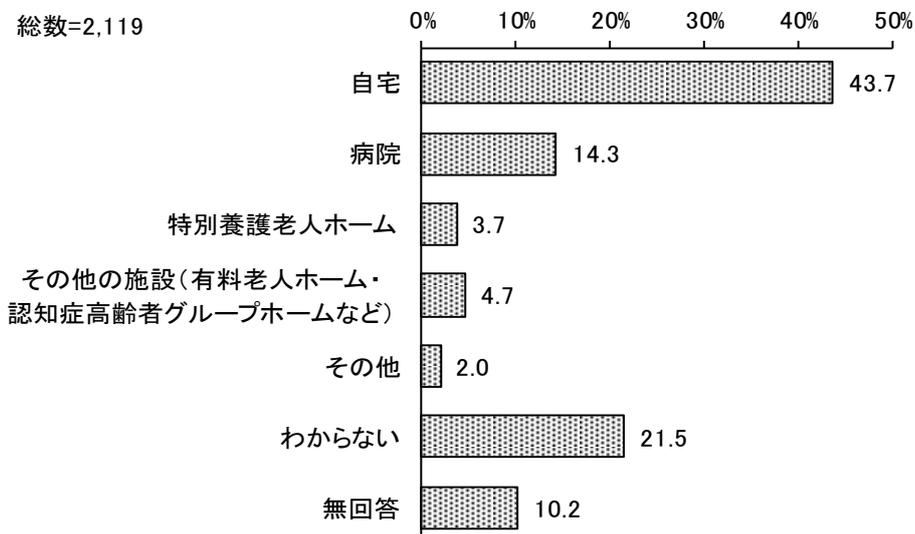
図表5-29 介護が必要になった場合に希望する暮らし方



### ◆人生の最期を迎えたい場所

○人生の最期を迎えたい場所は、「自宅」43.7%、「わからない」21.5%、「病院」14.3%となっている。

図表5-30 人生の最期を迎えたい場所

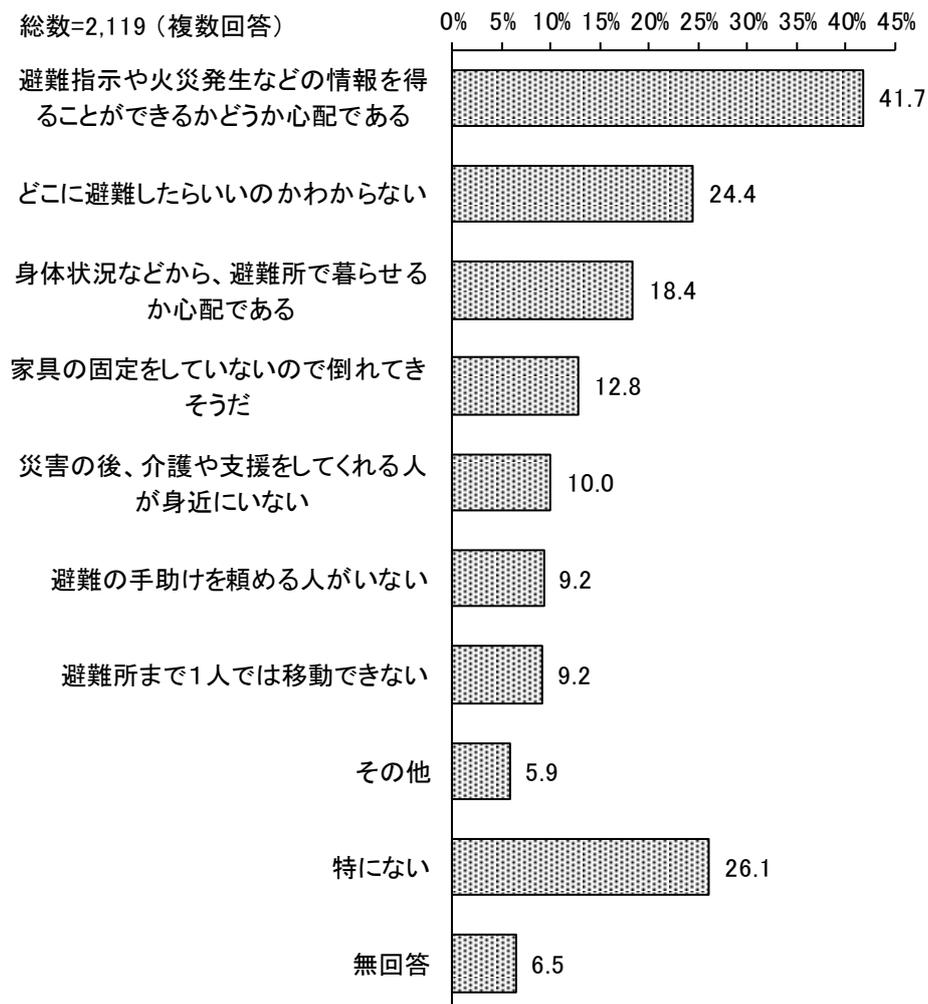


## 11 災害時の対策について

### ◆災害時や火災などの緊急時の対応で不安なこと

○災害時（地震や風水害等）や火災などの緊急時に対応について不安なことは、「避難指示や火災発生などの情報を得ることができるかどうか心配である」41.7%、「特にない」26.1%、「どこに避難したらいいのかわからない」24.4%となっている。

図表5-31 災害時や火災などの緊急時の対応で不安なこと



## 12 リスク項目該当者の判定結果

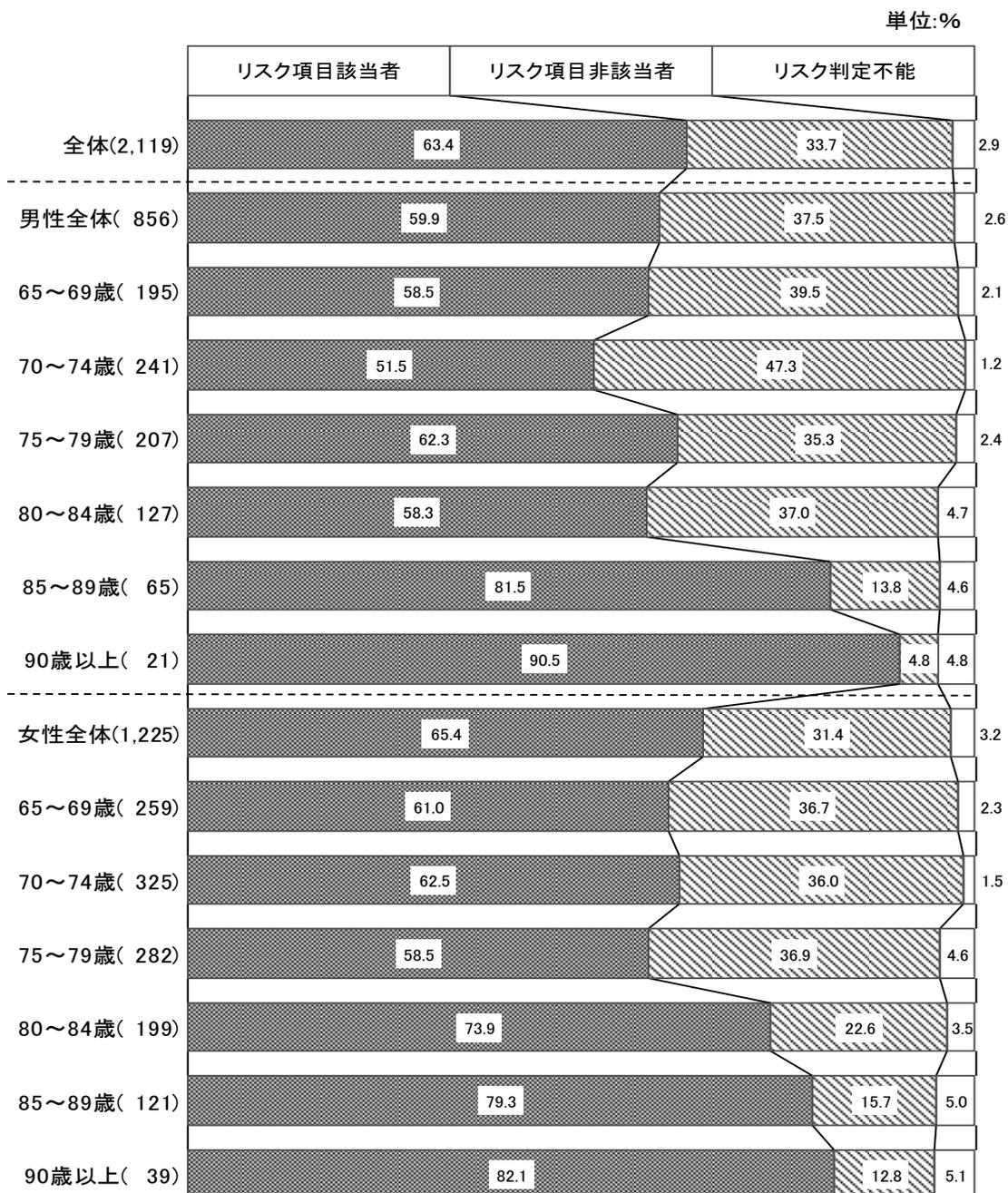
### 【リスク項目該当者】

「生活機能」、「運動機能」、「栄養状態」、「口腔機能」、「閉じこもり」、「認知機能」、「心の健康」の各リスク項目について、厚生労働省が示す判定基準により判定した結果、いずれか1項目以上に該当した者。

### ◆リスク項目該当者出現率

○リスク項目該当者は全体では63.4%、リスク項目非該当者は33.7%

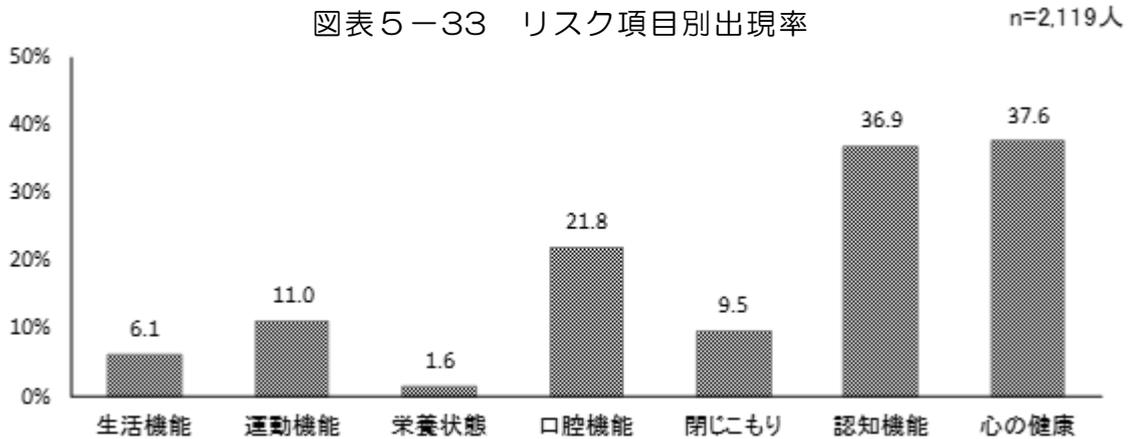
図表 5-32 リスク項目該当者出現率（性別・年齢階級別）



(性別・年齢階級が無回答の38人は掲載していない)

◆リスク項目別出現率

○リスク項目別出現率は、「心の健康」37.6%、「認知機能」36.9%、「口腔機能」21.8%、「運動機能」11.0%、「閉じこもり」9.5%、「生活機能」6.1%、「栄養状態」1.6%となっている。



図表5-34 リスク項目別出現率（性別・年齢階級別）

（上段：回答数、下段：構成比）

	全体	生活機能	運動機能	栄養状態	口腔機能	閉じこもり	認知機能	心の健康	判定不能 非該当	
全体	2,119 100.0	129 6.1	234 11.0	33 1.6	462 21.8	202 9.5	781 36.9	797 37.6	776 36.6	
性別・年齢階級	男性全体	856 100.0	53 6.2	71 8.3	13 1.5	168 19.6	82 9.6	303 35.4	292 34.1	343 40.1
	65～69歳	195 100.0	6 3.1	5 2.6	3 1.5	31 15.9	9 4.6	65 33.3	72 36.9	81 41.5
	70～74歳	241 100.0	9 3.7	11 4.6	2 0.8	36 14.9	23 9.5	71 29.5	79 32.8	117 48.5
	75～79歳	207 100.0	9 4.3	15 7.2	3 1.4	48 23.2	15 7.2	77 37.2	66 31.9	78 37.7
	80～84歳	127 100.0	8 6.3	12 9.4	1 0.8	31 24.4	16 12.6	42 33.1	35 27.6	53 41.7
	85～89歳	65 100.0	12 18.5	17 26.2	2 3.1	15 23.1	12 18.5	34 52.3	30 46.2	12 18.5
	90歳以上	21 100.0	9 42.9	11 52.4	2 9.5	7 33.3	7 33.3	14 66.7	10 47.6	2 9.5
	女性全体	1,225 100.0	70 5.7	155 12.7	19 1.6	280 22.9	109 8.9	457 37.3	493 40.2	424 34.6
	65～69歳	259 100.0	5 1.9	8 3.1	-	39 15.1	12 4.6	70 27.0	111 42.9	101 39.0
	70～74歳	325 100.0	7 2.2	24 7.4	5 1.5	74 22.8	15 4.6	109 33.5	141 43.4	122 37.5
	75～79歳	282 100.0	12 4.3	27 9.6	5 1.8	59 20.9	22 7.8	100 35.5	97 34.4	117 41.5
	80～84歳	199 100.0	22 11.1	39 19.6	6 3.0	58 29.1	28 14.1	97 48.7	72 36.2	52 26.1
	85～89歳	121 100.0	15 12.4	38 31.4	2 1.7	36 29.8	21 17.4	64 52.9	58 47.9	25 20.7
90歳以上	39 100.0	9 23.1	19 48.7	1 2.6	14 35.9	11 28.2	17 43.6	14 35.9	7 17.9	
無回答	38 100.0	6 15.8	8 21.1	1 2.6	14 36.8	11 28.9	21 55.3	12 31.6	9 23.7	

図表5-35 他のリスクとの重複状況

(上段：回答数、下段：構成比)

		全体	生活機能	運動機能	栄養状態	口腔機能	閉じこもり	認知機能	心の健康
全体		1,343 100.0	129 9.6	234 17.4	33 2.5	462 34.4	202 15.0	781 58.2	797 59.3
リスク項目	生活機能	129 100.0	129 100.0	99 76.7	9 7.0	94 72.9	77 59.7	100 77.5	86 66.7
	運動機能	234 100.0	99 42.3	234 100.0	10 4.3	104 44.4	83 35.5	140 59.8	124 53.0
	栄養状態	33 100.0	9 27.3	10 30.3	33 100.0	12 36.4	8 24.2	20 60.6	22 66.7
	口腔機能	462 100.0	94 20.3	104 22.5	12 2.6	462 100.0	79 17.1	274 59.3	246 53.2
	閉じこもり	202 100.0	77 38.1	83 41.1	8 4.0	79 39.1	202 100.0	100 49.5	108 53.5
	認知機能	781 100.0	100 12.8	140 17.9	20 2.6	274 35.1	100 12.8	781 100.0	410 52.5
	心の健康	797 100.0	86 10.8	124 15.6	22 2.8	246 30.9	108 13.6	410 51.4	797 100.0

図表5-36 地区別出現率（リスク項目別）

(上段：回答数、下段：構成比)

		全体	北部地区	東部地区	中央地区	南部地区	西部地区
全体		2,119 100.0	279 13.2	386 18.2	434 20.5	426 20.1	560 26.4
リスク項目	生活機能	129 6.1	17 6.1	34 8.8	22 5.1	31 7.3	23 4.1
	運動機能	234 11.0	26 9.3	51 13.2	40 9.2	55 12.9	58 10.4
	栄養状態	33 1.6	5 1.8	5 1.3	8 1.8	6 1.4	8 1.4
	口腔機能	462 21.8	54 19.4	87 22.5	96 22.1	96 22.5	118 21.1
	閉じこもり	202 9.5	16 5.7	47 12.2	46 10.6	40 9.4	52 9.3
	認知機能	781 36.9	104 37.3	138 35.8	161 37.1	159 37.3	199 35.5
	心の健康	797 37.6	110 39.4	148 38.3	158 36.4	164 38.5	206 36.8

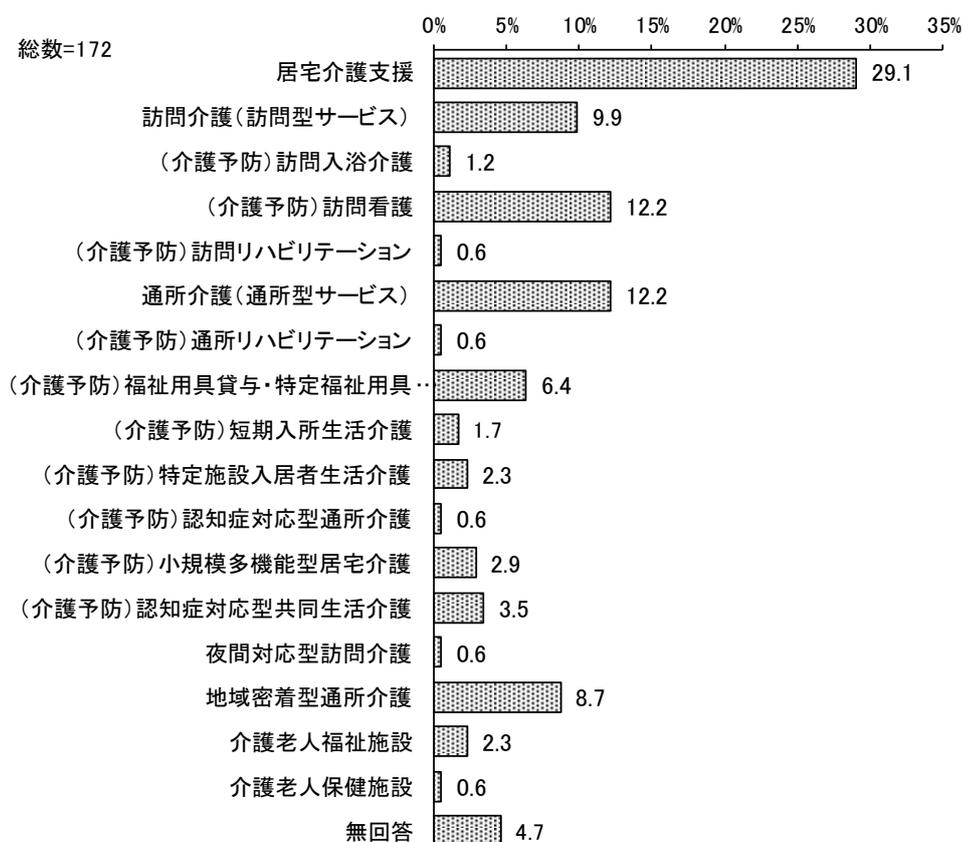
## 第6部 サービス提供事業所調査

### 1 事業所の概要について

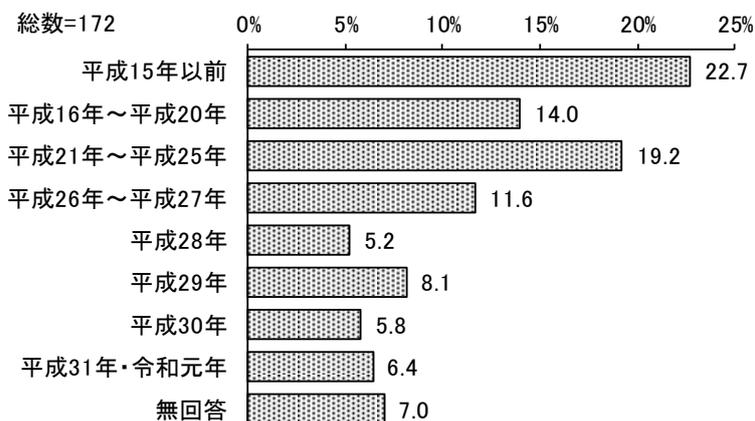
#### ◆事業所が提供している介護サービスおよび提供開始年月

- サービス種別は、「居宅介護支援」29.1%、「(介護予防)訪問看護」12.2%、「通所介護(通所型サービス)」12.2%となっている。
- サービス提供開始年は、「平成15年以前」22.7%、「平成21年～平成25年」19.2%、「平成16年～平成20年」14.0%となっている。

図表6-1 介護サービスの種類



図表6-2 サービス提供の開始年

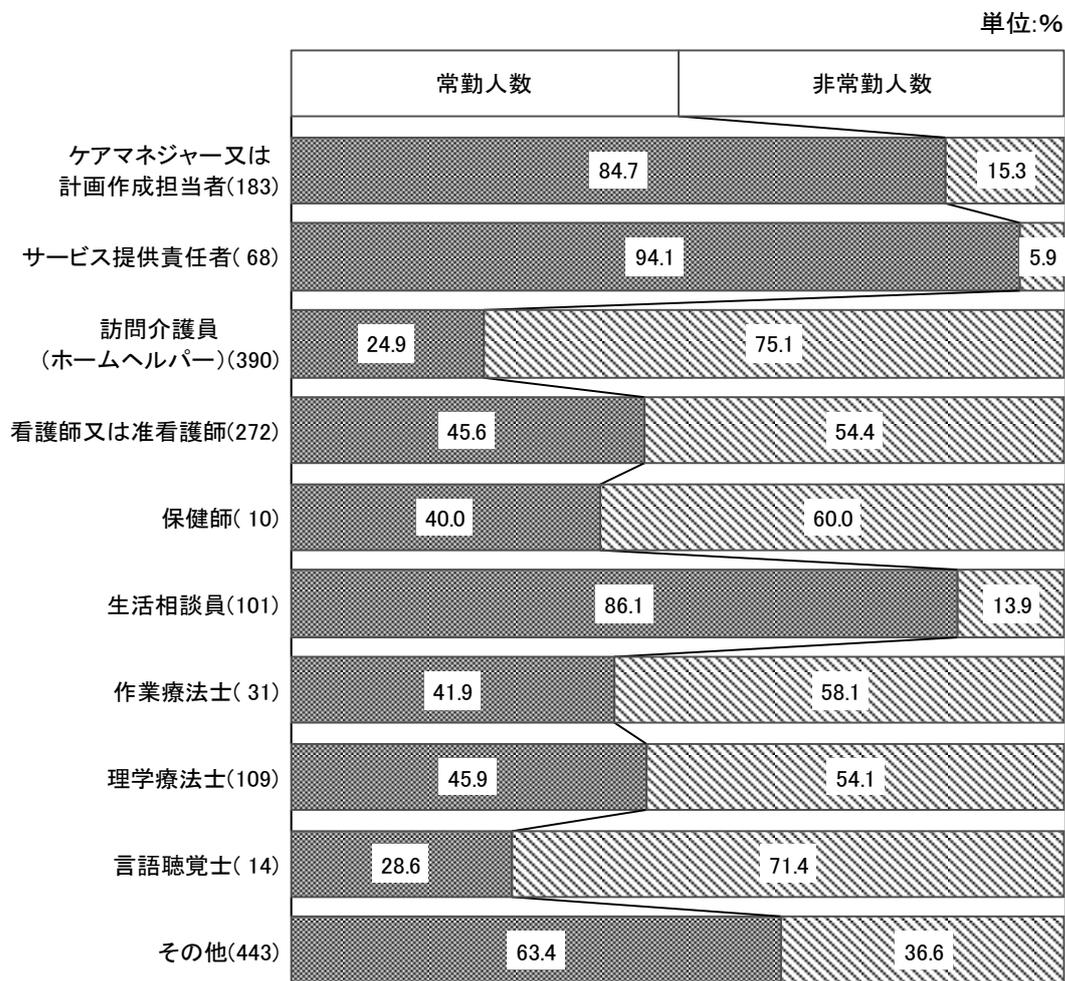


## 2 人材確保や雇用管理について

### ◆ 職種別・勤務形態別職員数、勤続年数

- この調査に回答のあった事業所の職種別の職員数は、「訪問介護員（ホームヘルパー）」390人、「看護師又は准看護師」272人、「ケアマネジャー又は計画作成担当者」183人となっている。
- 常勤の比率が高い職種は、「サービス提供責任者」94.1%、「生活相談員」86.1%、「ケアマネジャー又は計画作成担当者」84.7%となっている。
- 常勤職員の勤続年数ごとの人数は、「5年以上」36.9%、「1年以上3年未満」27.3%、「3年以上5年未満」17.6%となっている。

図表6-3 職種別勤務形態別人数



図表6-4 常勤職員の勤続年数



### ◆採用人数及び離職人数

- 常勤職員の平均採用人数は、全体で1.25人、男性0.48人、女性0.76人
- 非常勤職員の平均採用人数は、全体で1.24人、男性0.30人、女性0.94人
- 常勤職員の平均離職人数は、全体で0.99人、男性0.41人、女性0.58人
- 非常勤職員の平均離職人数は、全体で0.81人、男性0.21人、女性0.60人

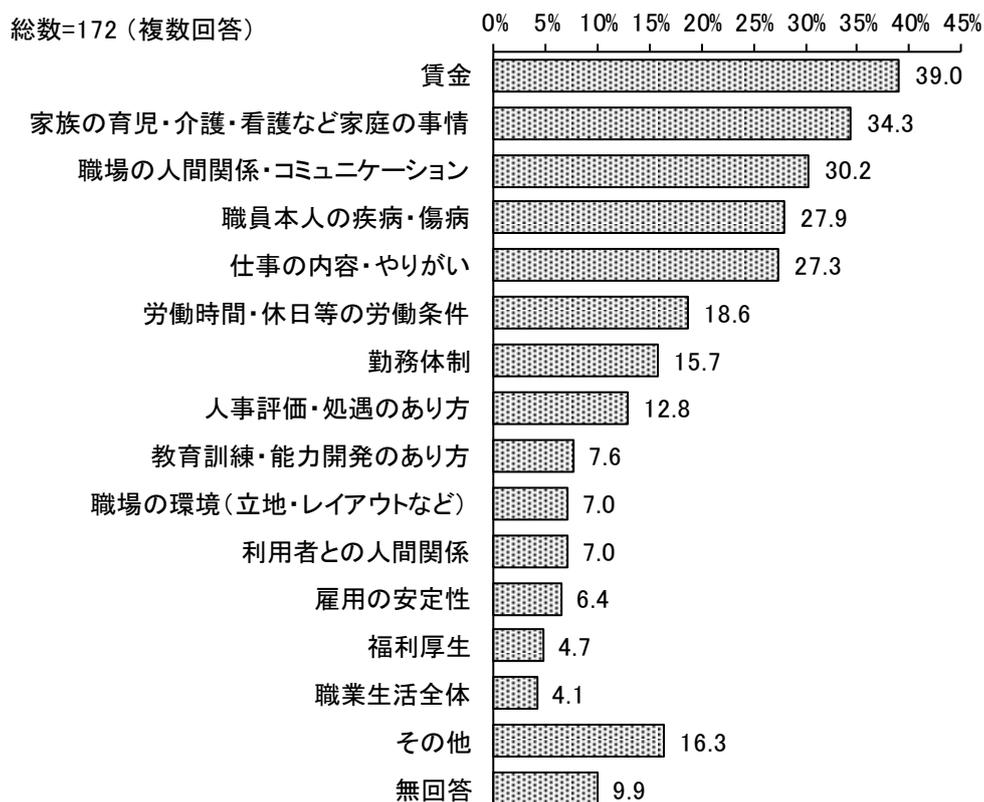
図表6-5 過去1年間の採用人数及び離職人数

		採用人数(事業所数=157)			離職人数(事業所数=146)		
		男性	女性	合計	男性	女性	合計
常勤職員	人数	76	120	196	60	84	144
	平均値(人)	0.48	0.76	1.25	0.41	0.58	0.99
	最大値(人)	7	8	15	17	9	26
非常勤職員	人数	47	147	194	30	88	118
	平均値(人)	0.30	0.94	1.24	0.21	0.60	0.81
	最大値(人)	4	7	11	4	10	14

### ◆職員の離職理由

○職員の離職理由として考えられることは、「賃金」39.0%、「家族の育児・介護・看護など家庭の事情」34.3%、「職場の人間関係・コミュニケーション」30.2%となっている。

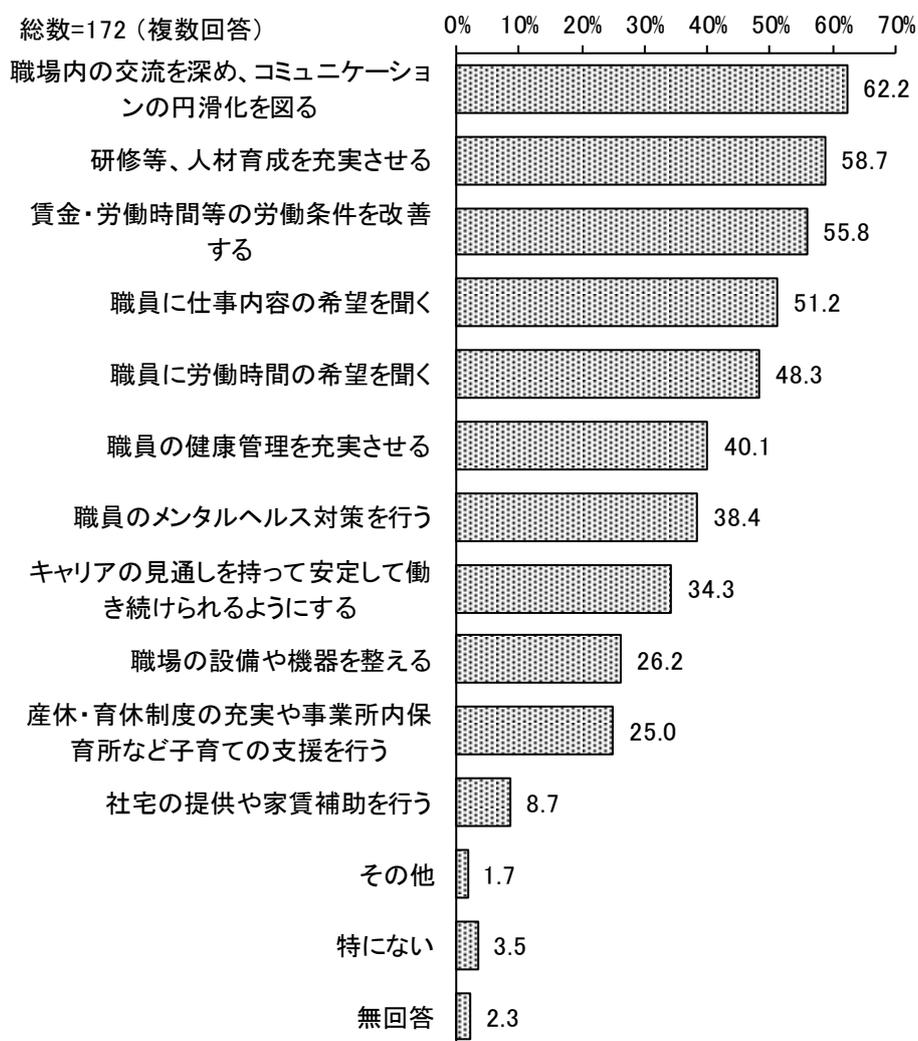
図表6-6 職員の離職理由



## ◆早期離職の防止や定着促進のための取り組み

○職員の早期離職防止や定着促進のための取り組みは、「職場内の交流を深め、コミュニケーションの円滑化を図る」62.2%、「研修等、人材育成を充実させる」58.7%、「賃金・労働時間等の労働条件を改善する」55.8%となっている。

図表6-7 職員の早期離職の防止や定着促進のための取組内容



## ◆確保が困難な職種

○特に確保が困難な職種（上位5件）は、

- 「介護職（ヘルパー及び介護福祉士以外）」28.5%
- 「ケアマネジャー又は計画作成担当者」24.4%
- 「看護師又は准看護師」22.1%
- 「介護福祉士」15.7%
- 「訪問介護員（ホームヘルパー）」14.0%

### 3 サービス供給の今後の見込みについて

#### ◆平成30年度収入額の対前年度比と収入額の増減理由

- 平成30年度の収入額は、前年度に比べ「ほぼ変わらない」27.9%、「少し増えた（1割増未満）」23.8%、「大きく増えた（2割増以上）」と「少し減った（1割減未満）」が9.9%となっている。
- 収入額の増減理由は、「利用者人数の増減」40.7%、「利用者1人当たりの利用単価の増減」17.7%となっている。

図表6-8 平成30年度の前年度からの収入額の変化



#### ◆平成30年度のサービスの収支と当該サービスの今後の予定

- 平成30年度のサービス収支は、「黒字だった」44.2%、「赤字だった」33.1%、「どちらでもない」18.6%となっている。
- 当該サービスの今後の予定は、「現状維持」52.9%、「提供拡大の予定」28.5%、「未定、わからない」9.3%となっている。

図表6-9 平成30年度のサービス収支



図表6-10 サービスについての今後の予定

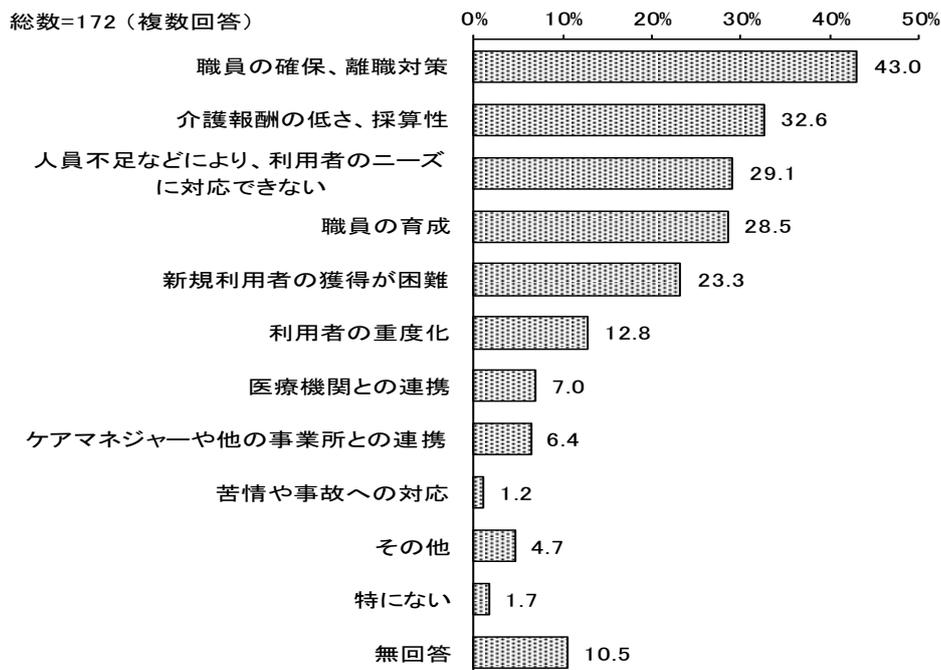


## 4 事業所運営における課題等について

### ◆事業所運営にあたっての課題

○事業所の運営にあたっての課題は、「職員の確保、離職対策」43.0%「介護報酬の低さ、採算性」32.6%、「人員不足などにより、利用者のニーズに対応できない」29.1%となっている。

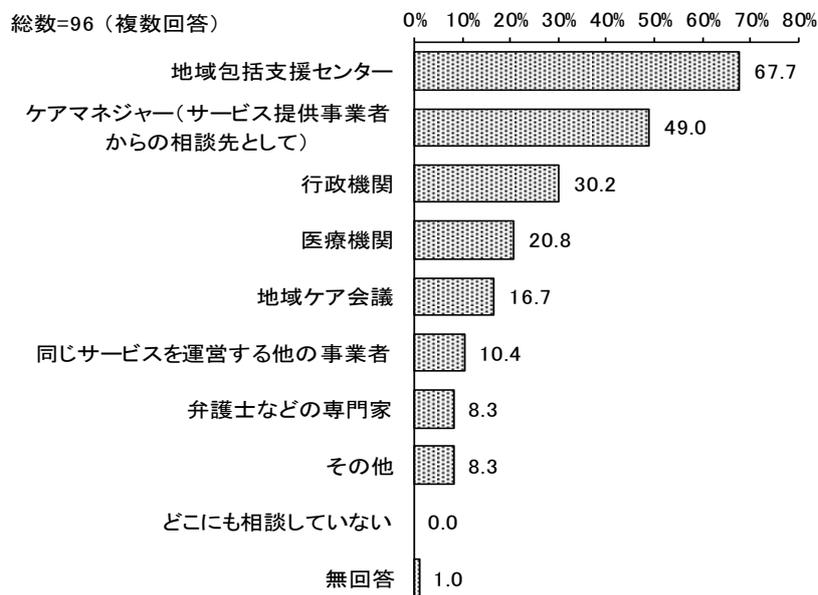
図表6-11 事業所運営にあたっての課題



### ◆困難事例の有無と対応の相談先

○自らの事業所だけでは解決が困難な事例は、「ある」55.8%、「ない」44.2%  
 ○困難事例の相談先は、「地域包括支援センター」67.7%、「ケアマネジャー」49.0%、「行政機関」30.2%となっている。

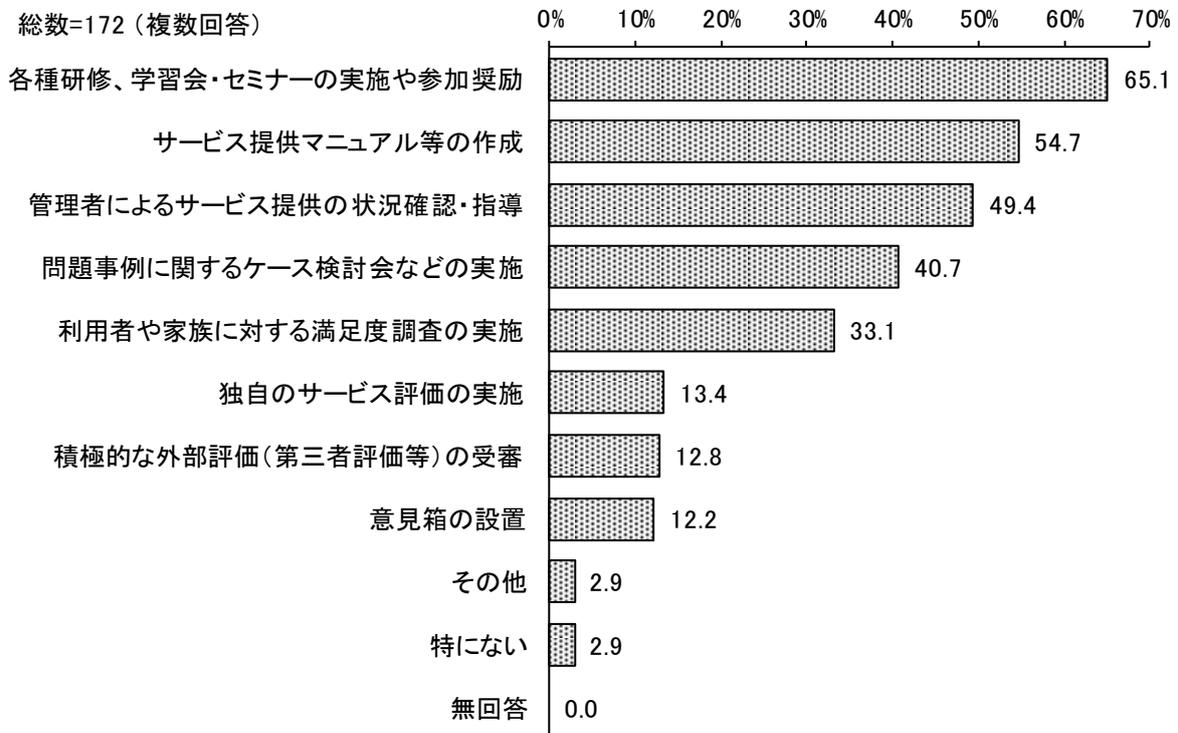
図表6-12 困難事例への対応の相談先



### ◆サービスの質の向上のための取り組み

○サービスの質の向上のために講じている取り組みは、「各種研修、学習会・セミナーの実施や参加奨励」65.1%、「サービス提供マニュアル等の作成」54.7%、「管理者によるサービス提供の状況確認・指導」49.4%となっている。

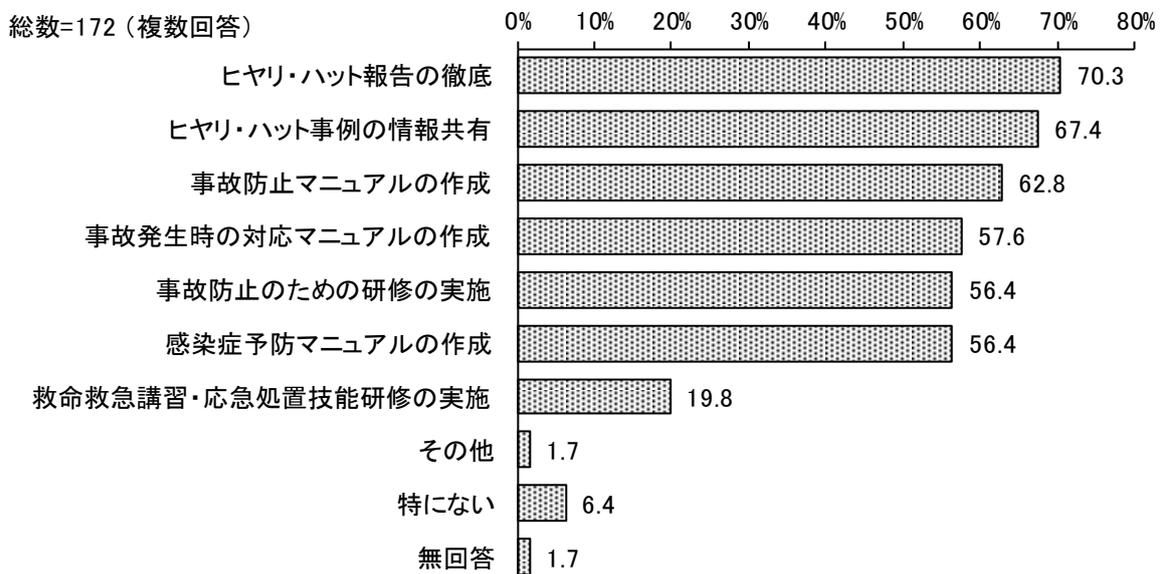
図表6-13 サービスの質向上のための取り組み



### ◆事故防止や再発防止の取り組み

○事故防止や再発防止のために講じている取り組みは、「ヒヤリ・ハット報告の徹底」70.3%、「ヒヤリ・ハット事例の情報共有」67.4%、「事故防止マニュアルの作成」62.8%となっている。

図表6-14 サービスの提供中の事故防止や再発防止の取り組み

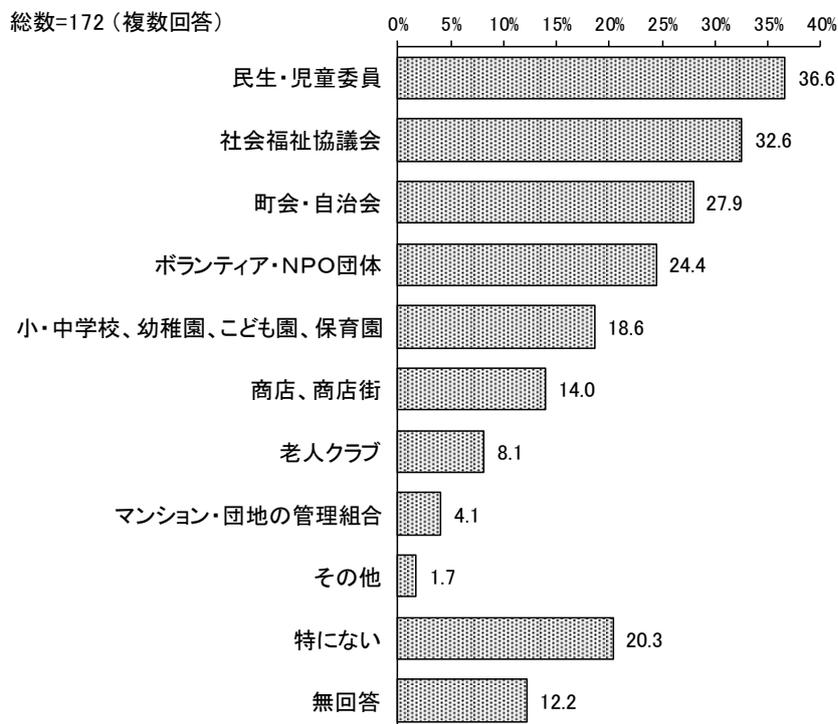


## 5 介護サービス以外のことについて

### ◆地域の団体や組織との関わり

- 事業所が関わりを持つ地域の団体や組織は、「民生・児童委員」36.6%、「社会福祉協議会」32.6%、「町会・自治会」27.9%となっている。
- 地域の団体や組織との関わりの内容（上位5件）は、「介護や福祉についての専門知識や情報の提供・共有」29.3%、「地域のまつりへの参加」21.6%、「事業所のサービスにおけるボランティア活動」18.1%、「事業所で行う催しへの招待」16.4%、「避難訓練への参加など、災害時対応への協力」16.4%となっている。

図表6-15 地域の団体や組織との関わりの有無



## 6 災害対策について

### ◆災害時マニュアル、BCP（災害時の事業継続計画）の策定状況

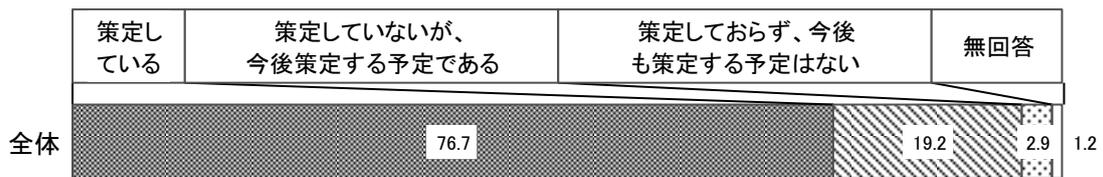
#### ◆避難や安否確認訓練の実施状況

- 災害時マニュアルは、「策定している」76.7%、「策定していないが、今後策定する予定である」19.2%、「策定しておらず、今後も策定する予定はない」2.9%となっている。
- BCP（災害時の事業継続計画）は、「策定していないが、今後策定する予定である」45.3%、「策定している」27.3%、「策定しておらず、今後も策定する予定はない」23.8%となっている。
- 避難や安否確認の訓練の実施は、「事業所で訓練を行っている」45.9%、「訓練を行っていない」40.7%、「地域と合同で訓練を行っている」9.3%となっている。

図表6-16 災害時マニュアルの策定

総数=172

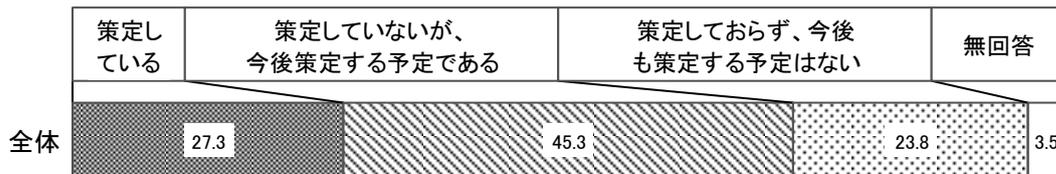
単位:%



図表6-17 BCP（災害時の事業継続計画）の策定状況

総数=172

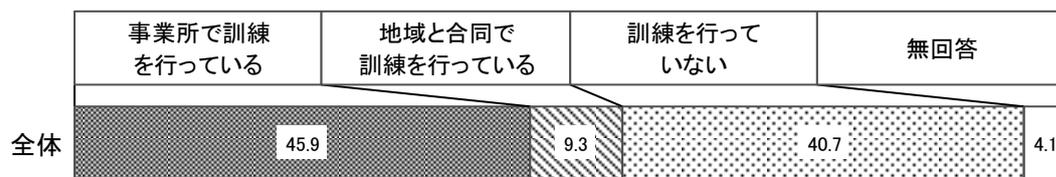
単位:%



図表6-18 避難や安否確認の訓練の実施状況

総数=172

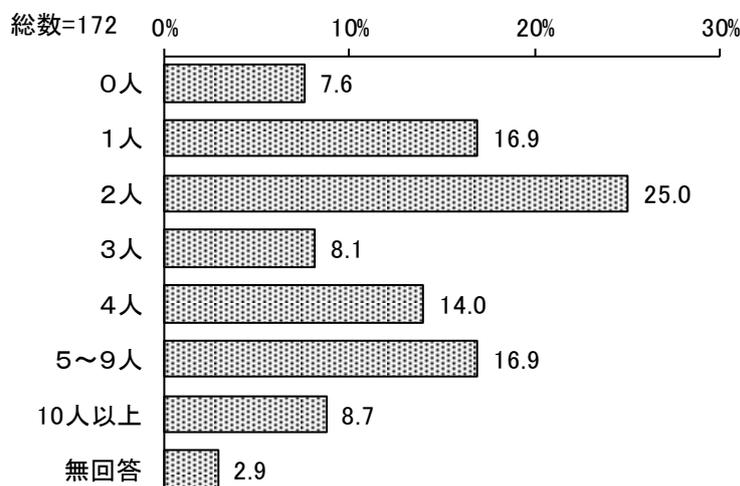
単位:%



◆非常時に自宅から30分以内に駆けつけられる職員数

- 非常時に自宅から30分以内に事業所に駆け付けられる職員数は、「2人」25.0%、「1人」16.9%、「5～9人」16.9%、「4人」14.0%となっている。
- 非常時に30分以内に駆けつけられる職員の割合は、「20～30%未満」14.5%、「30～40%未満」14.5%、「10～20%未満」13.4%、「50～60%未満」11.6%となっている。

図表6-19 非常時に自宅から30分以内に駆けつけられる職員数割合



### ◆「災害時における避難行動要支援者等の支援に関する協定」の締結状況および締結していない理由

- 区との「災害時における避難行動要支援者等の支援に関する協定」の締結状況は、
- 「締結している」29.7%
  - 「締結していない」29.1%
  - 「わからない」37.8%
- 協定を締結していない事業者の締結していない理由は、
- 「協定のことを知らなかった」50.0%
  - 「どのような協力ができるかわからない」26.0%
  - 「手続きのしかたがわからない」20.0%
  - 「災害時は、自分の事業の利用者対応で精一杯である」18.0%
  - 「協定を締結すると、協力の義務や責任が発生しそうである」4.0%
  - 「協力できることがない」2.0%

## 7 区に対する要望について

### ◆サービスの質の向上のため、または事業を展開するうえで必要な区からの支援

- サービスの質の向上のために必要な区からの支援（上位5件）は、
- 「支援困難者への対応とサポート」42.4%
  - 「事業所向け研修の充実」35.5%
  - 「ケアマネジャーや事業所のための相談体制の充実」34.3%
  - 「地域内の組織やボランティア等地域資源との連携強化のための支援」30.2%
  - 「医療機関など多職種連携強化のための支援」27.3%
- 事業を展開するうえで必要な区からの支援（上位5件）は、
- 「介護保険制度に関する情報の提供」49.4%
  - 「災害発生時の利用者の援護」43.0%
  - 「区の保健福祉施策・サービスに関する情報の提供」34.9%
  - 「サービス利用者や家族の介護保険制度（サービス）の理解向上に向けた取り組み」34.9%
  - 「採用相談会の実施や借り上げ住宅の補助など、人材確保のための支援」26.7%

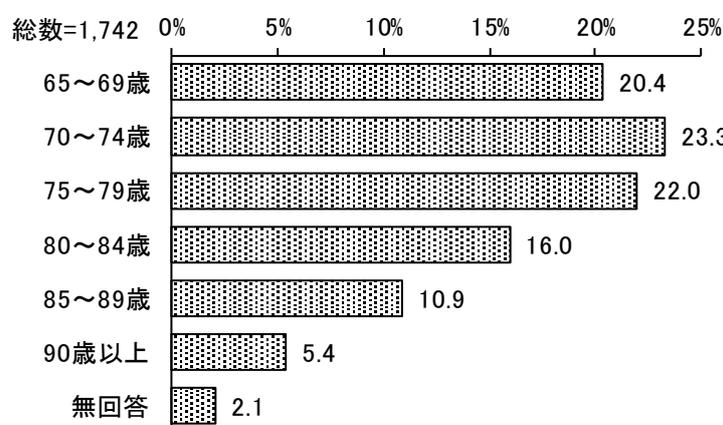
## 第7部 高齢者の生活に関する調査

### 1 本人や家族の状況について

#### ◆性別、年齢

- 性別は、「男性」41.6%、「女性」56.1%  
 ○年齢は、「70～74歳」23.3%、「75～79歳」22.0%、「65～69歳」20.4%、「80～84歳」16.0%。  
 全体では、前期高齢者（74歳以下）43.7%、後期高齢者（75歳以上）54.3%

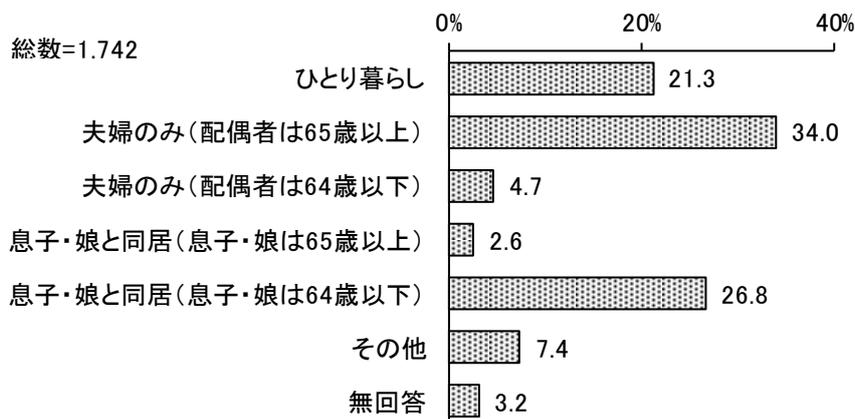
図表 7-1 年齢



#### ◆家族構成、日中の家族の状況

- 家族構成は、「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」の割合が34.0%で最も高く、次いで「息子・娘と同居（息子・娘は64歳以下）」が26.8%、「ひとり暮らし」が21.3%となっている。  
 ○日中の家族の状況は、「いつも誰かがいる」の割合が32.1%で最も高く、次いで「誰かがいることが多い」が28.3%、「自分一人のことが多い」が19.7%、「いつも自分一人である」が13.0%となっている。

図表 7-2 家族構成

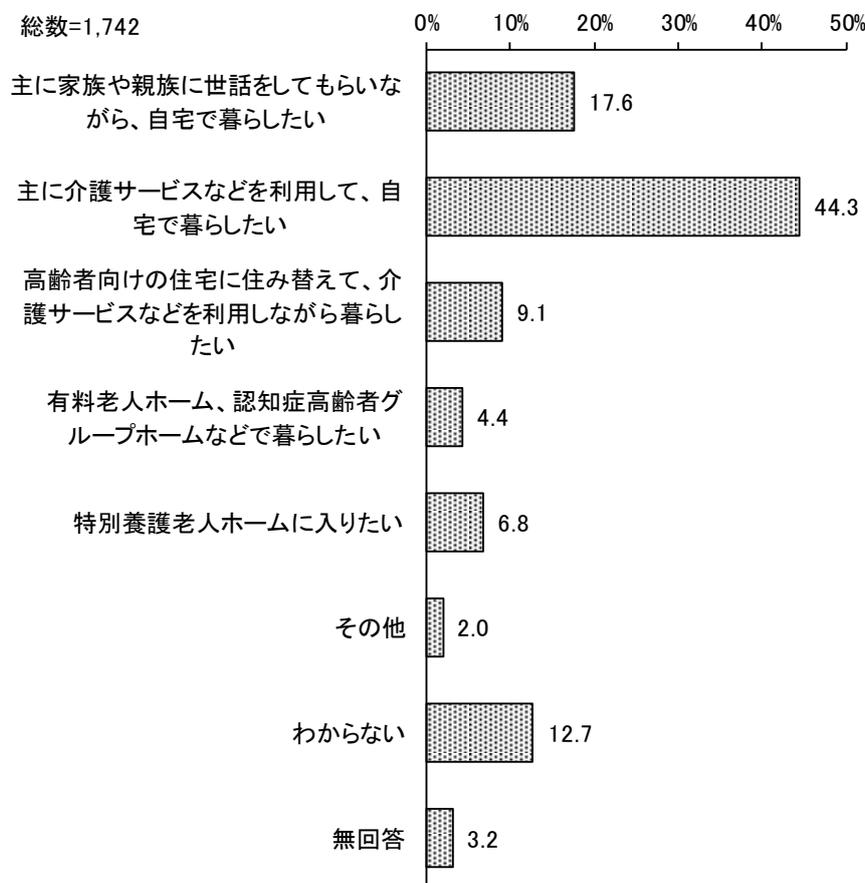


## ◆住まいについて

○住まいの種類は、「持家（一戸建て）」の割合が58.0%で最も高く、次いで「持家（集合住宅）」が24.8%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が9.2%となっている。持家の割合が、82.8%と高くなっている。

○介護などが必要になったときの暮らし方は、「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」の割合が44.3%で最も高く、次いで「主に家族や親族に世話をしてもらいながら、自宅で暮らしたい」が17.6%、「高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用しながら暮らしたい」が9.1%となっている。高齢者向けの住宅への住み替えを含め、自宅等の暮らしを希望する割合が、71.0%となっている。

図表 7-3 介護などが必要になったときの暮らし方



## ◆収入のある仕事の有無と現在の暮らしの経済的状況

○就労状況は、「仕事はしていない（年金収入のみを含む）」の割合が59.2%で最も高く、次いで「自営業、自由業」が13.5%、「非常勤、嘱託、パート、アルバイト」が11.7%、「常勤の社員・職員」が5.9%となっている。

○経済状況は、「ふつう」の割合が53.2%で最も高く、次いで「ややゆとりがある」が17.3%、「やや苦しい」が16.5%、「大変苦しい」が6.3%となっている。

## 2 近隣や知人・友人との付き合いについて

### ◆人と話す回数、外出回数、隣近所との交流

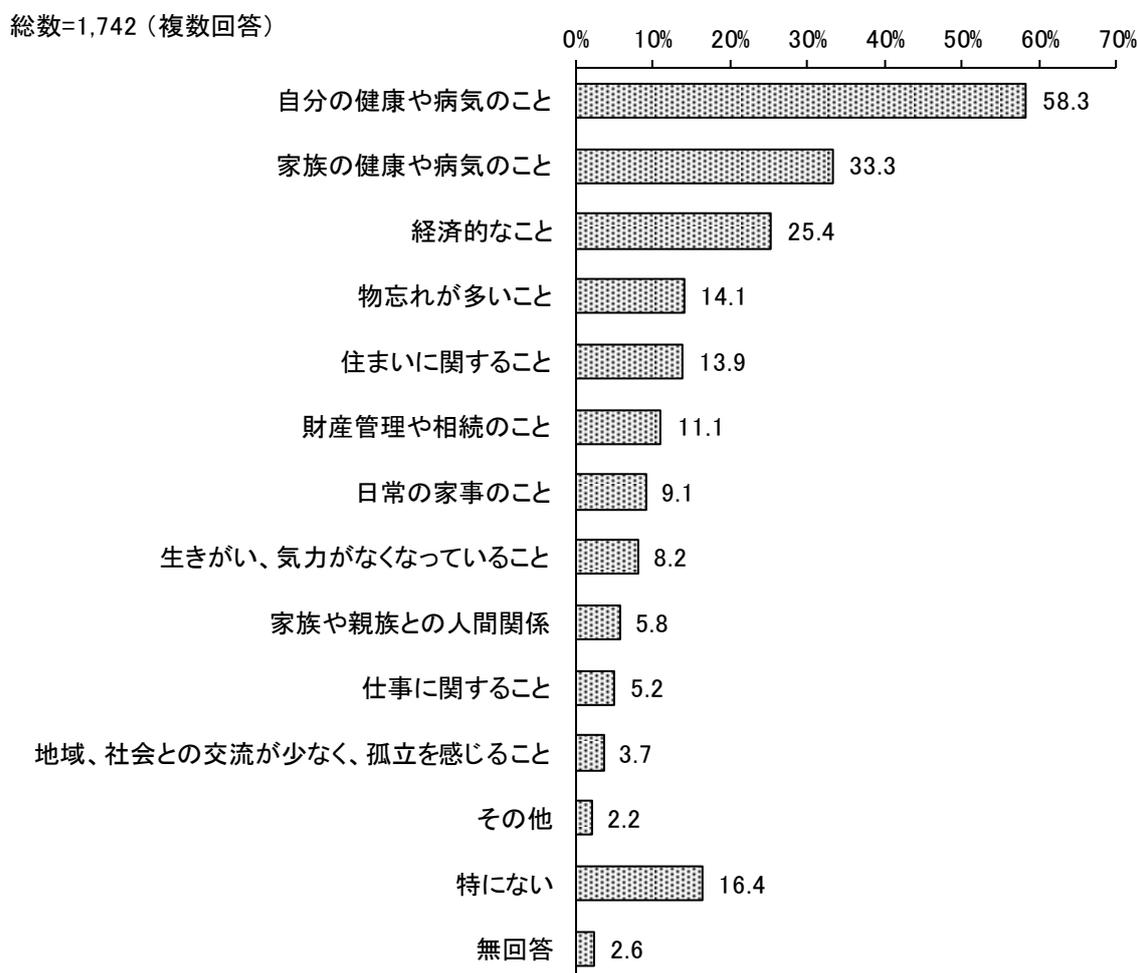
- 人と話す回数は、「ほぼ毎日」の割合が75.5%で最も高く、次いで「週に2、3回程度」が10.7%、「ほとんど話をしない」が5.0%となっている。
- 外出回数では、「ほぼ毎日」の割合が65.8%で最も高く、次いで「週に2、3回程度」が22.5%、「週に1回程度」が4.5%、「月に数回」が3.1%となっている。
- 隣近所との交流は、「家を行き来することはないが、立ち話などはする」の割合が42.6%で最も高く、次いで「顔を合わせたときにあいさつ(会釈)をする」が34.9%、「家を行き来するなど、親しいつきあいがある」が11.0%となっている。

## 3 日常生活で困っていることや将来の不安について

### ◆日常生活上の心配・悩み

- 心配や悩みでは、「自分の健康や病気のこと」の割合が58.3%で最も高く、次いで「家族の健康や病気のこと」が33.3%、「経済的なこと」が25.4%、「物忘れが多いこと」が14.1%となっている。

図表 7-4 日常生活上の心配、悩み



## 4 物忘れについて

### ◆物忘れの有無、相談先

○物忘れでは、物忘れが多いと感じている方の割合が38.0%、物忘れが多いと感じていない方の割合が60.0%となっている。

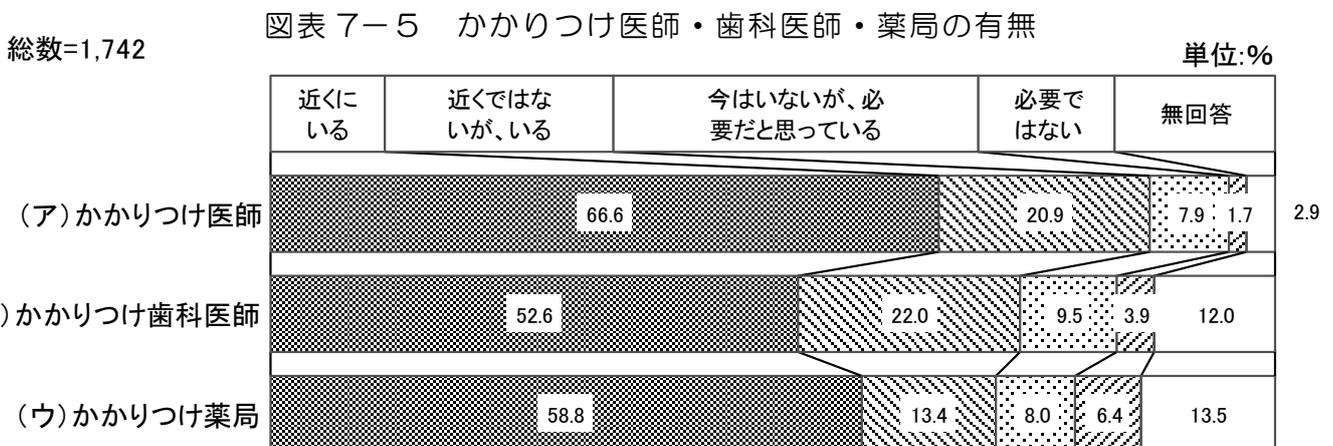
○物忘れなどの相談先としては、「どこにも相談していない」の割合が41.4%で最も高く、次いで「家族・親族」が32.5%、「かかりつけ医」が19.5%、「病院・診療所の内科、神経内科、精神科など」が8.8%、「物忘れ外来など認知症専門の外来がある病院」が3.9%となっている。

## 5 健康状態や在宅での療養などについて

### ◆健康状態、かかりつけ医師などの有無

○健康状態では、「まあよい」の割合が66.1%で最も高く、次いで「あまりよくない」が16.8%、「とてもよい」が11.3%、「よくない」が4.0%となっている。

○かかりつけ医師などの有無では、かかりつけ医師、かかりつけ歯科医師、かかりつけ薬局ともに、全体的な傾向は変わらない。「近くにいる」では、かかりつけ医師の割合が66.6%で最も高く、次いでかかりつけ薬局が58.8%、かかりつけ歯科医師が52.6%となっている。



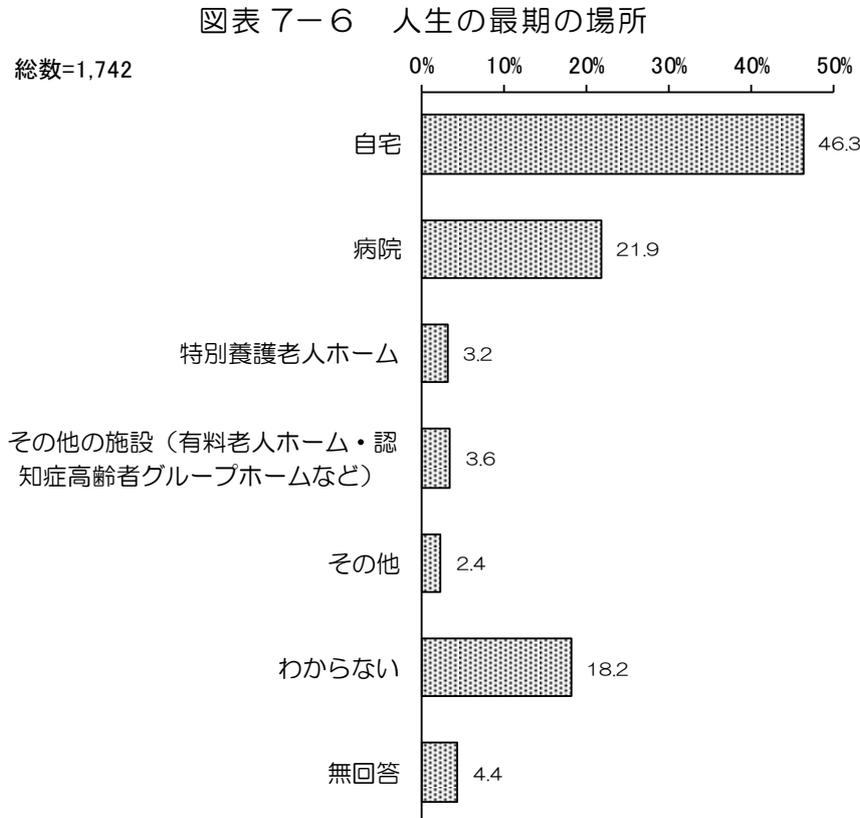
### ◆長期療養の場所、また、自宅での長期療養で必要なサービスや体制

○長期療養の場所では、「自宅で療養し、悪化したときには入院して治療を受けたい」が43.8%で最も高く、次いで「医療機関に入院して療養したい」が32.6%、「わからない」が8.3%、「入院せずに自宅で療養したい」が6.1%となっている。

○自宅での長期療養で必要なサービスや体制では、「状態が悪化したときに入院できる体制」の割合が65.7%で最も高く、次いで「療養生活について相談できる身近な窓口」が48.7%、「定期的な訪問診療・訪問看護」が44.1%、「療養生活を続けていくために必要な情報の提供」が43.5%となっている。

## ◆人生の最期の場所

○人生の最期の場所では、「自宅」の割合が46.3%で最も高く、次いで「病院」が21.9%、「わからない」が18.2%、「その他の施設（有料老人ホーム・認知症高齢者グループホームなど）」が3.6%となっている。



## 6 権利擁護について

### ◆成年後見制度利用の意向

○成年後見制度の利用意向では、「必要になったら利用したい」の割合が49.7%で最も高く、次いで「わからない」が23.9%、「利用したくない」が19.5%、「すでに利用している」が1.0%となっている。

### ◆介護者からの虐待、虐待を受けたときの相談相手

○介護者からの虐待では、「プライドを傷つけられたことがある」の割合が1.0%、「無視されたことがある」が0.7%、「暴力を振るわれたことがある」が0.3%、「脅されたことがある」が0.2%などとなっている。「特にない」と「介護されていない」を合わせた、介護者からの虐待を経験していない割合が87.4%となっている。

○介護者からの虐待の相談先としては、「家族・親族」の割合が43.3%で最も高く、次いで「介護サービス事業者(ケアマネジャー)」と「誰にも相談できなかった」が23.3%、「区役所（福祉総合課、高齢福祉課、介護保険課など）」が6.7%、「地域包括支援センター」が3.3%となっている。

## 7 要介護認定（要支援認定）や介護保険料について

### ◆要介護度、介護保険料についての考え方

- 要介護（要支援）認定状況では、「要介護認定を受けていない」の割合が78.6%で最も高く、次いで「要支援1」が4.4%、「要介護1」が2.8%、「要介護2」が2.4%などとなっている。
- 介護保険料についての考えでは、「高い」の割合が46.5%で最も高く、次いで「わからない」が24.5%、「妥当である」が23.4%となっている。
- 介護サービスと介護保険料の関係についての考えでは、「施設や在宅サービスの水準は現状程度のままとし、介護保険料の上昇は高齢者人口の増加などによる影響の範囲に抑えてほしい」の割合が35.7%で最も高く、次いで「わからない」が22.8%、「介護保険料が今よりも高くなっても、施設や在宅サービスを充実させてほしい」が18.2%、「介護サービスの縮小・見直しなどにより、介護保険料を安くしてほしい」が12.3%となっている。

## 8 生きがい、社会参加について

### ◆楽しみや生きがい

- 楽しみや生きがいで、「友人との交流」の割合が47.0%で最も高く、次いで「テレビやラジオ」が45.0%、「おいしいものを食べること」が40.9%、「旅行」が40.6%、「趣味、習い事」が40.4%などとなっている。

### ◆「老人いきいの家」の利用状況、利用の事業、利用しない理由

- 「老人いきいの家」の利用では、「利用したことがない」の割合が83.8%で最も高く、次いで「利用したことがある」が7.8%、「よく利用している」が5.1%、「わからない、覚えていない」が1.0%となっている。
- 利用した事業では、「老人クラブ活動」の割合が49.6%で最も高く、次いで「各種講習会」が23.7%、「自主グループ活動」が21.9%、「地域交流会」が18.3%、「介護予防教室」が14.7%などとなっている。
- 利用しない理由では、「参加したいと思わない」の割合が30.9%で最も高く、次いで「利用する機会がなかった」が27.6%、「特に理由はない」が15.6%、「活動内容や参加方法を知らない」が14.5%、「時間がない」が14.3%などとなっている。

### ◆参加したい、参加してもよいボランティア活動

- 参加したい、参加してもよいボランティア活動では、「特にない」の割合が50.6%で最も高く、次いで「話し相手や趣味の手伝い」が15.5%、「会食・茶話会や地域交流サロンなど、高齢者の交流の支援」が11.8%、「電球の取替えなど、日常のちょっとした手伝い」が8.5%、「高齢者の運動や体操、スポーツの支援」が8.2%などとなっている。

## 9 就労意向について

### ◆「シルバー人材センター」の認知度と就労意向

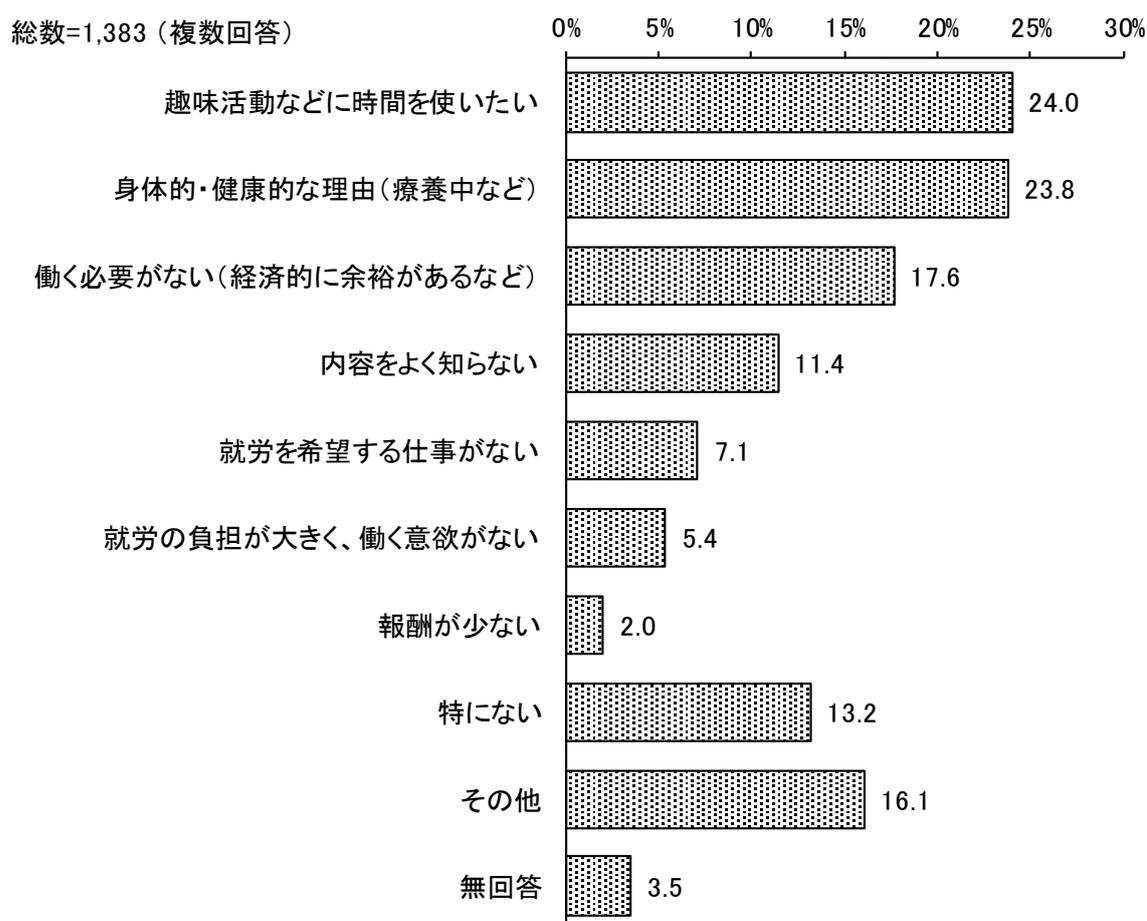
○シルバー人材センターの認知度では、「名前も内容も知っている」の割合が49.5%で最も高く、次いで「名前は知っているが、内容は知らない」が41.1%、「名前も内容も知らない」が5.6%となっている。

○シルバー人材センターでの就労意向では、「希望しない」の割合が79.4%、「希望する（すでに会員である方を含む）」の15.0%を大きく上回っている。

### ◆シルバー人材センターでの仕事を希望しない理由

○シルバー人材センターでの仕事を希望しない理由では、「趣味活動などに時間を使いたい」の割合が24.0%で最も高く、次いで「身体的・健康的な理由（療養中など）」が23.8%、「働く必要がない（経済的に余裕があるなど）」が17.6%、「内容をよく知らない」が11.4%などとなっている。

図表 7-7 シルバー人材センターでの仕事を希望しない理由



## 10 地域での見守りや支え合いについて

### ◆目黒区が実施している、「見守りネットワーク」の認知度、「高齢者見守り訪問事業」の利用意向、見守りボランティア登録意向

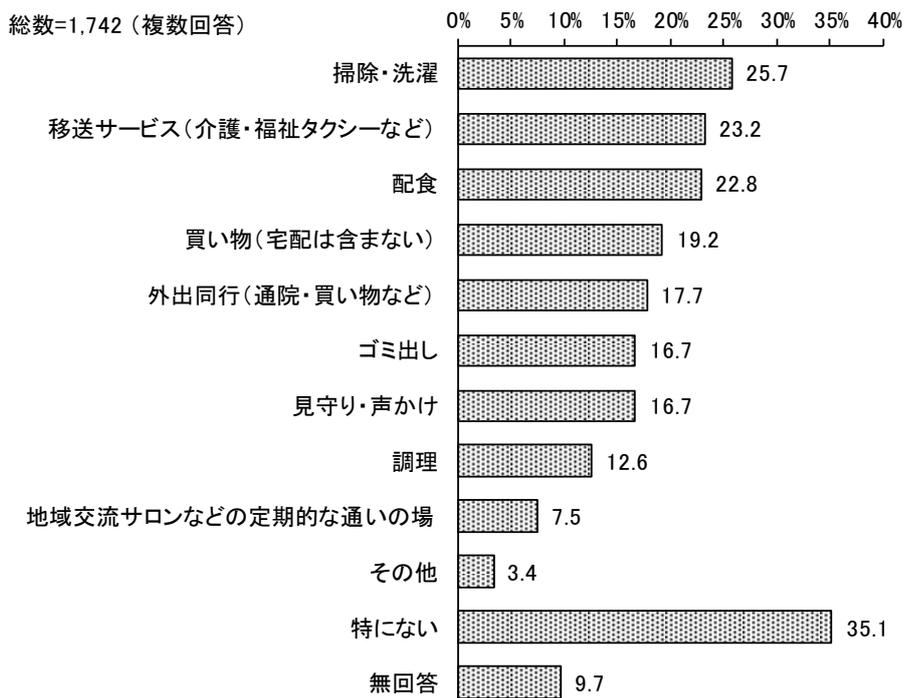
- 「見守りネットワーク」の認知度では、「名前も内容も知らない」の割合が42.1%で最も高く、次いで「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」が41.3%となっている。
- 「高齢者見守り訪問事業」の利用意向では、「今は見守りを受けたいと思わないが、将来利用したい」の割合が60.1%で最も高く、次いで「見守りを受けたいと思わない」が28.8%となっている。
- 見守りボランティアの登録意向では、「見守りボランティアに登録したいと思わない」の割合が66.0%で最も高く、次いで「見守りボランティアに登録したい」が16.6%となっている。

## 11 目黒区の高齢者への生活支援サービスなどについて

### ◆ひとり暮らし等高齢者登録の有無、自宅での生活を続けるために必要な支援・サービス

- ひとり暮らし等高齢者登録の有無では、「今は登録していないが、将来登録したい」の割合が32.3%で最も高く、次いで「該当しない」が29.1%、「わからない」が13.4%、「登録したいと思わない」が9.5%などとなっている。
- 自宅での生活を続けるために必要な支援やサービスでは、「特にない」の割合が35.1%で最も高く、次いで「掃除・洗濯」が25.7%、「移送サービス（介護・福祉タクシーなど）」が23.2%、「配食」が22.8%、「買い物（宅配は含まない）」が19.2%、「外出同行（通院・買い物など）」が17.7%などとなっている。

図表 7-8 自宅での生活を続けるために必要な支援やサービス

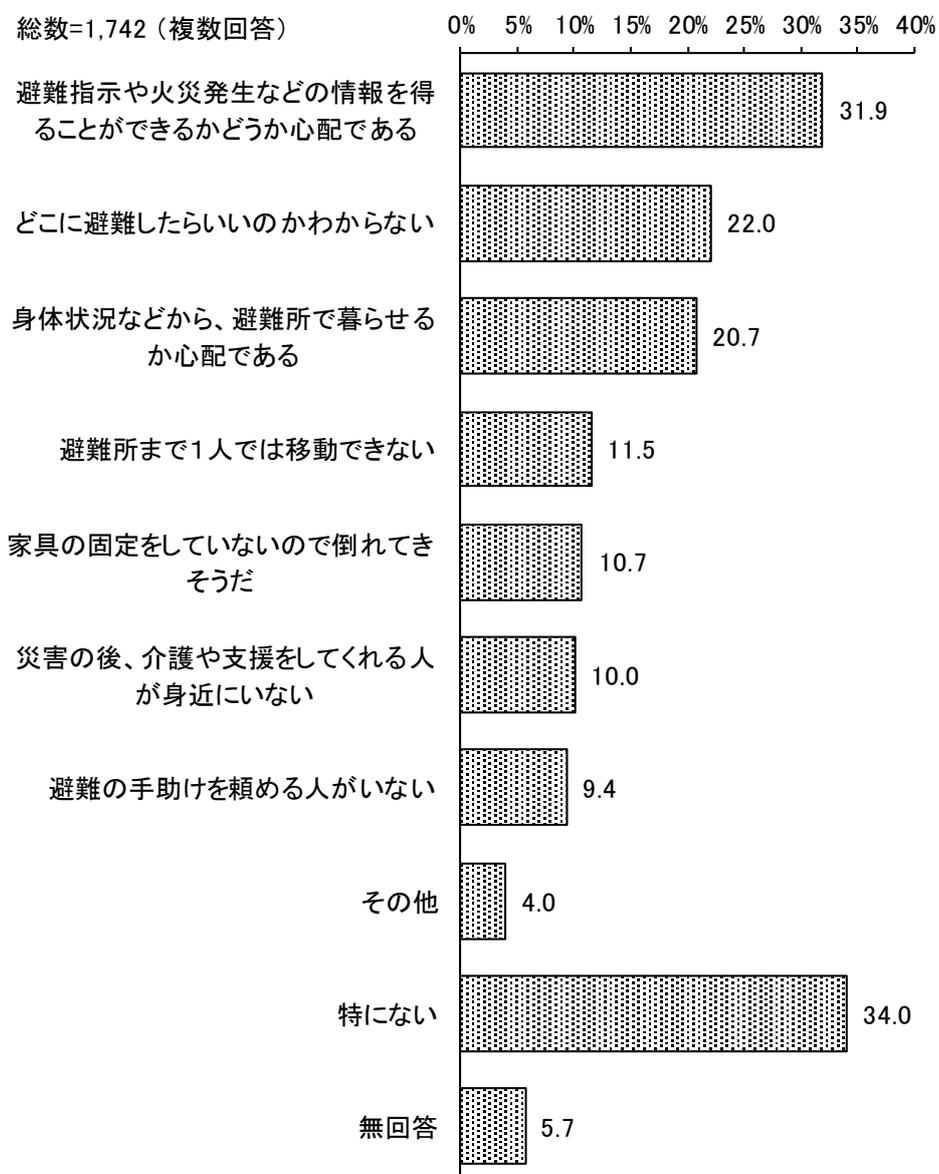


## 12 災害時の対策について

### ◆緊急時の対応について不安なこと

○緊急時の対応における不安なことでは、「特にない」の割合が34.0%で最も高く、次いで「避難指示や火災発生などの情報を得ることができるかどうか心配である」が31.9%、「どこに避難したらいいのかわからない」が22.0%、「身体状況などから、避難所で暮らせるか心配である」が20.7%、「避難所まで1人では移動できない」が11.5%などとなっている。

図表 7-9 緊急時の対応について不安なこと

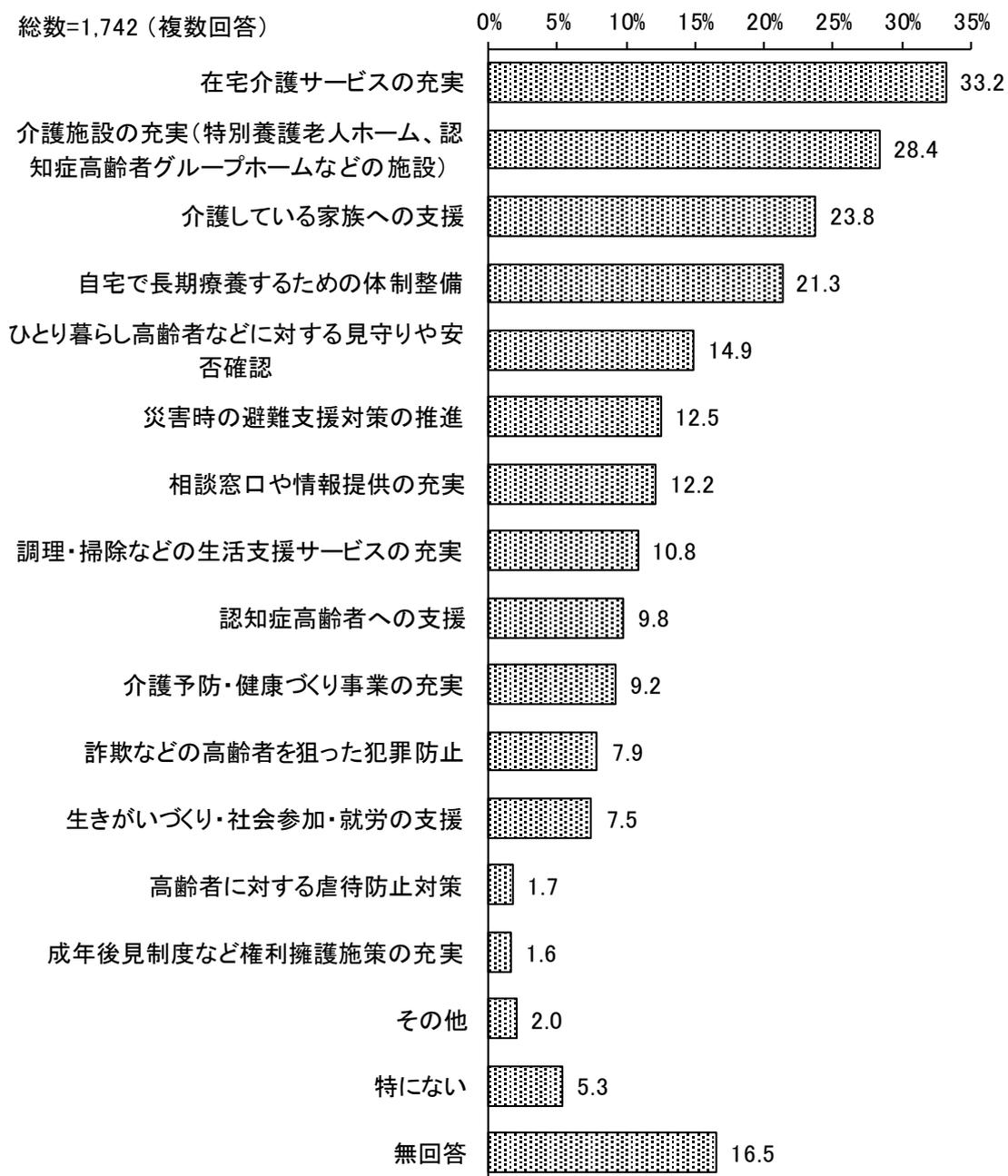


## 13 高齢者施策全般について

### ◆区が優先的に取り組む必要がある高齢者施策

○優先的に取り組むべき高齢者施策では、「在宅介護サービスの充実」の割合が33.2%で最も高く、次いで「介護施設の充実（特別養護老人ホーム、認知症高齢者グループホームなどの施設）」が28.4%、「介護している家族への支援」が23.8%、「自宅で長期療養するための体制整備」が21.3%などとなっている。

図表 7-10 優先的に取り組む必要がある高齢者施策



## 14 家族介護について

### ◆家族からの介護の状況、主な介護者の年齢、主な介護者との関係、家族からの介護希望の有無

- 家族介護の状況では、家族介護を「受けている」の割合が 13.4%、「受けていない」が 81.9%となっている。
- 主な介護者の年齢では、「50代」と「80歳以上」の割合が 23.1%で最も高く、次いで「70代」が 21.4%、「60～64歳」が 14.5%などとなっている。
- 主な介護者との関係では、「子ども」の割合が 51.3%で最も高く、次いで「配偶者」が 33.8%、「兄弟・姉妹」が 4.3%などとなっている。
- 家族介護の希望では、「受けたい」の割合が 40.5%、「受けたくない」が 47.8%、となっている。

図表 7-11 家族からの介護希望の有無



### ◆家族介護を受けながらの生活で不安に感じること

- 家族介護を受けながらの生活上の不安では、「介護者の経済的負担や身体的・精神的負担」の割合が 48.4%で最も高く、次いで「在宅での生活が困難になった場合に、すぐに施設に入所できるかわからない」が 45.7%、「介護者の仕事や私生活への影響（離職、育児、余暇活動など）」が 29.6%、「介護保険制度や介護支援サービス等に関する知識の不足」が 17.6%などとなっている。

## 15 目黒区の介護保険・高齢福祉行政に関する自由意見

- 目黒区の介護保険・高齢福祉行政に関する自由意見では、全体で 837 件の意見があり、「経済的負担について」の割合が 25.9%で最も高く、次いで「介護保険制度全般について」が 25.4%、「施設サービスについて」が 24.1%、「介護保険料について」が 23.7%、「将来への不安・悩みについて」が 23.1%などとなっている。

第8期介護保険事業計画策定の基礎資料のための調査  
高齢者の生活に関する調査 報告書 <<概要版>>

主要印刷物番号  
31-47号

令和2年3月発行

発行 目黒区

編集 目黒区 健康福祉部 介護保険課・高齢福祉課  
〒153-8573 東京都目黒区上目黒二丁目19

番15号

電話 介護保険課 03(5722)9840(直通)  
高齢福祉課 03(5722)9607(直通)

調査委託先 株式会社コミュニティー・プランナーズ

この報告書は、再生紙を使用しています。